

第五十六回帝國議會
衆議院

昭和三年勅令第二百二十九號(治安維持法)(承諾ヲ求ムル件) 委員會會議錄(速記) 第五回

付託議案
昭和三年勅令第二百二十九號(治安維持法)中改正ノ件(承諾ヲ求ムル件)

會議

昭和四年二月二十六日(火曜日)午前十時五十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 井坂 豐光君

理事 牧野 賤男君

理事 勝田 永吉君

宮古啓三郎君 中谷 貞頼君

小野寺 章君 鈴木 五六君

須之内品吉君 三浦 數平君

矢野 晉也君 名川 侃市君

齋藤 隆夫君 横山勝太郎君

原 夫次郎君 内ヶ崎作三郎君

比佐 昌平君 斯波 貞吉君

水谷長三郎君

出席國務大臣左ノ如シ

內務大臣 望月 圭介君

司法大臣 原 嘉道君

出席政府委員左ノ如シ

法制局長官 前田 米藏君

內務省警保局長 横山 助成君

司法政務次官 濱田 國松君

司法參典官 磯部 尙君

司法省刑事局長 泉二 新熊君

司法書記官 近藤 三郎君

文部政務次官 山崎達之輔君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

內務省衛生局長 山田準次郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和三年勅令第二百二十九號(治安維持法)中改正ノ件(承諾ヲ求ムル件)

○井坂委員長 開會致シマス

○水谷委員 二十三日ノ委員會ニ私ガ、治安維持法ハ共產革命以外ニ、アツシヨ「革命」ニモ適用スルヤ否ヤト云フコトヲ質問シタル際ニ、伊太利ノ例ヲ述ベマシテ、我國ニ於テ高島素之君ノ運動ニ言及シタル際ニ、私ノ趣旨ハ高島君ノ運動ガ國體變革ニアルト云フヤウナ趣旨ヲ述ベタノデナクシテ「ファッショ」革命ノ一種類トシテ述ベタノデアリマスルガ、速記ノ前後ヲ見マス、恰モ高島君ノ運動ガ國體ニ關係ガアルヤウニ取レル速記ノ文字ニナツテ居リマシタカラ、私ノ言ウタ真意ハサウ云フモノデナイノデ、此際其點ヲ——今死ンデ亡クナラレマシタカラ、故人高島君ノ爲ニ此事ヲ申述ベテ置キマス

ト思ヒマスガ、尙ホ相談ノ上ニ御答致シマスと言ウテ留保致シテアリマシタガ、矢張相談致シマシタ結果、只今ノ所デハ文書其ノモノハ提出スルコトハ困ルカラ、提出致シマセヌト云フコトニ決シマシタカラ、ドウゾ左様御諒承ヲ願ヒマス

アリト仰セラレラナラバ、何處ニアルノデアリマスカ、ソレヲ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○齋藤委員 一寸司法省ノ政府委員ガ御出席デアリマスルカラシテ、先達以來質問ニ漏レテ居タ一事項ヲ承ツテ置キマス、參考書類トシテ吾ニ御配付ニナリマシタ所ノ治安維持法立法例比較、即チ歐米諸國ニ於ケル立法例ニ關スルモノヲバ手ニ致シマシテ、一寸之ヲ通讀致シタノデアリマスガ、何分翻譯デアリマスノデ、洵ニ意味ヲ徹底的ニ知ルコトガ何トナクムヅカシイノデアリマスガ、併シ之ヲ概括シテ見マスルト云フト、何レモ暴力ニ關スル所ノ取締デアリマス、即チ暴行ヲ以テ國體ニ關シ若クハ主權者ニ關スル不法ノ行動ヲ爲シタ者ヲ罰スルノデアツテ、我國ノ治安維持法及緊急勅令ノ第一條ニ規定シテアルヤウナ、唯或ル目的ヲ以テ結社ヲ爲シタト云フ事實ヲ罰スル立法例ハ、此文書ノ中ニ於テハ見出スコトガ出來ナイヤウニ思ヒマスルガ、治安維持法及緊急勅令第一條ト同様ノ外國ノ立法例ガアルノデアリマスカ、若シ

○泉二政府委員 外國ノ立法例ヲ差上ゲテ置キマシタガ、其立法例ノ翻譯ハ甚ダ困難デアリマシテ、御讀ミ惡イコトハ仰セノ通りデアラウト思ウテ居ルノデアリマスガ、先ヅ大體ノ概念ダケヲソレニ依テ御承知下サレバ宜カラウト云フ積リデ差上ゲタノデアリマス、サウシマシテ其中ニ千九百二十七年ノ露國反革命罪ニ對スル刑法ト云フノモ差上ゲテアリマス、是ハ日本ノ國體ト向フノ國體トヲ較ベテ見マス、正反對デアリマススケレドモ、各々其自己ノ立場カラ見テ國體ヲ擁護スルト云フ見地カラ見マスレバ、同ジデアラウト思ヒマス、此露西亞ノ反革命刑法ノ中ニハ例ヘバ第十一條デアリマス

「本條例記載ノ反革命行動ヲ目的トスル團體ヲ組織シタルモノ又ハ其ノ機關ニ加盟シ準備行動ヲナシタルモノハ本條例規定ノ事項ニヨリ制裁ヲ受ク」是ハ矢張斯ウ云フ團體結社ト云フダケデモ、實行ヲシタ場合ハ同ジヤウナ制裁ヲスルト云フコトガ明確ニナツテ居ル一例ト思ヒマス、ソレカラ差上ゲテアリマス「カルフォルニア」州法律ハ刑罰ニ於テ死刑ト云フ程ニハ行ツテ居リマ

セヌケレドモ、矢張其ノ行爲ト致シマシテハ、第一條ノ如キモ怠業ヲスルト云フコトデモ宜ケレバ——宜ケレバト云フノハ即チ本條ノ罪ヲ構成スルト云フ意味デアリマスガ、ソレカラ違法的暴行又ハ違法的脅迫手段ヲ鼓吹教示シ、或ハ援助煽動スルト云フヤウナコトナドモ之ニ這入ッテ居ルト云フコトヲ明白ニシテアリマス、此亞米利加ノハ大體暴行其モノダケデナクシテ、鼓吹煽動等モ此中ニ這入ッテ居ルト云フコトハ、能ク之ヲ讀ンデ見マスト明ナヤウニ思フノデアリマス、ソレカラ參考トシテ差上ゲテアル立法例ノ附録ノ中ノ「一皇室ニ對スル罪ノ外國刑法トノ比較」ト云フ所ガアル、ソコノ冒頭ニ第七十三條ノ日本ノ刑法ノ規定ヲ書キマシテ、ソレカラズツト獨逸、佛蘭西、英吉利ト云フ順ニ擧ゲテアリマスガ、英吉利ノ方ノ一號ノ六ト、ソレカラ二ナド、較ベテ見マスと、皇位繼承ヲ妨害セントスル事ヲ紙ニ書イタダケデモ本則ヲ適用スルト云フコトナドガアルノデアリマス、其他一々申上ゲル必要ハナカラウト思ヒマスガ、大體矢張極ク行爲ノ初歩ニ於テ重イ刑ヲ科スルト云フ傾ガアルト見エルノデアリマス

○齋藤委員 此共產主義宣傳ニ關スル取締ハ御承知ノ如ク、十數年前ニ初メテ端緒ヲ開イタモノデアルト思ヒマス、即チ歐羅巴戰爭ノ影響ヲ受ケマシテ、世界ノ國民思想ノ上ニ非常ナ

衝動ヲ與ヘテ居ル、其結果トシテ露西亞ニ於テ革命ガ起ッタノデアアル、所謂共產主義ノ國家組織ガ初メテ現ハレタノデアリマス、サウシテ露西亞ニハ御承知ノ如ク第三「インターナショナル」ガアリマシテ、此第三「インターナショナル」ノ出來マシタ年月ハ一寸此處ニ文書ヲ持ッテ參ラナカッタカラシテ、確ニ記憶致シマセヌガ、餘リ遠クナイコトデアリマス、即チ以前ニ第一「インターナショナル」ガ出來、ソレガ亡ビテ第二「インターナショナル」ガ出來、是ガ又勢力ヲ失ッテ遂ニ第三「インターナショナル」ガ出來マシタノハ、矢張歐羅巴戰爭ノ前デアッタカ後デアッタカ知リマセヌガ、先ヅ其頃デアッタト記憶致シテ居リマス、ソレガ本トナッテ世界ニ向ッテ赤化宣傳ヲヤツテ、所謂世界革命ヲ企テントシタノデアリマス、是ガ本トナッテ此宣傳ニ對スル取締ガ現ハレテ來タノデアリマシタガ、今日ノ歐羅巴亞米利加ニ於キマシテ此十數年前ニ始メテ現ハレタ赤化宣傳ニ對スル此法規ガ、ドウ云フ工合ニナッテ居ルカ、之ヲ一ツ承リタイ、尙ホ一寸申上ゲテ置キマスガ、露西亞ノ例ヲ一番初ニ擧ゲラレマシタ、是ハ露西亞ハ御承知ノヤウナ大革命ガアッタ、大革命ノ後ニ於キマシテハ、反革命者ニ對シテ極端ナ取締ヲスル、即チ一寸シタ事ヲヤツテモ直グ死刑ニ處スルト云フコト、是ハ露西亞バカリデハナク、前ノ佛蘭西革命ノ時ニモ斯ウ云フコトガ

アッタ、是ハ極端ナコトデアリマスカラ、殆ド例トシテ引クベキ價值ガアルカドウカ、ソレヲ疑フノデアリマス、其他ノ事ニ付キマシテ、赤化宣傳ニ對スル取締ト云フモノガ、此外國ノ立法例ノ中ニハ現ハレテ居ラヌノデアリマヌ、亞米利加ノ「カルホルニヤ」デアリマスガ、之ニ付テ今御話ガアリマシタガ、是ハ産業革命所謂「シンジカリス」ニ對スル所ノ取締デアアル、英吉利ハ是ハ近頃初タノデナイ、元カラアッタ、日本ノ大逆罪、皇室ニ對スル罪ノ取締デアリマシテ、赤化宣傳取締トハ大分性質ガ違ッテ居ルノデアリマス、此赤化宣傳ニ對スル取締ト日本ノ治安維持法緊急勅令同ジヤウナ法規ガ外國ニアルカドウカト云フコトニ付テ、御答ヲ願ヒマス

○泉二政府委員 此露西亞ノ方ノハ例ニナラヌト仰シヤイマスケレドモ、此方ハ赤化宣傳ヲ取締ル、向フハ白化宣傳ヲ取締ル、此刑法ハ一時的ノモノデハナイ、矢張永久的ノモノト見テ居ルノデアリマス、例ニナラヌト仰シヤレバ、ソレハ御意見ニ委セルヨリ外ナイノデアリマス、ソレカラ亞米利加ノモノニハ「クリミナルシンジカリズム」、之ニ依テハ赤化宣傳ノ取締ガ無論出來ルモノダト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ英吉利ノ例ヲ引キマシタノハ、矢張參考書トシテ差上ゲテ置キマシタ、英吉利ニ直グ續イテ地地利

是ハ今ノデハアリマセヌ、前ノ王國時代ノ刑法デアリマスガ、其處ノ五十八條ト五十九條ヲ御覽下サレバ「政權ヲ妨害スルコト」ト云フ文字ガアリマシガ、斯ウ云フモノハ古イ規定デアリマシテ、特ニ赤化宣傳ヲ目的トシタ規定デハナイノデアリマス、併ナガラ今日ノ赤化主義デ、君主國ニ於テ國體ヲ變革スルコトヲ目的トスル所ノ行動ガアリマスレバ、之ニ依テ矢張取締リ得ルモノダラウト思ヒマス、尤モ是ハ外國ノ法律ノ解釋デアリマスカラ、サウ出來スト仰シヤレバ其御見解デモ宜シウゴザイマセウ、唯私ノ意見ヲ申上ゲルダケデアリマス、此外ニ刑罰ハソレノ國ニ依テ違ヒマスケレドモ、最近ノ獨逸、地地利、瑞西等ニ於テ、刑法改正事業ガ試ミラレテ居ルノデアリマスガ、此法案等ニ依リマシテモ、此赤化團體ト云フモノヲ處罰スルコトガ出來ルヤウナ規定ヲ簡デアリマスケレドモ、兎ニ角設ケテ居リマス、其外ニモ伊太利ノ案ニモ見エテ居ルヤウデアリマス、ソレカラ匈牙利等ニモアルサウデアリマシタガ、是ハマダ私ハ條文ヲ手ニシテ居リマセヌカラ、内容ヲ申上ゲル譯ニハ行キマセヌ、要スルニ立法例ハ當局ト致シマシテハ、御手許ニ差上ゲテアリマス分ガ、大體此治安維持法ノ立法ニ付テ先ヅ適當ト見ルベキ、參考立法例デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、併シ特ニ刑ノ點カラ申シマスと、外國ノ立

法例ノ有無ニ拘ラズ、日本ノ國體ノ上カラ考ヘテ、此立法ハ特ニ必要デア

ノデ、外國ノ立法例ガアルカラ、斯ウ云

フ日本ノ立法ガ出來ルト云フモノデハ

ナイ、外國ノ例ニ倣フヤルノデハナイ

ト云フ趣旨ハ、前ニ何レカノ機會ニ於

テ司法大臣カラモ説明サレテ居ルノデ

アリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○齋藤委員 尙ホ此參考書ノ内容ヲ能

ク調ベル積リデアリマスガ、只今御引

用ニナリマシタ地ノ法律ノ第五十

八條デアリマスガ、是ハ既ニ地ノ

革命ヲ起シテ、舊地ノ地ノ減ビテシマ

テ居リマスカラ、是ハモウ效力ヲ持ッ

テ居リマセヌガ、此法律ヲ見マシテモ、矢

張暴力デス、暴力ヲ以テ政體ヲ變更ス

ルトカ、第二ニ内國ニ於テ徒黨ヲ組ン

デ暴動セシムルコト、云フコトデ、政

體ヲ變更スルトカ、主權者ニ對シテ暴

力ヲ以テ違法行爲ヲ爲シタ場合ニ於

テ、罰スル規定ハ各國共ニアルノデア

リマス、併ナガラ繰返シテ申上ゲマス

ガ、日本ノ治安維持法緊急勅令ノヤウ

ニ、唯或ル目的ヲ以テ結社シタト云フ

其事實ノミヲ以テ罰スル、殊ニ死刑ヲ

以テ臨ムト云フヤウナ立法例ハ、現在

諸外國ニ於テハナイト云フコトヲバ、

私ハ此處デ明言致シテ置キマス、ソレ

ハ意見ハ違ヒマスケレドモ、事實ダケ

ヲ玆ニ申上ゲテ置キマス、私ノ質問ハ

是ダケデアリマス

○井坂委員長 斯波君

○原委員 今ノ齋藤君ノ件ニ關聯シタ

件デ一點ダケ承ッテ置キタイ

○井坂委員長 原君

○原委員 只今齋藤君ノ問ニ對シテ泉

二政府委員カラ、亞米利加ノ取締法ヲ

例ニ御話ニナッタノデスガ、私聽漏シタ

ノデスガ、亞米利加ハドウ云フ點ガ例

ニナッテ居リマスガ、齋藤君ノ問トハ少

シ喰違ッテ居リハシナイカト思フノデ

ス、亞米利加ノ方ノ立法例ヲ御引用ニ

ナッタノデスガ、ドノ點ガ……

○泉二政府委員 此「カリホルニヤ」ノ

法律ニ從ウテ「産業的所有權又ハ統轄

ニ於ケル變化ヲ完成シ或ハ政治的變化

ヲ成就スルノ手段トシテ犯罪、怠業、或

ハ違法の暴行又ハ違法の脅迫手段ヲ鼓

吹、教示シ或ハ援助煽動スル教旨又ハ

教規ヲ指スモノトス」此教示シタル援

助煽動シタルモノ、斯ウ云フ手段ヲ執

ルヤウナモノハ無論此中ニ入ッテ居ル

ノデアリマス、結社マデ行カヌデモ、斯

ウ云フ宣傳煽動スルト云フコトニ對シ

テ處罰ヲスルト云フ規定ヲ爲シタモノ

ト思フノデアリマス

○井坂委員長 斯波君ハ一寸——横山

君ガ内務省ニ至急質問シタイト云フコ

トデアリマスカラ

○横山委員 本日ノ有力ナル新聞ニ現

ハレマシタ事項ニ付テ、極メテ簡單ニ

内務省ノ政府委員ニ承リタイノデス

ガ、昭和三年十一月七日ニ廣島縣尾ノ

道郵便局ヲ經由シテ、赤色新聞體ノ文

書ノ中ニ、極メテ不敬不穩ノ文字ヲ連ネ

タルモノヲ、館色ノ封筒ニ封入シテ、百

二十三通ノ多キヲ全國各地ノ勞働團體

ニ配付セント企テタル者ガアルト云フ

コトデ、官憲ノ檢舉スル所トナッタト云

フコトデアリマスガ、其内容ハ恐ルベ

キ文書デアリマシテ、我ガ日本帝國ニ

對スル赤化ノ大陰謀ノ計畫ノ一ツデア

ルト云フコトデアリマスガ、今日マデ

新聞紙ノ記事ヲ差止メラレテ居ッタノ

デアリマスガ、今回之ヲ公表シテモ宜

シイト云フ程度ニマデ事件ノ進行ハ進

ンダト云フコトデアリマスガ、果シテ

左様ナ事實ガアリマスルカドウカ、而

シテ此ノ赤化ノ大陰謀ト稱スル計畫

ハ、只今問題トナッテ居リマスル日本共

産黨ニ、如何ナル關係ヲ持ッテ居ルモノ

デアリマスルカ、若シ日本共産黨ニ關

係ナキモノトスレバ、如何ナル方面カ

ラ計畫セラレタル陰謀デアリマスガ、

尙ホ其事件ノ内容等ニ關シテ、警保局

長カラ詳細承リタイノデアリマス

○横山政府委員 只今横山サンノ御尋

ニ御答致シマス、今朝ノ新聞ニ出テ居

リマスル不穩文書ヲ頒布シヨウト云フ

者ガ、昨年ノ十一月初旬ニ尾ノ道市ノ

郵便局ヨリ端緒ヲ發見致シマシテ、現

在搜查ヲ致シテ居リマス事實ガアリ

マス、大體新聞紙ニ書イテ居リマスル

ヤウナ事情デアリマシテ、浦潮方面カ

ラ廻航致シテ參リマシタ日本ノ船舶乗

組員、ソレガ極メテ過激ナ不穩ナ文書

ヲ封筒ニ入レマシテ、百何十通デゴザ

イマシタカ、是ハ個人ニモアリ團體ニ

モ宛名ハアリマス、サウ云フ事ヲ發見

致シマシテ直グ搜查ニ從事ヲ致シマシ

タ、富山縣ノ伏木町ニ於キマシテ其頒

布シヤウト云フ人間ヲ逮捕致シマシテ

取調ヲ致シテ居リマス、其文書ノ内容

或ハ經過ニ付キマシテ詳シク玆デ御話

致シマスコトガ出來マスカドウカ、或

ハ御入用ガゴザイマスレバ秘密會ニデ

モ致シマシテ、役所ニアリマス材料ダ

ケハ御見セシテ宜シウゴザイマス、此

最近ノ記事差止ノ解除ヲ致シマスマデ

ノ取調ノ内容ハ、私ハ詳細ニ存ジテ居

リマセヌノデアリマス、檢事局ノ手ニ

移ッテ居リマス、併シ浦潮方面ニ在ル露

西亞ノ赤化宣傳ヲ目的トスル團體ガ其

文書ヲ作り、其團體ニ加入シテ居ル日

本人ノ手カラ交付セラレ、サウシテ内

地ニ不穩ナ文書ヲ頒布シマシテ、或ル

一種ノ宣傳運動ヲ致サウト云フ事實ハ

確實デアリマス、浦潮方面ノ其團體ノ

名前竝ニ關係致シテ居リマスル人名モ

略々分ッテ居リマス、文書ノ内容ハ極メテ

熾烈ナル階級闘爭ノ觀念ヲ高唱致シ、

又日本ノ國體ニマデ言及シテ、或ハ昨

秋行ハセラレマシタル御大典ノ如キニ

モ言及致シテ居ル、極メテ不穩ナ文書

デアリマス、唯日本内地ニ頒布セラレ

マシタ正確ナル數ハ分リマセヌガ、非

常ニ多クハ頒布セラレテナイヤウデア

リマス、各地デモ頒布セラレタ後ノ調

査ヲ致シテ居リマスルガ、幸ニシテ非常ナ廣イ範圍ニハ頒布セラレテナイノデゴザイマスルガ、極ク過激ナ文書デアリマス、取調ノ詳細ハ檢事局ノ方ノ手ニ掛ツテ居リマスノデ、未ダ報告ハ得テ居リマセヌケレドモ、御入用ガゴザイマスレバ警察デ調ベマシタ内容ヲ、適當ナ機會ニ申上ゲテモ宜シウゴザイマス

○横山委員 其事件ガ日本共産黨ト關係ガ有ルカ無イカト云フコトヲ明確ニシテ戴キタイ、ソレカラモウ一ツハ犯人ハ既ニ檢舉サレテ居ルノデアリマサルカドウカ、此二點ヲ更ニ伺ヒタイ、尙ホ司法當局ニ承リタイノハ、此事件ガ日本共産黨ニ關係アルヤ否ヤハ別トシテ、今日此頃記事ノ差止ヲ解除セラレルノハ、本案ノ審議ニ多少何カ影響デモアルト云フヤウナ御考デアルノデアリマスカ、ソレヲ參考ニマデ承リタイト思ヒマス

○横山政府委員 先程言ヒ落シマシタガ、祕密結社日本共産黨ニ直接ノ關係アルコトハ、私共取調ベラ致シマシタ範圍デハ上ツテ居リマセヌノデス、唯日本共産黨ニ非常ナ關係ヲ持ツテ居ッタ見ルベキ露西亞ノ或ル團體、會合、是等ノ或ハ教唆デアリマスルカ、指導デアリマスルカ、其下ニ發生シタ事件ト推測ヲ致シテ居リマス

○泉二政府委員 司法當局ニ横山委員カラ御尋ニナリマシタ點ハ、本案ノ審

議トハ何等ノ關係ノ無イ事デアルノデアリマス、實ハ私ノ方デハ能ク知ラナカッタ位デアルノデアリマス、檢事局ノ方デアレハ差止ノ解除ヲヤッタノデアリマス、重要ナ事デアリマス通知シテ來マスケレドモ、此點ニ付テハ未ダ表向ニハ通知モ受ケテ居ラナイ位デアリマス

○齋藤委員 今ノ質問ト直接ニハ關聯シテ居リマセヌガ、矢張ソレニ類シタコトデアリマスカラ、一言御尋シタイ、内務省デモ宜シウゴザイマスシ、司法省デモ宜シウゴザイマスカラ、御答ヲ願ヒタイ、只今茲ニ緊急勅令必要ノ理由トシテ、五月十九日カラ六月十一日迄ノ間ニ於ケル主義者ノ行動ヲバ列記サレタモノヲ手ニシタノデアリマス、例ヘバ第一ニハ彼等ハ我が皇室ノ殊遇ヲ誹議シ、我が國民ガ舉ゲテ感激スル最大ノ盛儀ノ舉行ニ絶對反對ヲ唱導シ、團體ノ變革ヲ主張セルコト、右事實アルコトヲ知リタル日ハ五月十九日及六月二日ト云フコトニナツテ居リマス、斯ウ云フ事ガ一カラ十マデ列記シテアリマスルガ、假ニ此一ノ事實ヲ根據トシテ御尋致シマスルガ、斯ウ云フ事實ガ知レマシタ以上ハ、無論斯ウ云フ事ヲバヤッタ首謀者ハ、警察ノ手ニ依テ檢舉セラレタコト、存ジテ居リマスルガ、ソレニ相違ナイノデアリマスカ

○泉二政府委員 サウ云フ事ヲ文書ニ依テ主張シテ居ル、サウ云フ運動ヲシ

テ居ルト云フコトヲ文書ニ依テ知ッタ日時ヲ其處ニ書イテアリマスノデ、檢舉サレマシタノハソレヨリモ後ノ事デアリマス

○齋藤委員 後デモ何デモ宜イノデアリマスガ、兎ニ角此一乃至十迄ノ不穩ノ宣傳行動ヲ爲シテ居ル者ガアルト云フコトハ、モウ既ニ政府當局者ニ於テ御知リニナッタノデアリマス、是ガ分ツタ以上ハ此日ニ檢舉セラレナクトモ、其後ニ於テ全部若クハ大多數ハ檢舉セラレタニ相違ナイト、斯ウ思ハレルノデアリマスルガ、ソレニ相違ナイノデアリマスカ、此點ヲ伺ッタノデアリマス

○泉二政府委員 其後ニ於テ大部分檢舉サレテ居リマス

○齋藤委員 既ニ斯ウ云フ不穩ナ舉動ヲヤルモノヲ檢舉セラレマシタ以上ハ、是ヲ理由トシテ緊急ノ必要ト云フモノガ起ル譯ハ一寸私ニハ分ラナイ、斯ウ云フ者ガ至ル所ニ檢舉セラレズニ散在シテ居ルト云フコトナラバ、緊急ノ必要ト云フ理由モ起リマセウガ、其犯人ガ檢舉セラレテシマツテ、拘束セラレテ居リマスルナラバ、斯ノ如キ理由ガ起ルト云フコトハ、論理ノ矛盾ノヤウニ思ヒマスガ、ソレハドウデアリマスカ

○齋藤委員 八月頃デモ宜シウゴザイマスガ、八月頃ニナツテ斯ウ云フモノガスツカリ檢舉セラレタ以上ハ、モウ既ニ目的ガ達セラレテ居ルノデアリマシテ、治安維持法緊急勅令ト云フモノハ維持セラレル必要ガナイト思ヒマスガソレハドウデアリマスカ

○泉二政府委員 先刻申上ゲマシタノハ全部ト申上ゲマセヌノデ、大部分ハ檢舉セラレタト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、今日デモ尙ホ指導者ノ幾部分ハマダ殘ツテ居ル、ソレデアリマスカラ今日デモ檢舉ノ活動ハ續イテ居リマス

○宮古委員 横山君ノ質問ニ關聯シテ居リマスカラ一寸——ソレハ只今政府委員カラ御答ヘニナツタ尾ノ道郵便局カラ發見シタト云フ文書デス、其文書ハ日本文書イテアリマスカドウカト云フコトハ、ソレカラ其過激ナル書方ノ中ニ、御大典ノ機會ヲ何カ利用スルヤウナコトデモ書イテアリマスカドウカ、其處ガ御分リニナレバ……

○横山政府委員 尾ノ道ニ於テ頒布シマシタ不穩文書ハ日本文デアリマス、赤イ「インキ」デ刷リマシタ日本文デアリマス、御大典ヲ機トシテ大衆行動ヲ起スコトヲ諷刺セルモノデアリマス、併シ私今此文書ノ内容ヲ詳シク茲ニ承知ヲ致シテ居リマセヌガ、御大典ノ事ニ言及ラシマシテ、或ハ皇室、或ハ社會、總テノ大衆トノ關係ヲ非常ニ極端ナ文

字ヲ使ヒマシテ、大典ヲ機トシラ大衆行
動ニ出ヅルコトヲ豫見セラレルヤウナコ
トヲ諷刺シテ居タト思フノデアリマス

○原委員 一寸一點ダケ牽聯シタ所デ
アリマスガ、今ノ横山政府委員ノ答辯
ニ對シテ、先程横山君同士ノ御問答デ
アリマスガ、其答ノ方デアリマス、此
差押ヘラレタ文書ガ餘リ廣クハ頒布
ニナツテ居ナイ、ト思フト云フコトデア
リマスガ、ドノ位世間ニ頒布ニナツタノ
デアリマセウカ、世間或ハ特定ノ人デ
モ宜シウゴザイマスガ、ソレダケヲ伺
テ置キマス

○横山政府委員 先程申シマシタヤウ
ニ詳細ニハマダ分リ兼ねマスガ、頒布
セラレマシタト豫想セラレル場所ヲ警
察ノ方面デ取調べマシタ結果ガ、百通
以上ニハ上ツテ居マイト云フ豫想ヲ致
シテ居リマス

○原委員 ドノ位ナ數デスカ
○横山政府委員 先ヅ七、八十通位ガ
頒布セラレタノデハナカラウカト思ヒ
マス

○井坂委員長 一寸斯波君ニ申上ゲマ
スガ、内務大臣ガ來テ居ラレマスカラ、
内務大臣ノ方ヲ先ニ願ヒマス

○斯波委員 私ノハ司法大臣ト文部大
臣ニ御尋シタイノデスケレドモ……

○宮古委員 一寸議事ノ進行ニ付テ
今各大臣ノ方デハ彼方此方、方々
カラ引張ラレルニ違ヒナイノデスカ
ラ、幸ヒ今内務大臣ガ御出デニナツタノ

デスカラ、内務大臣ニ對スル問ヲ先ニシ
テ戴キタイ、ソレカラ尙ホソレガ濟ン
ダラ司法大臣ニ對スル方ヲ先ニ、ソレ
カラ政府委員デ足リルコトハ後廻シニ
シテ、サウシテ出來ルダケ議事ヲ早ク
進行シテ下サイ

○井坂委員長 委員長モ其考デアリマ
ス

○斯波委員 私ハ只今申シマシタ通り
司法大臣ト文部大臣トニ御尋シタイノ
デスガ、文部大臣ガ御出デニナリマセ
ヌカラ司法大臣ニ御尋シテ、文部大臣
ニ御尋スルコトハ保留シテ置キマス、
私ガ本案ニ對シテ考ヘテ居リマスルコ
トハ、是ハ申スマデモナク頗ル重大ナ
案デアリマシテ、此關係スル所ノ範圍
ガ極メテ多イノデアリマスルカラ、若
シ之ヲ英吉利ノ議會ナドデアリマシタ
ナラバ、或ハ長期ノ議會ヲ經テモ容易
ニ決セヌ問題デアルカモ知レヌト思ッ
テ居ルノデスガ、ソレ故ニ私ハ先日來
司法當局其他ノ當局ノ方ニ御話ヲ謹
聽シテ居ッタノデアリマスルガ、マダ私
ヲシテ此緊急勅令ノ必要ダト云フ理由
ニ付テ首肯スルニ足ルダケノ御説明ヲ
得テ居リマセヌ、ソレ故ニ更ニ私ハ御
尋致シタイト思フノデアリマス、本來
此案ト云フモノハ國體變革トカ、或ハ
財產私有ヲ否認スルカ云フコトガ、
規定シテアルノデアリマスルケレド
モ、其本當ノ目的カラ申シマスレバ、過
激思想ノ撲滅デアルトカ、或ハ赤化思

想ヲ一掃スルトカ云フコトガ其目的デ
アラウト思フノデアリマス、然ルニ
此案ヲ見マシテモ、又緊急勅令ガ發布
サレテカラ以後ノ經過ヲ見マシテモ、
私ハ却テ此過激思想ヲ挑發シタリ、或
ハ刺戟スルヤウナ事實ガアリハセヌカ
ト思フノデアリマス、デ緊急勅令ノ必
要ナコトニ付テハ只今御配付ニナリマ
シタ文書ニモアリマスルガ、先頃司法
大臣ノ御説明ニモアリマシタ通りニ、此
緊急勅令ガ出マシタ其動機ト云フモノ
ハ、五色温泉デ會合シタコト、及共產黨
大學ノ人ミガ續々歸國スルト云フ報道
ガアッタコトガ、本デアリマスルガ、左
様ナコトガアッタ致シマスレバ、此緊
急勅令ヲ御出シニナルニ付テハ餘程考
慮ヲナサラナケレバナラヌコトデアラ
ウト思フノデアリマス、全體此共產主
義ナルモノハ申スマデモナク思想上ノ
大問題デアリマス、今日ノ此斯様ナ思
想ト云フモノハ日本ノ歴史有ツテ以來
無イコトハ勿論ノコトデアリマスル
シ、世界ニ於テモ類ノ無イ思想デアリ
マス、斯様ナ思想ガ唯共產主義ダケニ
現レテ居ルカト申シマスルト云フト、
共產主義ニ近イ思想ト云フモノハ、殆
ド全世界ニ擴ッテ居ルノデアリマス、殊
ニ昨年デアリマシタカ、最早一昨年ニ
ナリマスカ、亞米利加デ以テ「サッコ」
「ヴァンゼッチ」ト云フ二人ノ人ガ、米國
ノ國法ニ依テ死刑ニ處セラレタノデア
リマスケレドモ、其爲ニ全世界ニ非常

ニ騒ギラ惹起シマシテ、他ノ國デ死傷
者ガ……

○斯波委員 殺人事件デアリマスガ、
其爲ニ世界ガ騒イダヤウナコトモアル
位デアリマス、唯是ハ人道上ノ問題ト
シテバアリマスガ、世界ノ思想ガ其様
ニ變ッテ動イテ居ル、殊ニ一ツノ國ニ
起ツタ事件ガ他ノ國ニ影響ヲ及スヤウ
ナコトデアリマスカラ、斯様ナ思想上
ノ問題ニハ餘程考慮ヲナサラナケレ
バ、唯法律ヲ以テソレヲ嚴刑ニ處スル
ト云フダケデ以テ、私ハソレハ一掃サ
レルモノデハナイト思フノデアリマ
ス、是モ先年ノコトデアリマシタガ、最
モ我國ニ於テ不幸ナル幸徳傳次郎其他
ノ者ガ死刑ニ處セラレタノデアリマ
ス、最モ悲シムベキ事件デアリマス、殊
ニ又日本ノ殆ド歴史アツテ以來ナイヤ
ウナ大叛逆罪デアリマス、勿論斯様ナ
者ニ對シテハ私ハ同情スベキモノモナ
シ、又之ヲ以テ斯ウ云フ事件ハ終熄ス
ルモノト私共考ヘテ居ッタノデアリマ
ス、然ルニ幸徳傳次郎ノ死刑以後ニ於
キマシテ非常ナ勢ヲ以テ社會主義ガ日
本ニ擴ッテ參リマシタ、又色々ノ不敬事
件ガ其後頻々ト起ツタヤウナ事實ガアル
ノデアリマス、極メテ惡イモノデアリ
マシテ、私共ナドニ於キマシテハ斯様
ナ思想ハ速ニ如何ナル方法ヲ以テモ之
ヲ一掃シタイト思フノデアリマスケレ

ドモ、併シ斯様ナ者ヲ嚴刑ニ處スルト云フコトガ、却テサウ云フ思想ヲ擴ゲルヤウナ原因ニナツテ來ルノガ殆ド何レノ場合ニ於テモサウデアリヤウニ思フノデアリマス、ソレ等ヲ考ヘマスルト云フト、唯此緊急勅令デ以テ準備行爲マデモ嚴罰ニスルト云フヤウナコトニナリマスルト云フト、如何ニソレガ我國ニ於テ忌ムベキコトデアリマシテモ、却テ擴テ來ルヤウナ結果ニナリハセヌカト思フノデアリマス、此普通ノ行爲ヲ罰スルト云フコト、ハ違ヒマシテ、思想上ノ問題ハ非常ニ人事ノ煩シイコトニナツテ居ルノデアリマシテ、中々普通ノ法律ヤ何カデ以テ思想ヲ曲ゲルト云フコトハ逆モ出來ナイコトデアリマシテ、思想ヲ撲滅スルノニハ矢張思想ヲ以テシナケレバナラヌト云フコトハ、誰デモ申シテ居ルコトデアリマシテ、先頃内ヶ崎君モ御話ニナリマシタヤウニ、日本デ徳川幕府ノ時ニ基督教ヲ嚴禁シテ、之ヲ信ズルモノヲ嚴罰シタト云フヤウナコトガ却テ天草ノ騷動ヲ惹起シタリ、或ハ基督教ヲ擴メタ原因ニナツテ居リマス、古イ昔デハ秦ノ始皇ガ儒者ヲ坑ニシタト云フコトガアツテモ、却テ其思想ガ擴タヤウナ譯デアリマシテ、中々私ハ法律ヲ以テ斯ウ云フ思想上ノ問題ヲ抑ヘルコトガ出來ナイト考ヘテ居ルノデアリマス、又若シソレヲ法律デ以テヤラナケレバナラヌトキニ於テハ、餘程其法律ガ完全シタ、如何ナル點カラ

見テモ疑問ノナイモノデナクテハナラヌト思フノデアリマス、是等ノ點ニ於テ十分政府ハ御考慮ニナツタノデアリマスルカ、唯一ツノ事實ガ出タ爲ニ慌シク此緊急勅令ヲ御出シニナツタト云フコトデハ、私ハ只今申シマシタ通り却テ此危險思想ヲ傳播スルト云フヤウナ結果ガ參リハシマセヌカ、兎モ角モ是ハ單ニ日本ダケニ影響スル問題デハアリマセヌシ、全世界ニモ影響スルノデアリマスカラ、日本ノヤウナ各國ト國體ヲ異ニシテ居ル國ニ於キマシテハ、殊ニ總テノ點ニ注意シテ法律ノ編纂、或ハ惡思想ノ撲滅ト云フヤウナコトニ盡サナケレバナラヌト私共考ヘテ居ルノデアリマス、今日ノヤウナ斯様ナ思想問題ヲ惹起シマスル時ニ於テハ、私共ノ見テ居リマスル所デハ、諸外國共ニ矢張斯ウ云フ思想上ノ惡化ト云フモノハ、思想デ以テ撲滅スルヤウニ致シテ居ルノデアリマシテ、最モ斯ウ云フ過激思想ニ對シテ嚴罰主義ヲ執ツテ居リマスル獨逸ノ如キハ、却テ過激思想ガ傳播シ易イヤウニ私共思ツテ居リマス、又何レノ國ニ於キマシテモ、成ベク斯ウ云フ思想ヤ何カニ關係スル問題ニ對シテハ、政府ガ手ヲ盡サナイデ、他ノ宗教家デアルトカ、教育家自身ガ非常ナ活動ヲシテ、ソレヲ撲滅スルコトニ努メテ居ルヤウデアリマスガ、例ヘバ活動寫真ノ如キハ、日本ノ如キハ直ニ警視廳デ以テ檢閲致シテ居リマスガ、亞

米利加デモ英吉利デモ政府デハ何等關係ハ致シテ居リマセヌ、却テ宗教家ノ檢閲ヲ經タモノガ市場デ以テ多クノ觀客ヲ得ルト云フ位ニナツテ居ルノデアリマス、總テ此新シイ思想問題ガ起リマシテカラ、諸外國ノ執リマスル手段ト云フモノハ、皆思想ヲ以テ之ヲ導クコトニ致シテ居ルヤウデアリマシテ、殊ニ國民間ニ健全ナル思想ノ普及ト云フモノガアリマスル時ニハ、如何ニ斯ウ云フモノガ這入ツテ來ヤウトシテモ、何トモ心配スルコトハナイヤウニナツテ居ルノデアリマス、斯様ナ法律デ以テ過激思想ヲ一掃スルコトガ出來ルト御考ニナルノデアリマスガ、ドウデアリマスガ、私ハ却テ傳播スルヤウナ氣味ガアリハセヌカト思フノデアリマス、此事ヲ御伺致シタイノデアリマス、ソレカラ又一方ニ法律デ以テ禁ジテアリマシテモ、他ニ矢張ソレヲ刺戟スルヤウナ行動ガ頻々トシテ各所ニ現ハレテ參ルヤウニ私共思ツテ居リマス、而モ此法律デ以テ取締ルコトハ容易ニ出來ナイノデアリマスルガ、例ヘバ一例ヲ申上ゲマスレバ、不戰條約ナドノ如キハ、私共ノ考デハ天皇陛下ノ使節トシテアノ不戰條約ニ調印致シマシタ内田ト云フ人ハ、明ニ日本ノ國體ニ相違シタ條約文ニ調印致シテ居ルノデアリマス、或ル意味ニ於テハ此緊急勅令ニ當嵌ルベキ行爲デナイカト私共思フノデアリマス、國體ヲ變革スル結社ヲ組織シタノデハアリマ

セヌケレドモ、左様ナ結社ニ加入シタト位ノコトハ私共解釋スルコトガ出來ルト思フノデアリマス、殊ニ年號ニ於キマシテハ、我等ノ主ノ「アワー・ロード」何年ト云フヤウナコトヲ書キマシテ、日本ノ紀元何年ニモ依ラズニ、唯外國ノ紀元ニ依タダケナラバ宜シイノデアリマスケレドモ、殊ニ「アワー・ロード」ト云フヤウナコトガ書イテアル、之ニ對シテ調印ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ、或ル意味ニ於キマシテ私ハ此緊急勅令ニ違反シタモノトシテ認メラレヌコトモナイト思フノデアリマス、斯様ナモノヲ司法當局ニ於キマシテハ、直ニ此緊急勅令ニ違反シテ居ナイト御考ニナルノデアリカ、此點ヲ承リタイ、ソレカラ陪審裁判ノ緊急勅令ニ違反シタモノハ陪審裁判ニ付スルト云フコトニ付テ先頃御話ガアリマシタケレドモ、是ハ水谷君カラモ御質問ガアルト思ヒマスガ、本日ノ新聞ニハ、陪審法ノ中ニ緊急勅令ニ依ルモノハ、陪審裁判ニ付セナイト云フ條項ガ、新タニ提出サレルト云フコトデアリマスルガ、是ハ事實デアリマスルカ、先ヅ是ダケノコトヲ承ハリタイト思ヒマス

○原國務大臣 簡單ナ方カラ御答致シマスガ、不戰條約ニ調印シタコトガ治安維持法ニ最モ該當シナイコトヲ御承知ヲ願ヒマス、陪審法ノ改正ハ不日議會ニ提案致シマス積リデアリマスカラ、其際ニ理由ハ申上ゲマス、其次ニハ

斯ウ云フ法律ヲ拵ヘタ爲ニ思想ガ惡化シハセヌカト云フコトデアリマスガ、政府ハ是ガ爲ニ思想ガ惡化スルト云フコトハ考ヘテ居リマセヌ、思想ヲ以テ思想ニ對スルト云フヤウナコトハ、是ハ思想デアル間ノコトデアル、思想ニ基イテ行動ヲ起ス場合ニハ、思想ヲ以テ對抗スルナド、云フコトデ満足出來ヌノハ、是ハ當然ノ事柄デアラウト思フ、又過激思想ヲ一掃スル云々ト云フコトヲ仰シヤイマスガ、政府ハ治安維持法ノ改正ヲ以テ過激思想ヲ一掃シヤウトシテ居ルノデナイト云フコトハ、屢々申上ゲタ通りデアッタ、唯實際行動ニ出ヅルヤウナ者ヲ少クトモ嚴重ニ處罰スルト云フ精神ヲ以テ、此法律ノ改正ヲシタノデアルト云フコトハ、他ノ委員諸君ニ對シテ度々御答シタ所デアリマスノデ、之ニ依テ御諒承ヲ願ヒタイト存ジマス、又先程御話ニナリマシタ幸徳秋水事件ガアッタ爲ニ、社會主義ガ却テ擴ガタト云フヤウナコトハ、私共ハ見タコトハナイノデアリマス、幸徳秋水事件ト其後ニ於ケル日本國內ニ於ケル社會主義運動ノ擴ガタト云フコトハ、是ハ原因結果ノ關係ハ全然無イノデアリマス、幸徳秋水事件ハ御承知ノ通り大逆罪デ、幸徳秋水ノ事件ノ例ニ依テ大逆罪ガ殖エタト云フコトハ、無論ナイト云フコトハ是ハ貴方ノ御承知ノ通りデアル、而シテ他ノ社會主義運動、是ハ何モ幸徳秋水事件ニ少

シモ關係ハナイ、所謂貴方ノ仰シヤル外國ニ發達シタ思想ガ日本ニ入ッテ來テ、各種ノ社會主義運動トナッタノデ、何モ幸徳秋水事件トハ少シモ關係ハ無イノデアリマス、從テ政府ハ治安維持法ノ改正ニ依テ何等思想ヲ惡化セシメルト云フヤウナ原因ハナイ、之ニ依テ過激思想ガ更ニ殖エルト云フヤウナコトハ少シモ考ヘテ居ラヌノデアリマス、ソレダケ御答致シマス

○内ヶ崎委員 內務大臣ニ御伺致シマス、此緊急勅令ガ樞密院ノ承認ヲ得マシタ時ニ、樞密院ガ條件ヲ出シタト云フコトガ主ナル新聞ニ漏レテアルノデアリマス、樞密院ノ議事ガ公ケニセラレベキモノデナイト云フコトハ承知致シテ居リマスケレドモ、兎ニ角會議ノ模様ヤ或ハ其經過結果等ガ新聞ニ出テ居ルノデアリマシテ、當ラズト雖モ遠カラズト云フヤウナモノガ發表サレテ居ルト思フノデアリマスガ、其時ノ政府ニ對スル條件ノ中ニ各般ノ社會施設ヲ完備シテ國民生活ノ安定ヲ計ルベシト云フコトガアッタノデアリマス、然ルト云フコトガ豫算ニ於キマシテ此條件ニ該當スルヤウナ社會政策ガ現ハレテ居ラナイヤウニ思フノデアリマシガ、內務大臣ハ如何ニ御考ヘニナルノデアリマスカ

○望月國務大臣 樞密院ノ議事ハ之ヲ外間ニ漏スベキモノデナイト心得テ居リマスカラ、樞密院デドウ云フ論議ガアッテ、ドウ云フコトガアッタト云フコトヲ申上ゲルト云フコトハ、是ハ遠慮致シマス、而シテ其樞密院會議ノ模様ナルモノガ、成程新聞デハ其當時書カレタヤウデアリマスガ、是モ甲ノ新聞ト乙ノ新聞トハ違ヒマス、彼此レ一定シタモノデハナカッタヤウニ心得テ居リマスガ、誰カ之ヲ漏シタモノガアッタカ、是ガ果シテ正鵠ナルモノヲ書イタモノデアルカドウカト云フヤウナコトハ、樞密院ノ性質トシテ漏ラスベキモノデナイト存ジテ居ルノデアリマス、ソレデ貴方ノ御尋ハ樞密院ガ斯ウ云フ條件ヲ付シテ居ルニモ拘ラズ云々ト云フヤウニ仰セラレタト思フノデアリマシガ、サウ致シマススト云フト、今申上ゲマス通りノ次第デアリマスカラ、其他ニ樞密院ノ云々デナクトモ、此社會政策ガ見ルベキモノガナイカドウカト云フコトノ御尋ニ御答ヘシテ宜シウゴザイマスカ

○内ヶ崎委員 宜シウゴザイマス

○望月國務大臣 社會政策ニ付キマシテハ成程私共モ之ヲ以テカラニ十分ナリトハ決シテ存ジテ居リマセヌ、併シテ政府トシテハ豫算ノ關係彼此レヲ考慮ラシマシテ、先ヅ今日ノ情勢ノ豫算ノ彼此レノ情勢ヲ考慮シマシテ、先ヅ能フルダケノコトハ豫算ニモ計上シ、又豫算ニ關係ノナイ法案モ提出ヲ致シマシテ、御協賛ヲ得ベク考ヘテ居ル次第デアリマス、政府トシテモ今回

計上シマシタルモノヲ以テ、決シテ満足ヲシテ居ル譯デハナイノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○内ヶ崎委員 只今內務大臣ヨリ、樞密院ノ會議ノ模様ハ樞密院アルカラ、ドウ云フ條件ガ附セラレタト云フコトハ話サレナイト云フ御話デアリマスガ、ソレハ內務大臣トシテハ尤ナ事ダト思フノデアリマス、併ナガラ樞密院ノ精査委員會ガ設ケラレテ、精査委員ガ斯クノ條件ヲ附シタト云フコトガ、即チ有力ナル新聞ニ依テ公表サレテ居ルコトデアリマスカラ、是ハ公ノ秘密ノヤウナモノデゴザイマシテ、政府當局ノ方デハ肯定サレナクテモ、國民一般ハ斯ウ云フ條件ガ附イテ居タ位ノコトハ皆承知シテ居ルノデアリマス、ソレデアルカラ政府當局トサレマシテ之ヲ肯定致サレマセヌデモ、國民ノ方デハ大抵皆飲込シテ居ルヤウデゴザイマスカラ、ソコデ保守的ノ樞密院デサヘモ社會施設ヲ行ッテ、サウシテ國民生活ノ安定ヲ圖ルヤウニセヨト云フヤウナ條件ヲ附シタノデアルカラ、ソコデ現內閣ト致シテハ特別ニ此社會施設ノ方ニ力ヲ注ガナケレバナラヌノデハアルマイカト、國民ハ考ヘテ居ル譯デゴザイマス、然ルニ現內閣ガ提出サレテ居ル社會政策ノ如キハ救貧法デアリマスカ、救護法案ト申シマスカ、其他二件バカリゴザイマスケレドモ、是ナドモドウナリマスカ、ウツカリスルト審

第五類第十一號 昭和三年勅令第二百二十九號(治安維持法中改正ノ件)(承諾ヲ求ムル件)委員會議錄 第五回 昭和四年二月二十六日

七

議未了ニナル虞ガアルナド、言ハレテ居ル位デアリマシテ、勞働組合モ御提出ニナラズ、其他知識階級ノ失業救済ト云フヤウナ設備ナドモ一向致サレナイヤウデゴザイマシテ、國民トシテハ現内閣ノ社會的施設ハ餘リニ手緩イ、餘リニ不熱心デアアル、取締ルコトバカリ嚴重デアツテ、サウシテ國民ノ不平、不滿ニ満足ヲ與ヘテヤルト云フヤウナ施設ニ對シテハ、餘リ緩慢ナル態度ヲ執ラレテ居ルモノデハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、併ナガラ内務大臣モ仰セラレマシタ通り、豫算内ニ於テシナケレバナラヌカラ、サウ何モカモヤルコトハ出來ナイト云フ御話デアリマスカラ、是ハ幾ラ追究申シマシタ所ガ此以上ノ御答辯ヲ戴クコトハ出來ナイト考ヘマスカラ、此問題ハ打切ルコト、致シマス、次ニ御伺致シタイコトハ言論ニ對スル内務省ノ取締ノ御方針デアリマスガ、演說會ニ對シテハ非常ニ嚴重ナル取締ヲセラレルノデアリマシテ、唯諸君ト言フタケデ發言ヲ禁ゼラレタナド、云フコトヲ聞クコトハ珍ラシクナイノデゴザイマス、然ルニ著書ノ方ハ至ツテ寛大ニ取扱ハレテ居ルヤウデゴザイマシテ、「マルキシズム」ニ關スル翻譯ノ如キハ随分坊間流布致シテ居ルノデゴザイマシテ、青年ナドノ之ヲ讀ム者ガ少クナイノデゴザイマス、殊ニ支那ノ學生ガ「マルキシズム」ヤ或ハ露西亞ノ内容ノコトナドヲ研究

スルノニ、露西亞語ヲ研究スルトカ獨逸語ヲ研究スルト骨ガ折レルケレドモ、日本語ヲ研究スレバ假名サヘ覺エレバ宜イノデアアルシ、漢字ハ大抵意味ハ分ルト云フヤウナ譯デ、日本語デ書イタ物ヲ讀メバ、共產主義ノ研究ニハ手取早イト云フコトデ、支那ヘ大分日本語デ書イタ共產主義ノ本ガ參ルト云フコトヲ聞クノデアリマス、其爲ニ大抵三千部位刷レバ賣レルト云フ見當ガ付イテヤツテ居ルト云フヤウナコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、其爲ニ雜誌ニ致セ、翻譯ニ致セ、随分澤山ニアルノデゴザイマスガ、サウ云フモノハ至ツテ寛大ニ御取扱ニナツテ居ルノデアリマスガ、諸君ソレヲ買ヘバドウナルカト言ヘバ、福島縣ノ或ル友人ノ話デハ、改造社ノ「マルクス、エンゲルス」全集ヲ註文シタ郵便局ノ局員ガ其爲ニ首ニナツタトカ小學校ノ教員ガ首ニナツタトカ云フコトヲ聞イテ居ルノデゴザイマスガ、其位小學校ノ教師ヤ何カニ讀マセテ惡イモノナラバ、初カラ發行ヲ御許シニナラナイ方ガ宜イト思フノデアリマス、發行ハ許シテ置イテ、サウシテ買ツタ者ハ惡イカラシテ首ニスルナド、言ツテ、地方官憲ガ勝手ナコトヲヤルト云フノハ、甚シイ矛盾デハナイカト思ヒマス、又思想ハ思想ヲ以テ對立シナケレバナラヌト云フコトハ一應尤デアリマスケレドモ、共產主義ノ思想ハ、英吉利ノヤウナ餘程進歩シタ、民

衆政治ノ訓練ヲ經テ居ル所ナラバ、大シタコトモアリマスマイケレドモ、私ガ是マデニ司法大臣或ハ文部當局ニ對シテノ質問ノ中ニモ繰返シテ申シテアルコトデアリマスガ、日本ノ青年ハ感情のデアリ、又單調デアツテ、マダ反省シタリ何カ研究スル精神ノ訓練ヲ經テ居ラナイカラ、新シイ思想ガ來ルト、ソレニヒタ押シニ押サレルト云フヤウナ傾向ガゴザイマス、サウ云フ時ニ共產主義ノ出版ト云フモノヲ餘リニ寛大ニ御許シニナルト云フト、青年ハソレヲ讀ミ、讀ンデ行クト云フト、或ル程度マデ行ケバ、實行ニ移ラナケレバナラナイヤウニ仕向ケテ行クノデアリマシテ、其書物ノ中ニハ色々宣傳ノ方法デアルトカ、工場トカ學校ナドニ細胞ヲ置クコトナドモ皆書イテアル、其本ガ自由ニ巷間ニ賣出サレテ居ルノデゴザイマス、サウ云フコトヲ若シ演壇ノ上カラ演說スルナラバ、直ニ辯士ハ中止サレルノデアアルガ、書物ニ書イタ物、或ハ雜誌ニ書イタヤウナ物が割合ニ寛大ニ取締ラレテ居リマス、サウ云フ物ノ影響ヲ受ケテ、官公私立ノ專門學校ヤ、大學ナドノ學生ガ自然共產主義ノ深ミニ入ッテ行ツテ、遂ニハ共產黨カラオ前ハ會員トシテ承認スルカラ入レト言ハレタ時ニ、チャント下地ガ出來テ居ツテ、直グ引掛ツテソレナラ入ッテモ宜イト云フヤウニナルノデハアルマイカト思フノデゴザイマス、私ハ言論ハ成タケ自由ニ

スル方ガ宜イト云フ主義デハゴザイマスガ、併シ現政府ノ取締リハ言論ニ對シテハ餘リニ嚴重デアツテ、著述ノ方ハ至ツテ寛大ノヤウニ見受ケルノデアリマシテ、其間ニ統一ガナイヤウニ思フノデゴザイマスガ、内務大臣ハ如何ニ御考ニナツテ居リマスカ

○望月國務大臣 言論ノ自由ハ是ハ尊重シナケレバナリマセヌ、此點ニ付テハ出來得ル限り尊重スルト云フコトノ考ヲ變ヘタコトハナイノデアリマス、併シ或ハ公安ヲ害スルトカト云フヤウナ詭激ナ言辭ノアツタ場合ニハ、自然是ハ取締ルト云フコトハ當然デアリマスガ、只今内ヶ崎君ノ「諸君」ト云ッタバカリデ以テ、或ハ差止ラスル、ドウカウト云フコトハ、マア一ツノ形容トシテ仰セニナツタコトデアラウト思ヒマスルケレドモ、併シモシモ中止デモシナケレバナラヌト云フ程ノコトデナクテモ、或ハ中止ヲスル、或ハ注意シナケレバナラヌト云フヤウナ事柄デナクテモソレヲ注意ラスル、所謂言論ヲ壓迫スルト云フヤウナ聲ヲ聞クト云フコトハ甚ダ遺憾デアリマスルカラ、政府ハ此點ニ付テハ出來得ル限りノ注意ヲ怠リマセヌ、ソレカラ著書ニ付テ、極メテ寛大デアルト云フコトノ御話デアリマスガ、此寛大ナルガ爲ニ斯ウ云フ風ナ恐ルベキ結果ヲ來シハシナイカト云フコトノ御杞憂ハ、是ハ御尤デゴザイマス、其點ニ付テハ内ヶ崎君ガ、ソレ程迄ニ御注

意、及國家ノ爲ニ憂ヘラレルト云フコトノ點ニ對シテハ、私共非常ニ感謝ヲスル次第デアリマス、併シ政府ガ著書ニ對シテ殊更ニ寛大デアルト云フコトハ、是ハナイ筈デアリマスガ、或ル場合ニ於テハ如何ナル手落等ノ爲ニ内ヶ崎君ノ仰セニナッタヤウナコトガ、是ガナイトモ言ヘナイノデゴザイマス、私ハ此點ニ付テモ出來得ル限りノ取締ニ對シテハ注意ヲスベク、常ニ申シテ居ルノデアリマスガ、此處ニ警保局長ガ來テ居リマスカラシテ、詳細ノ事ニ付キマシテハ御話ヲサセヤウト思ヒマス

○横山政府委員 只今大臣ヨリ御答セラレマシタ通りデゴザイマシテ、言論、集會ノ取締ニ付キマシテハ、或ハ不必要ニ取締ヲ行フ、必要ノ限度ヲ越エテ、或ハ注意、中止、或ハ解散ヲ行フト云フ場合ガアル、只今御指摘ノヤウナコトモ實ハ間々ニハアルヤウニ聞イテ居リマシテ、此點ハ洵ニ遺憾ト感ジテ居ル者デアリマス、併シ大體言論ノ取締ハ御承知ノ如ク、文書ノ著書、或ハ雜誌、新聞ニ對スル取締ヨリモ、其當面ノ、其集會ノ事情、狀況、情勢、聽衆ノ數、其他環境ノ情勢ニ依テ、安寧、秩序ヲ害スル事端ガ生ズルカドウカト云フコトノ、極ク際ドイ場合ニ行フモノガ随分多イノデアリマス、其認定ノ如何ニ依リマシテ随分御批評ガアラウト思フノデアリマス、本ニ書イテ居リマスコトヲ其儘ニ讀ミマシテ、宜シイノダ、或ハ惡イ

ノダト云フコトデアリマセヌノデ、切迫シタ其當時ノ狀況、其周圍ノ情勢ニ依テ判斷ヲシテ、臨機ノ處置ヲ致スコトガ言論集會ノ取締ノ要諦デアリマスノデ、文書ノ著書等ト同ジヤウナ程度ト云フ譯ニハ參ラヌカト思フノデアリマスガ、併シ言論集會ノ取締ニ對シマシテモ、往々ニシテサウ云フコトヲ耳ニ致シマスコトハ寔ニ遺憾ト存ジテ居リマス、政府トシマシテハ是非非常ニ注意致シマシテ、言論ノ尊重、集會ノ取締ニ付キマシテハ屢々注意致シテ居リマス、唯過去ノ情勢ト申シマスカ、或ハ間々必要ノ限度ヲ超エマシタ事ガアリマスレバ、ソレハ將來ニ於テ矯正ヲ致シタイト存ジマス、出版物ノ取締ニ付キマシテ寛大ニナリハシナイカト云フ御懸念ガアリマシタ、是ハ先般中谷委員カラモ御注意デアリマシテ、其時分ニモ御答致シテ置キマシタガ、私共非常ニ願慮致シマスコトハ、寛大ニ過ギテモイカヌシ、又嚴格ニ過ギテ文章思想ノ壓迫ニナリハシナイカト云フコトヲ非常ニ實ハ願慮致シテ居リマス、或ハ「マルキシズム」デアルトカ、共產主義的經濟學ノ原理デアルトカ、斯ウ云フモノ、冷ナ研討探究ト云フ問題ニ付キマシテ、國家ガ全部國民ノ前カラ之ヲ取ツテシマフコトガ宜イカドウカ、斯ウ云フコトニナリマス随分大キナ問題デアリマシテ、大體ニ於テ學問トシテ茲ニ提供サレテ居リマスモノヲ、現

代文明ノ學問ノ上ヨリ研討ヲシ、之ヲ研究ヲスルト云フコトハ、如何ナル國ニ於キマシテモ大體ニ於テソレヲ認メテ置クガ宜カラウ、唯其著書、或ハ研究ノ結果ヲ發表スル形式——其内容ニモ依リマスガ、其形式如何ニ依リマシテ國民ノ多數、或ハ青少年ノ多數ニ對シテノ影響ガ何處ニアルカト云フコトハ、其時々、其時代、其時機ノ社會ノ情勢、社會思潮ノ事情、其他國民ノ信念如何ト云フコトガ大キナ影響ヲ持ツモノデアリマシテ、如何ナル場合ニ於キマシテモ學問ノ研究ナラ宜シイノダト云フ原則ヲ決メルコトモ如何カト思ヒマスガ、大體現在ニ於キマシテハ極ク冷ナル學問上ノ研究ニ於キマシテハソレハサウシテ宜シカラウ、唯ソレヲ發表スル形式トカ、研究スル方法トカ云フモノニ對シテ、社會ノ秩序ヲ紊リ、或ハ國民ノ多數ニ非常ナ矯激ナル思想ヲ植付ケマシテ、其結果或ル忌ムベキ國家ノ爲ニ非常ニ不利益ナル情勢ヲ來タサナイヤウニト云フコトヲ、種々ノ方面カラ願念ヲ致シ、取締ニ從事致シテ居ルノデアリマス、只今御話ノヤウニ青少年ガ共產主義ノ本ヲ讀ンデ、ソレニ興味ヲ持ツテ實際運動ニ移ル、或ハ細胞ヲ造ルノデアルトカ、戰術ヲ研究スル、戰略ノ方面ヲ研究スルト云フ方面ニ付キマシテハ、現在ノ方針デハ嚴然禁止ヲシテ居ル積リデアリマス、共產主義ノ思想ヲ煽動シ、鼓吹ヲシ、或ハソレヲ實

行方面ニ移スニ付テノ研究竝ニ其運動ナリ、或ハソレヲ煽動スル、鼓吹スル、此方面ハ私共ノ方針デハ、ソレヲ許サナイ方針ヲ持ツテ居リマス、唯如何ニモ近頃ハ印刷出版ノ場合ガ如何ニモ巧妙ニナリマシテ、事前ニ之ヲ豫知シテ全部ノ取締ヲ周到ニ致スコトガ往々ニ出來ナイ事情ガアリマス、出版致シマシタ物ノ禁止處分ガ事後ニナリマス爲ニ、其中ノ一部ガ坊間ノ手ニ移リ、或ハ讀者ノ手ニ入リマス事ハ、洵ニ遺憾ト存ジテ居リマスガ、成ベク取締方法ヲ周到ニシマシテ、サウ云フ方面ノ著書、出版物ト云フモノガ、國民ノ手ニ入ラナイコトヲ將來十分二期スル積リデアリマス、尙ホ寛大ナリヤシナイカト云フコトヲ私共常ニ頭ニ考ヘテ居ル點デアリマス、是等ノ點ハ十分ニ御注意ヲ承テ置キマス、大體今ノ御質問ニ御答致シマス

○内ヶ崎委員 モウ十二時ヲ大分過ギマシタガ、尙ホ五六分、午後續ケテ承リタイト思ヒマスガ、内務當局ノ質問ガ大分殘ツテ居リマスカラ、只今ノコトニ關連シタコトダケ御質問シタイト思フノデアリマス、私ハ一體自由主義ヲ以テ取締ル方ガ、結局左傾、極左傾思想、或ハ共產思想ガ我國ニ於テ勢力ヲ得ルコトヲ豫防シ得ルモノダト確信シテ居ル者デゴザイマス、併ナガラ只今警保局長ノ御話ヲ承リマスルト云フト、著書ニ對シテハ可ナリ寛大ナ態度ヲ執ッ

テオキデニナルヤウデアリマシテ、ソレカラ司法當局ノ方ハ嚴罰ヲ以テ之ニ臨ムト云フヤウナ風デ、政府ノ御方針ガドウモ一致シテ居ラナイヤウニ思フ、何故サウ云フコトヲ申シマスカト云フト、今日日本屋へ行ッテ御覽ニナルト分ルノデアリマスガ、社會主義、或ハ共產主義、或ハ露西亞ノコトヲ書イタモノ、サウ云フモノガ先ヅ割合ニ多ク出テ居ル、而モ割合ニ安イ本デ、サウ云フノガ多ク出版サレテ居ルノデアリマシテ、ソレ等ニ對抗シテ或ハ露西亞ノ革命ヲ批判シタ書物デアルトカ、或ハ「レーニン」ヲ批判シタ書物デアルトカ、或ハ「マルクス」流ノ社會主義ノ批評ヲスル書物トカ云フモノハ割合ニ少イ、之ガ一體日本ノ學界ノ情ナイ所デアッテ、是ハ文部省ノ方デ考慮ラシナケレバナラナイト云フヤウナコトデ、先達山崎文部政務次官ト質問應答ヲ致シタ譯デゴザイマスガ、甚ダ變ナコトデアリマシテ、兎ニ角左傾思想ノ方ノ書物ガ多ク本屋ニ竝ンデ居ル、左傾思想ノ本ト、或ハモウ少シ右傾ト申シマセヌデモ、中正ノ思想ヲ述ベテ居ルヤウナ書物ガ竝行シテ居ル位デアリマスルナラバ、トシ、ニナルノデアアルケレドモ、其左傾思想ノ方ガ兎ニ角多イモノデアアルカラ、青年ハソレニ引ケラレルノデアリマス、例ヘバ某々ノ學校ナドニ於テ雄辯會ト云フ學生ノ團體サウ云フ所デ學生ハ何ヲ喋ベルカト云フト、大抵

皆赤イコトバカリ喋ッテ居ル、何ノ爲ニ赤イコトヲバカリ喋ベルカト云ヘバ、安クテ手頃ナ參考書ガ澤山アルモノデアアルカラシテ、演說ヲスルガ何カ内容ガナケレバ困ルモノデアアルカラ、サウ云フモノヲ持ッテ來テ喋ベルカラシテ、ソコデドウシテモ喋ベル者ハ無論赤クナルシ、ソレカラ他ノ者ハ黙ッテ何モ研究シナイカラ喋ベルコトガ出來ナイ、今度ハ右ノ方デアルト中正ノ方ハ意見ヲ吐カナイカラ、結局雄辯會トカ何トカ云フ學生ノ團體ガ左傾思想デ占領サレテシマフト云フコトデアアル、ソレデ新聞ヤ學界ナドガ占領サレタノモ矢張同ジ道程ナンデス、詰リ左傾思想ノ書物ガ澤山アル、雜誌ガ澤山ニアルモノデアアルカラシテ、皆ソレニカブレテシマフノデアリマシテ、司法大臣ガ心配サレテ居ル所ノ大衆行動ト云フモノハ、斯クシテ著々行ハレテ居ル、是ハ逆モ治安維持ノ緊急勅令ヲ施行シタカラト云ッテ、出版物ヲ通シテ共產主義的ノ氣分ガ普及シテ行クコトヲ豫防スルコトハ、容易ニ出來ナイダラウト思フノデアリマスカラシテ、若シ政府當局ガ嚴罰主義デ一貫スルナラバ、モウ少シ著述ノ方ニ對シテモ嚴罰主義ヲ加ヘナケレバ、釣合ヒガ取レヌト私ハ思フノデアリマシテ、私ナドハ政府當局デアリマセヌカラ、何トモ仕方ガナイガ、吾々ナラモウ少シ他ニヤリヤウガアル、併ナガラソレハアナタ方デアリマスカ

ラシテ、アナタ方ノ立場デドウシテモ嚴罰主義デ行クヨリ外ナイカラシテ、嚴罰主義デ行クナラバ、モウ少シ内務省ノ警保局ハ揮ヲ締メテ御掛リニナラナケレバ、アナタ方ノ御立前トシテオカシイデハナイカト考ヘル、私ハ本當ニ眞面目ニ考ヘテ行ク上ニ於テ、ドウモア、云フヤウニ書物ガ自由ニ出版サレテ居ッテ、サウシテ大學ノ先生ナドノ講義デハ權威ガナイト云フコトデ、學生ニ馬鹿ニサレテ居ルヤウナ傾向デアリマシテ、マダ社會主義スラモ立派ニ批評シタ、立派ナ纏ッタ書物ガ無イト云フ譯デアリマスカラシテ、サウスレバ自然ニ抛ッテ置ケバ司法大臣ノ心配サレル大衆行動ト云フモノハ、書物ノ力ニ依テ地方ノ津々浦々ニ普及スル傾向ハナイカト思フノデアリマス、何レ尙ホ此問題及之ニ關聯シタコトヲ質問應答致シタイト思フノデアリマスガ、警保局長ノ御答辯ヲ得レバ仕合セデアリマス

○横山政府委員 日本ノ出版界ノ現狀ニ付キマシテハ、内ヶ崎サンノ御話ト同ジヤウナ憂ヲ持ッテ居ルノデアリマス、急進的ノ著書ガ非常ニ坊間ニ讀マレル、ソレニ對スル保守的ト申シマスカ、又反動的ト申シマスガ、或ハ我が國家ノ國體觀念ヲ本體トシテノ經濟社會各方面ノ批判ヲシ、又ソレヲ檢討シテ行クト云フ本ガ比較的少イ、又數ニ於テモ少イ、讀マレベキ機會モ割合ニ少イト云フコトガ、日本ノ現在ノ讀書界ノ傾向トシテハ洵ニ憂フベキコトデアルト思ヒマス、政府ニ於キマシテモ此社會教育ノ方面カラシテ、共產主義的傾向ヲ持ッテ居リマスル青年ノ教育ニ、學校或ハ講演以外ニ著書ノ方面デソレニ對抗シテ行カウト云フコトヲ、種々考慮ヲ致シテ居ル次第デアリ、又現在デモソレヲ非常ニ考ヘテ居ル、併シ官憲ノ力ノミデ其結果ガ十分ニ出來マスカドウカハ疑問デアルト思ヒマスルガ、其方面ニモ將來努力スベキ點ガ多々アルト思ヒマス、是ハ併シ直接内務關係ノミデハアリマセヌノデ、私茲ニ其政府ノ考ヲ十分申上ゲル譯ニ行キマセヌガ、ソレニ對スル私ノ見解トシテハ、現在ノ國家ノ現象ニ對スル觀察ハ、内ヶ崎サント同ジヤウナ觀察ヲ致シテ居リマシテ、ソレヲ矯正スベキ社會或ハ國家ニ於テモ、適當ナ手段ヲ執ルコトヲ私共必要ト考ヘテ居ルノデアリマス、大體檢閲ノ方法ト致シマシテ、只今申上ゲマシタヤウナ學者ノ研究、學問ノ研究ト云フモノヲ、全部押ヘテシマフマデニ、國家ノ出版物ニ對スル行政處分ヲソレ迄行クカドウカト云フコトニ對シテハ、私衷心疑問ヲ持ッテ居ル、他ノ方面ニ於テソレヲ矯正シ、抑止シテ行クト思フノデアリマシテ、冷ヤカナル經濟ノ學問、或ハ社會ノ學問ト云フモノヲ全部共產主義ノ學問、或ハ「マルキシズム」ノ經濟學ノ學問ト云フモノヲ、國民ノ間カラ全部取ッテシマフト云フ態

度ヲ國家トシテ執ルコトガ適切デア
カト云フコトニ對シマシテハ、私ハ現
在ノ事情、國家ノ態度カラシマシテ、適
切デハナイト考ヘテ居リマス、其方針
デ檢閲ノ事務ヲ執ッテ居ルノデアリマ
ス、他ノ方面ニ於キマシテ其趨勢ト申
シマスカ、現象ト申シマスカヲ匡正シ
テ行クコトヲ、國家及社會ノ各方面ニ
於テ執ッテ行クコトヲ、最モ適切ナル方
法ト考ヘテ居リマス

○井坂委員長 ソレデハ休憩致シマシ
テ、午後二時カラ開キマス

午後零時三十二分休憩

午後二時十八分開議

○井坂委員長 開會致シマス——内ケ
崎君

○内ケ崎委員 警保局長ニ午前中ヨリ
ノ質問ヲ續ケタイト思ヒマス、内務大
臣ガ御出下サレバ更ニ都合ガ好イトモ
思ヒマスケレドモ、御差支ガアレバ已
ムヲ得ナイノデアリマス、共產黨取締
ノ爲バカリデハアリマスマイケレド
モ、主トシテ其爲ニ各府縣警察部ニ特別
高等課ヲ設ケラレタノデアリマシテ、
是ハ亦已ムヲ得ナイコトデアッタラウ
ト思フノデアリマス、然ルニ或ル府縣
ナドニ於テハ折角特別高等課ガアルカ
ラシテ、其職分ヲ果サナケレバナラナ
イト云フ風ニ、鶴ノ目鷹ノ目ニナッテ何
カ問題ガナイカト云フ風ニ探シ廻ッテ、
平地ニ波瀾ヲ起スヤウナコトハナイト

モ限ラナイヤウニ思フノデアリマス、
現ニ昭和三年九月ノ二日仙臺市ニ於キ
マシテ、男學生ヤ女學生ヲ檢舉シタノ
デアリマシタガ、調べテ見タ所ガ「バイ
ブル」ノ研究會ニ出タ女學生マデモ引
張り上ゲタトカ何ト云フコトデアリ
マシテ、結局大山鳴動鼠一匹ト云フヤ
ウナコトニナッタヤウデアリマシタガ、
是ハ別ニ裁判ニモナラナイデ濟ンダヤ
ウニ思フノデアリマス、現ニ司法部ヨ
リ御廻シニナリマシタノデ、裁判ノ記録
ナドニモ仙臺ノ事件ノコトハマダ載ッ
テ居リマセヌ、或ハ御取調中ノ爲デア
ルカモ知レマセヌ、是ハ仙臺市ニ起ッ
タ事件デアリマスルガ、之ニ類似ノ事件
ガ全國所々ニ起ッテ居ルノデハナイト
ト思フノデアリマス、特別高等課ナド
ハ傳家ノ寶刀ノヤウナモノデアアルカ
ラ、滅多ニ抜イテハナラヌノデアアルケ
レドモ、矢張腰ニ一刀ヲブラ下ゲテ居
ノト、抜カナイト何カ本省ニ對シテ相
濟マヌヤウナ氣ガスルト云フヤウナコ
トデ、不必要ノ檢舉ニモナルノデアアリ
マスマイカ、斯ウ云フコトヲ如何ニ御
考ニナルノデアリマスカ、又之ニ伴ッ
タコトデ、是ハ世間ノ噂デアリマスガ、警
視廳ニハ色々交際費ガアリマス爲ニ、
色々ナ人々ガ行ッテソレヲ強請ルトカ
云フヤウナコトガアルノデアリマシ
テ、社會ノ複雑ナル關係ヲ有スル警視
廳當局者トシテハ、或ル程度マデハ是

ハ大目ニ見ナケレバナラナイトコトダ
ト思フノデアリマスガ、特別高等警察ノ
仕事ガ殖エマシタ爲ニ、警視廳ノサウ
云フ方面ノ費用モ増額サレタノデアリ
マセウ、ソレナ爲ニ何等日本共產黨取
締ヤ何カニ關係ノナイヤウナ者マデ警
視廳ニ詰掛ケテ、サウシテ盛ニ其方カ
ヲ御小遣ナドヲ貰ッテ、或ハ之ヲ衣食ノ
資ニ供シタリ、或ハ飲食ノ費用ニ充テ
タリシテ居ル者ガ、一寸眼ニ著クヤウ
デアルト云フヤウナ噂ヲ聞イタコト
ガアルノデアリマスガ、サウ云フコト
ニ對シテ警保局長ハ如何ナル御考デア
リマスカ、ソレカラモウ一ツ小サイ問
題デアリマスガ、是ハ警視廳ノ取締ニ
關係ノアルコトダト思フノデアリマス
ガ、昭和二年十月ニ新宿ノ武藏野館ト
云フ大キナ活動寫眞館デ、「ヴォオルガ」
ノ船唄ト云フ映畫ヲ見セタサウデアリ
マス、是ハ内務省ノ檢閲ヲ經タモノダ
サウデアリマシテ——或ハ警視廳ノ檢
閱デアリマスガ、兎ニ角當局ノ檢閲ヲ
經タモノデアッタサウデアリマス、所ガ
之ヲ能ク見ルト云フト赤化思想宣傳ノ
モノデアリマシテ、數日上映シテカラ
氣ガ付イテ之ヲ禁止セラレマシタ、ト云
フヤウナコトデアリマスガ、政府當
局ニ於テ赤化思想取締ト云フヤウナ事
ヲ、眞面目ニ考慮セラレテ居リマスル
ナラバ、「ヴォオルガ」ノ船唄ナンカト云
フ、名カラシテ露西亞臭イモノニ極ッ
テ居ルノデアリマスカラシテ、ソウ云ッ

モノニ對シテモ用意周到ニ取締ラレナ
ケレバ、折角ノ大體ノ御方針ト相容
レナイノデアリハシナイカト思フノ
デアリマス、其「ヴォオルガ」ノ船唄ト云
フモノハ後ニナリマシテカラ大修正
ヲシテ、更ニ上映ヲ許シタト云フコト
デアリマシテ、モウ一年餘リ經ッテ居
リマスカラ、モウ流行ラナイヤウニナ
タカノ如ク聞キマス、此三點ニ付テ御
答辯ヲ願ヒマス

○横山政府委員 特別高等警察機關
ヲ、先般充實擴張致シマシテ、從來數府
縣ニ其專門ノ機關ヲ持ッテ居リマシタ
ガ、今回全國ニ互リマシテ、警察機關ヲ
擴充致シマシタノデアリマス、只今御
話ノヤウナコトハ、私共一番懸念シタ
コトデゴザイマシタ、打明ケテ申上ゲ
マス、機關ヲ布イタ爲ニ其警察機關
ガ自分ガ其事務ニ專從ノ餘リ、不必要
ナ或ハ取調ヲスルトカ、搜查ヲスルト
カ云フヤウナ行動ニ出デハシナイカト
云フコトハ、是ハ内ケ崎サント同ジヤ
ウナ考ヲ私就任當初カラ持ッテ居リマ
シテ、會合ノ時分ニモソレヲ非常ニ力
説ヲシテ、又機會アル毎ニ其點ヲ特ニ
注意致シテアルノデアリマス、所デ、新
シイ仕事ヲ始メタ時分ニ、サウ云ッ
ヲ仕出カスコトガ過去ニモアリマスル
シ、又サウ云フ懸念ガ能クアルノデア
リマス、之ニ付キマシテハ實ハ十分ニ
注意ヲ致シマシテ、必ズ此警察機關ガ
功ヲ焦ッテ、不必要ナル行動ヲシテハ困

ル、寧口現在ノ各地方ノ情勢ヲ調査シテ、周到ニ調査ノ手段ヲ盡シテ、若シ其間ニ證據歴然タルモノガアリマスレバ、一舉ニシテソレヲ逮捕スルト云フコトハ、警察機關ノ働キデアリマスガ爲ニ、功ヲ焦ッテ事端ヲ醸スト云フヤウナコトヲシナイデ吳レト云フコトノ注意ヲ屢々致シテ居リマス、私モサウ云フ風ナ結果ヲ生ジハシナイカト云フコトヲ、今デモ懸念ヲ致シテ居リマスノデ、若シサウ云フ風ナコトガアリマスレバ、御注意ヲ願ヒマシテ、矯正ヲ致シテ置キタイト思ヒマス、唯此前年ノ仙臺市ニ起リマシタ學生或ハ生徒ノ取調ニ付キマシテハ、或ハ多少必要ナ限度ヲ超エタ調ベハアリマシタラウガ、彼ノ事態ガ相當ニ重イ事態デアリマシタ、警察トシテ調査ヲシ、其搜查シタ動機ナリ或ハ取調ノ進行ト云フモノガ、餘リ輕クナイ事態デアリマス、併シ身分ガ學校生徒ニ關係致シマスカラ、能ク能ク此學校管理者ノ方面ト打合せヲシ、各方面共助ノ下ニ矯正ヲ致シテ置キタイト云フ態度ヲ執リマシテ、餘リ峻烈ナル法ノ適用ヲ避ケテ、矯正致シテ置キタイト云フ氣分デ取調ヲ致シマシタ、アノ事件ノ本體ハ餘リ輕クナイ、憂フベキ實ハ事實ガアルノデアリマス、唯多クノ取調ノ中ニハ、警察官憲ノ見當ガ違ッテ或ハ迷惑ヲ掛ケタコトハアラウト思フノデアリマスガ、アノ連中ト云フモノガ相當ナ證據ガ舉リ東

京或ハ中央方面ト連絡ヲ取ッテ、其指導ノ下ニ或ル程度迄ヤッテ居ッタ事實ガアルノデアリマス、ソレデアノ事件ハ大體カラ或ハ取調ノ方法ガ當ヲ得ナカッタノデハナイカト思フノデアリマスガ、今御話ノヤウナ風ニ一部ノ者ニ對シテハ、或ハ見當ガ違ッタ事モシテ居ッタカト思ヒマスノデ、此點將來ハ能ク氣ヲ附ケタイト思ヒマス、ソレカラアノ高等機關ガ警視廳ニ設置セラレマシタ爲ニ、或ハ機關ノ活動ノ經費ヲ増シタ、ソレニ關係ガアルカドウカ知リマセヌガ、色ミナモノガ出入シテ眼ニ著ク程ノ光景ニナッテ居ルト云フコトハ、私ハ寧ロ最近ノ警視廳ハサウ言ッタ方面ノコトガ割合ニ少ナイカト思フノデアリマス、從來モ歷代内閣ノ當時ニ於テ隨分吾ノ眼カラ見、或ハ普通一般ノ人ミカラ見テハ、舉動ガ如何ニモオカシイ、何ノ爲ニ警視廳ニ出入スルカト云フヤウナコトガ隨分多イヤウデアリマシタ、是ハ中々數モ多カラウト思ヒマスシ、真相モ能ク私共分リマセヌガ、最近ノ其方面ト警視廳トノ關係ハ、私ハ從來ヨリモ薄ライデ居ルデアラウト思ヒマス、是ハ私此處デ表面的ニ申スノデハアリマセヌガ、大體此方面ニ付テハ餘程警視廳當局者モ氣ヲ付ケマシテ、サウ言ッタ方面ノ人ノ跋扈跳梁ヲ防グ手段ヲ執ッテ居ルノデハナイカト思ヒマス、又他ニモサウ云フ方面モ見エルノデアリマスガ、是ハ私一個ノ考デハ非常ニ

少クナッテ居ルヤウニ考ヘテ居リマス、寧口漸次サウ云フ方面ノ疑惑ガ少クナッテ來タト云フヤウニモ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ極ク不鮮明ノ人ノ往來ト云フコト、必要ノナイ方面ノ人ガ或ハ社會ニ疑惑ヲ懷カセルヤウナコトハ出來ルダケ將來トモ少クシテ行キタイト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、今ノ警視廳ノ當局者ニモ屢々其事ヲ話シテ居ルヤウナ次第デアリマス、今新宿ノ活動寫眞館武藏野館ニ「ヴォルガ」ノ船唄ト云フ映畫ガ掛ッテ居ッタト云フコトデアリマスガ、實ハ初メテ其事ヲ伺ヒマシタノデ、能ク真相ヲ取調ベテ居リマセヌガ、活動寫眞ノ映畫ノ檢閱ハ内務省デヤッテ居リマス、或ハサウ言ッタ風ノ手落ガアリマシテ、後デ氣ガ付イテ或ハ中止削除ヲシタカモ知レマセヌガ、若シサウデアリマスレバ事前ノ檢閱ニ手落ガアリマシタノデ申譯ナイノデアリマスガ、將來ハサウ云フ事ノナイヤウ注意シマス、尙ホ當時ノ檢閱ノ狀況ハ一ツ廻テ其事情ヲ聞イテ見タイト思ヒマス

○内ヶ崎委員 只今ノ横山政府委員ノ御答辯ハ諒ト致シマスガ、特別高等課ニ付テハ更ニ民間ノ方デ不安ノ念ヲ懷イテ居ル點モアルノデアリマス、ソレハ總選舉ニデモナルト言フト、其特別高等課ト云フモノハ政府ノ選舉干涉ノ味方トナッテ活動スルヤウナ準備の機關トナルコトハアルマイカト云フヤウナ考ヲ持ッテ居ル人ガ少カラズアルヤウデアリマス、無論政府當局ニ於テハサウ云フコトハ全然無イト否定セラルカ又斷定セラレルニ違ヒナイ、併ナガラ從來ノ例ヲ見マシテモ、サウ云フ場合ニ多少閑ナ役人ガ居ルト云フト、其政府ガ選舉干涉ヲ獎勵スル場合ニ於テハ、隨分八方ニ手ヲ廻ハスヤウデアリマシテ、特別高等警察ト云フモノガアル爲ニ不斷ハ青年ガ監督セラレ、總選舉ニナルト云フト、今度ハ反對黨ノ候補者デアルトカ、運動員ハソレニ依テ壓迫ヲ感ジ或ル程度迄ノ脅威ヲ感ズルト云フヤウナコトハ無イトハ限ラナイト思フノデアリマスガ、萬々一サウ云フヤウナ場合ニ於テハ、内務省ノ警保局トシテハ、特別高等課ニ嚴命ヲ發シテ、選舉干涉ナドニ關係シテハイケナイゾ、普通ノ警察デサヘモイケナイノダカラ特別高等課ハ特別ニイケナイノデアアルゾト云フヤウニ、特別ニ嚴命ヲ發セラレ御決心アリヤ否ヤヲ今ヨリ豫メ承ッテ置キタイト思フノデアリマス

○横山政府委員 申ス迄モナク警察機關ガ選舉ノ競争ニ干與スルト云フコトハ、是ハ非常ニ惡イ事デアリマス、從來サウ云フ噂ヲ立テラレ疑ヲ抱カレタコトモアリマセウガ、將來ニ當リマシテハ警察機關ガ選舉ノ競争ニ干與スルト云フコトハ絕對ニ阻止スル積リデアリマス、又此特別高等警察機關ガ選舉ニ干與スルデアラウト云フ豫想ハ、實際

ノ警察ノ働キヲ御存知ノ方ハ考ヘナイ
ト思フノデアリマス、唯昨年臨時議會
ニ大キナ經費ヲ以テ機關ヲ創設シタ爲
ニ、何カ政治的ニ扱フノデハナイカト
云フ漢トシタ考カラ、サウ云フ疑念ヲ
持出シタノダラウト思ヒマスガ、府縣
ノ警察機關モ極メテ小サイノデアリマ
シテ、二三ノ警察官ヲ配置スル位ノモ
ノデアリマス、實際此高等警察機關ノ働
キハ、其二三ノ人ガ働クダケデ、其以外
ニハ事務的ニ統一スルト云フダケデ、
極ク少數ノ人デアリマスカラ、是ガ全
國ニ行渡リマシテモ、選舉ノ關係政治
ノ關係ニ特別高等ノ機關ガ動クナド、
モ實際上思ヘマセヌシ、又動イタ所デ
結果ト云フモノハ見エナイト思フノデ
アリマス、ソレデサウ云フ御疑念ハ全
然要ルマイト思ヒマスガ、若シサウ云
フ御疑念ガ多ケレバ、其御疑念ヲ一掃
スル手段ヲ執リタイト思ヒマス、併シ
實際ノ警察官ノ働キヲ御承知ニナッテ
居ル方ハ、特別高等機關ガ設置セラレ
タ爲ニ、政治ノ關係ニ之ガ働クノデア
ルト云フ實際上ノ豫想ハ附カナイダラ
ウト思フノデアリマス、併シサウ云フ
疑ガアリ、或ハ疑惑ヲ社會ガ持つテ居リ
マスレバ、其疑惑ヲ解ク手段モ無論考
ヘテ置カナケレバナラヌト思ヒマス

セヌカラシテ、内務大臣ハ御出ゴザイマ
セヌケレドモ、横山政府委員ニ對シテ、内
務大臣ニ對シテ伺ヒタイ事ヲ御尋シテ見
タイト思フノデアリマス、甚ダ大マカナ事
ヲ申述ベルヤウデアリマスガ、明治維新
ハ政治的維新デアッテ、ソレカラ大正維
新ト云フノハ産業維新デアッテ、昭和維
新ト云フノハ社會維新ダト、斯ウ唱ヘル
學者ガアルノデアリマス、是ハ甚ダ尤
ナ區別デアルト思フノデアリマシテ、
明治維新ハ歐米ヨリノ政治上ノ刺戟ヲ
受ケテサウシテ政治上ノ改革ヲヤッタ、
法制上ノ改革ヲヤッタ、ソレカラ日清戰
争日露戰爭ヲ經マシテ我國ノ産業組織
ガ大分西洋流ニナリマシテ、サウシテ愈
資本ト云フモノ、基礎ガ確實ニナリ、
同時ニ一方ニハ労働者ガソレニ對立ス
ルト云フコトニナリマシテ、機械工業
或ハ工場制度、資本制度、労働團體ナン
ト云フモノガチャント出來上ッテシマ
ヒマシタカラシテ、是ハ即チ産業維新
ト言フテ宜イノダト思フノデアリマス、
所ガ昭和維新ニナルト云フト、總テノ
事ガ國際的トナリマシテ、先程志波君
カラ述ベラレマシタガ如クニ、露西亞
一國ニ起ッタコトガ、他ノ國ニ影響ヲ及
ボシ、又我國ノ對支外交方針ナド、云
フモノガ、又世界ニ大ナル影響ヲ及ボ
シテ居ルト云フヤウニ、非常ニ國際關
係ガ密接ニナリ、同時ニ經濟關係ガ非
常ニ緊密ニナリマシテ、失業問題ナ
ド、云フモノハ日本ニ起ッテ居ルバカ

リデナイ、露西亞ニモ起レバ、英吉利ニ
モ起ルト云フヤウナ風デゴザイマシ
テ、兎ニ角社會生活ノ安定ヲ何トカ致
サナケレバナラヌト云フヤウナ風ニ見
エルヤウニナッテ居ルノデアリマシテ、
社會維新ト或ル學者ガ申シテ居ルノハ
尤ナ定義デアアルカト思フノデアリマ
ス、若シ果シテソレヲ誠ナリト見マス
レバ、今日ノ時代ト云フモノハ學校ニ
於テモ、新聞ニ於テモ、雜誌ニ於テモ、
演說會ニ於テモ、或ハ工場ニ於テモ、農
村ニ於キマシテモ、社會維新ヲ實現シ
ナケレバナラナイト云フヤウナ要求ハ
滿チ溢レテ居ルト思フノデアリマス、
ソレヲ革命ナド、云フ急激ナルコトヲ
以テヤルカラシテ惡イノデアッテ、日ニ
進ミ日ニ新ニスルト云フヤウナ方針デ
著々トシテ社會維新ノ實ヲ舉ゲマスル
コトガ出來マスレバ、國體モ萬々歳、日
本國家モ萬々歳、日本國民モ萬々歳、世
界人類モ萬々歳ト思フノデアリマスカ
ラシテ、何トカシテ過激ナル急進的ナ
ル革命沙汰ニ依ラズシテ、徐々ニ漸進
的ニ我國ノ社會維新ヲ完成セシメタイ
ト吾々ハ希望シテ居ル者デゴザイマ
ス、サウ云フヤウナ氣運ガ動イテ居ルノ
デアアルカラシテ、多情多感ナル青年、生
活難、就職難ヲ目前ニ見テ居ル所ノ青
年ガ殊ニ向側ノ大國ニ於テ革命ガ成功
シ、支那ニ於テモ亦革命ガ成功シテ、其
後ゴタ／＼ガ絶エナイト云フヤウナ二
ツノ大ナル刺戟ヲ見セ付ケラレテ居リ

マスレバ、彼等ガ感情ニビツタト應ヘル
ト云フコトハ、又已ムヲ得ナイコトデ
アルト思フノデアリマス、丁度明治十
五六年カラ二十三年ノ頃迄民權自由
ト云フ運動ガ非常ニ盛シニナリマシ
テ、自由黨ト云フヤウナ政黨ガ勃興シ、
改進黨ガ組織セラレマシテ、天下ノ青
年ガ翕然トシテ或者ハ自由黨ニ結ビ、
或者ハ改進黨ニ引付ケラレテ其當時ノ閥
族政治、官僚政治ニ對シテ戰ヲ挑ンダ
コトガアッタノデアリマスガ、其時ニハ
自由民權ヲ唱ヘル者ヲ危險人物デア
ル、又其事自體ガ危險思想デアルト思ハ
レタノデアアル、又政黨内閣ヲ唱ヘタリ、
或ハ國會開設運動ヲ唱ヘルコトサヘ危
險思想デアルトシテ、保安條例ナドヲ
布イテ、其當時ノ政黨ノ先覺者ガ東京市
外ニ放逐サレタト云フヤウナコトガ
アッタノデアリマス、今ハオイデニナラ
ナイケレドモ、内務大臣御自身ガ自由
黨ノ運動ヲ熱心ニヤラレタ方デアリマ
シテ、一時ハ薩長藩閥内閣カラ見レバ、
今日ノ共產主義者ノ如ク危險人物扱ヲ
サレタモノデアアル、所ガ世ノ中ハ變レ
バ變ルモノデアッテ、今ハ立派ナ人情大
臣ト云フヤウナモノニ納ッテ居ル有様
デアアル、サウ云フ譯デアリマスカラ、今
危險ガ危險ダト言ッテ居ル裡ニ二十年
モ經ツト當リ前ノコトニナル、今自由
民權ナド、云フコトハ少シモ危險デナ
ク、自由民權デナケレバ今ノ政治ハ旨
ク行カナイ、今日ノ經濟學者ヤ今日ノ

青年ノ中ノ急進派カラ言フナラバ、議會政治ナド、云フモノニ委セテ置イタ所ガ立派ナ政治ハ行ハレナイト云フヤウナ非常ナ堅キ信念ヲ以テ唱ヘテ居ル人モアルヤウデアリマシテ、丁度薩摩ヤ、長州バカリニ任シテ置イテハ駄目デアアル、政黨政治デ行カケレバナラヌト云フノデ、其當時ノ政黨ノ少壯指導者及先覺者ガ唱ヘマシタト同ジャウナ立場ニ、今日社會主義ヤ、共產主義ヲ唱ヘテ居ル人ミガアルト思フ、ソレデアリマスカラ私ハ是ハ法律ダケデ壓迫シヤウトシテモ壓迫シ切レナイ、先程モ横山政府委員ト質問應答ラシテ居リマシタ中ニ、横山サンモ御話ニナリマシタ通り、書物デアルトカ、雜誌デアルトカ、サウ云フモノハ無暗矢鱈ニ抑ヘ付ケルコトハ出來ナイ、サウスルトソレダケ自由主義ガ現レテ居ル譯デアアルガ、ソレヲ抑ヘ付ケナイト段々共產主義トカ、左傾派ノ社會主義ノ思想ガ宣傳出來ルノデアリマスカラ、是ガ自然ニ大衆ノ間ニ擴テ參ルノデアリマスカラ、幾ラ是ハ法律ヲ以テ禁ジヤウトシテモ、サウ云フ思想ノ傳播、思想ガ擴テ行クト云フコトニ付キマシテハ方法ハナイモノデハアルマイカト思フ、此緊急勅令ヲ施行致シマスレバ秘密結社ト言ハズ、サウ云フ急激ナル社會的、政治的の革命ヲ目的トスル所ノ結社ヲ組織スルト云フコトハ禁ズルコトガ出來ルデアリマセウガ、サウスレバ益、潜行的

態度ヲ執リマシテ、當局者ノ目ヲ逃レテ、サウシテ蔭ヘ、裏ヘト廻リマシテ、却テ其陰險ナル結果ヲ惹起スト云フヤウナコトハアルマイカト思フ、共產黨ヲ撲滅シタイト云フヤウナコトハ、吾ミモ當局者ト目的ハ同ジデアリマス、吾ミハ共產黨ヲ容認シテ居ル譯デハナイノデアリマス、併ナガラ世界ノ大勢デアアル所ノ、斯ウ云フ社會思想ト云フモノハ壓迫スルコトガ出來ナイカラ、之ヲ能ク指導スルヨリ他ハナイト私共ハ考ヘル、是ハ大勢ダカラ致方ガナイ、丁度御一新當時ノ勤王論デアルトカ、攘夷討幕トカ云フヤウナコトハ、是レ其當時ノ大勢デアルカラ如何トモスルコトガ出來ナイト思フノデアリマス、今日ノ政治ハ吾ミ山ニ置カレ山ヲ見ナイト言ハレルカモ知レマセ、雲ノ中ニ置カレ雲ヲ見ナイト言ハレルカモ知レマセヌケレドモ、御互デモ議會政治ガ此儘デ非常ニ完全圓滿ナモノダトハ思ハナイノデアリマシテ、モウ少シ改善ノ餘地ガアルヤウニ考ヘテ居リマス、今日ノ政黨政治ニ致シマシテモ大分行詰ッテ居ル所ガアルヤウデアリマス、例ヘバ選舉ノ場合ニハ金ガ掛リ過ギルトカ、金ガ掛リ過ギル爲ニ色ニナ問題ガ起ッテ來ルト云フヤウナ譯デ、サウ云フコトダケデモ銘々皆苦イ問題ヲ持ッテ居ッテ、之ヲ解決スル爲ニハ少カラザル犠牲ヲ拂ッテ居ルヤウナ次第デゴザイマスガ、兎ニ角

吾ミデサヘモ議會政治ト云フモノハモウ少シ何トカシナケレバナラヌト思ッテ居ル、サウスルト是ガ改革ヲ促進スル爲ニハ、モウ少シ急進的ノ思想ガ一方ニナイト、是ハ矢張動カナイノデアリマス、今日ハ矢張現在ノ社會制度ニ或ル刺戟ヲ與ヘルモノガアルトスルナラバ——無產黨ノ主張又ハ共產主義的ノ思想ハ、是ハ劇藥デアアルカモ知レナイケレドモ、現狀ヲ打破シテ、幾ラカ現在ノ政界ヲ刷新スルヤウナ一ツノ有力ナル誘導力ニナルノデアリナイカト思フノデアリマスカラ、共產主義ヲ其儘實行シヤウト云フコトニナレバ惡イケレドモ、共產主義ノ中ニハ、現在ノ日本ノ政治思想ニ有力ナル刺戟ヲ與ヘル要素ヲ含ンデ居ルト云フコトヲ認メルノデゴザイマスカラ、サウ云フコトヲ考ヘテ、警保局ニ於カレテ思想ノ宣傳ハ程良ク取締ルト云フ御方針ハ宜シイコト、私ハ思フノデアリマス、一方ニ於テ、司法權行使ニ付テハ之ヲ嚴罰ニ處スルト云ッタヤウナ態度デアッテ、私ハ前ニモ申上ゲタヤウニ、其處ニ政府ノ御方針ナルモノガ一定サレテ居ラレナイ、矛盾撞著ガ著シク現レテ居ルノデアリナイカト思フノデアリマス、此事ハ私ハ望月内務大臣デアアルカラ特ニ之ヲ御尋シテ見タイト云フ氣ニナル、内相自ラハ自由民權ノ思想ヲ唱ヘテ、危險人物扱ニサレ、大分迫害ヲ被ッタ方デアルト思フガ、今ハ政黨内閣

ノ内務大臣トシテヤッテ居ラレルノデアアルカラ、御自分ノ二十四五位ノ事ヲ一寸追懷シテ御覽ニナッタナラバ、當局ガ如何ニ壓迫シテ見テモ、餘リ利キ目ガナイモノデアアルト云フヤウナコトガ御分リニナルノデアリナイカト思フ、今内務大臣ガ此處ニ御出ニナラヌノハ甚ダ遺憾デアリマスガ、速記録ヲ讀ンデ下サレバ宜シイケレドモ、讀ム暇モナイカ知レマセヌカラ、政府委員ヨリハ特ニ十分其點ヲ内務大臣ニ御傳達ヲ願ヒマシテ、所謂人情大臣デアアルカラ、少シク人情ヲ加味シテ此共產黨問題ヲ解決スル上ニ付テ御努力下サルナラバ、日本國家ノ爲ニ非常ニ幸福デアルト思フ、若シ人情ヲ加味シナイデ、唯法律ニ依リ、權力ヲ以テノミ之ヲ解決セントスルナラバ、吾ミ同志ヨリモ既ニ意見ノアッタ如ク、却テ反動ガ來リ、ソレガ動機トナッテ共產黨ナルモノガ一層擴ガル虞ガ大ニアルト思フ、私ハ共產黨事件ガ起ッタカラトテ、アンナニ大キク騒ガナイデ、コソコソト所々從來ノ法律デ取締ッテ行クノガ必要デアルト思フノデアリマス、法治國ト云フ體面ニ囚ハレテ、何モ彼モ明ルミニ出シテ、大キク新聞ニ出スノハ共產黨ノ爲ニ大宣傳ヲスルヤウナモノデ、近頃ノ新聞ニ說教強盜ノ事ヲ度々書イタカラ、俺モ一ツヤッテ見ヤウト云フ奴ガ出テ、第二、第四世モ現レルト云フヤウナ有様デ、又第一世ガ捕ヘラレルト、斯ウ

云フヤウナ事ヲシテ居ッタカラ捕ラナ
カッタト云フ事ヲ新聞ニ書イテアルカ
ラ、其様ニヤレバ泥棒、強盜ヲシテモ捕
ラナイト云フノデ、新ナル犯罪者ノ誘
惑ニナラナイトモ限ラナイノデアリマ
シテ、矢鱈ニ斯ウ云フ問題ヲ大キクシ
テ、或ハ緊急勅令ヲ出ストカ、或ハ議會
デ秘密會議ヲ開イテ國務大臣ガ之ヲ報
告スルトカト云フ事ハ、餘リ大袈裟過
ギル、相手ハ二十歳臺ノ青年デス、中ニ
ハ眞面目ナノモアルケレドモ、多クハ
變々事ダカラヤッテ見ルノダト云フ風
デアルノダカラ、大シタ根柢ハ無い、サ
ウ云フ連中ニ對シテ、日本帝國ノ政府
ガ眞面目ニソレト對等ノ位地ニナッテ
相撲ヲ取ルナド、云フ事ハ、政府自カ
ラ權威ヲ失墜スルモ甚シイト謂ハナケ
レバナラヌト思フノデアリマス、モウ
少シ政府當局ニ於テモ大人ニナッテ、斯
ウ云フ問題ハ餘リ大キクシナイデ、小
サクアツサリ取締ル方法ハナイノデアリ
マセウカ、是ハ意見ノ相違デ仕方ガナ
イト言ハレルガ、政府當局者モ、吾モ
國體ヲ擁護シ奉リ、日本帝國ガ益、繁榮
スルコトハ共ニ祈ル所デアリマスカ
ラ、詰リ目的ハ同ジデアル、唯何方ノ方
ガ其目的ヲ實現スルニ有效デアルカ否
カト云フコトダラウト思フノデアリマ
ス、吾モハ成タケ有效ナ方法ヲ内務當
局トシテ執ッテ戴キタイト思フノデゴ
ザイマス、勿論内務當局モ、司法當局モ、
是ハ共ニ有效ナモノナリトシテヤッテ

居ルニハ違ヒナイケレドモ、吾モノ見
ル所デハ案外效能ガナイ、寧ロ共產黨
ノ宣傳ヲシテ居ル、例ヘバ共產黨事件
ノ裁判ガアル、サウスルトソレガ新聞
ニ發表サレル、成程共產黨ト云フモノ
ハ斯ウ云フ主張ヲシテ居ルモノダト云
フ事ガ分リ、單純ナ者ハ是ハ一理アル
カラシテ共產黨ト云フモノハ餘リ惡ク
ナイト云フ風ニ思フ者モ出來テ來ル、
其取扱ハ餘程考慮ヲ要スル問題デハナ
イカト私ハ思フノデアリマス、是ハ吾
ノ同志ガ悉ク賛成スルカドウカ知レマ
セヌガ、私一個ノ考デアリマスガ、モウ
少シ大岡裁判流ヲ加味シマシテ、餘リ
ヤカマシク言ハナイデ、之ヲ程良クセ
シムルヤウナ方法ヲ御研究ニナラナイ
ト、皇室ノ爲ニモ、國體ノ爲ニモ、日本
國家ノ爲ニモ、禍ヲ將來ニ貽シハシ
ナイカト思フノデアリマス、只今申述
ベマシタ事ハ質問ニナッテ居リマスカ、
意見ニナッテ居リマスカ分リマセヌガ、
此中ニハ質問モ含シデ居ルト思ヒマス
カラ、ドウカ政府委員ニ於カレマシテ
モ、率直ナ所ヲザックバランニ肝膽ヲ吐
露シテ御答アラントコトヲ希望シテ、内
務當局ニ對スル質問ハ打切りマス

○横山政府委員 只今有益ナ御議論、
御質問ハ私眞ニ傾聴致シマシタ、内務
大臣ニハ御質問ナリ、御意見ノ在ル所
ハ私カラ詳細傳ヘマス積リデアリマ
ス、御話ノ中ノ現在ノ社會思潮ニ基ク
政治經濟ノ諸運動ニ對シテ、政府ハソレ
ヲ無暗ニ壓シヨウト云フ態度ハ執ッテ
居リマセヌ、勿論思想ノ進歩發展、或
ハ轉同ト云フコトハ、矢張世ノ中ノ進
運ニ伴フモノデアリマス、其中ニハ或
ハ隨分進シダ思想モアリ、保守的ノモ
ノモアリマス、兩々相俟テ社會ノ進歩
發展ヲ期スル所以デアリマシテ、決シ
テ現狀ニ即スル一ノ思想、或ハ從來ノ運
動ノミヲ是トシテ、現狀ニ修正ヲ加ヘ
ヤウ、或ル程度マデ現狀ヲ破壊シテ行
カウト云フ主張運動ニ對シテ壓迫シヤ
ウト云フ意思ハ些ットモ持ッテ居リマセ
ヌ、又問題トナッテ居ルノハ、國體ヲ變
革シヤウ、或ハ私有財産制度ヲ根本カ
ラ破壊シテ行クト云フ思想、竝ニソレ
ニ基ク行動運動ハドウ取扱フカ、是ハ
政府トシテ、現在ノ國家ノ情勢ニ考ヘ、
日本國家ノ存立ノ基礎カラ考ヘマシ
テ、斯ノ如キ行動ハ絕對的ニ排斥スル
モノデアアル、如何ナル手段ヲ盡シテモ
撲滅ヲ期サウ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居リ
マスガ、其以外ニ人ハ各々意見ガ違ヒ
マシテ、根本的ニ保守的ノ人モアリマ
セウ、又急進的ノ人モアリマセウ、併ナ
ガラソレガ合法的ノ一ノ運動、或ハ思
想ノ展開ト云フモノニ對シテハ政府ハ
之ニ壓迫ヲシ、抑壓ヲ加ヘヤウト云フ
態度ハ執ッテ居リマセヌ、此點ハ御諒承
ヲ願ヒタイ、又御引用ニナリマシタ内
務大臣ガ昔自由黨ノ爲ニ自由民權ノ主
張ヲシタト云フコト、恐ラクハサウデ
アリマセウ、ケレドモ自由民權ノ思想

ハ、決シテ國體ヲ變革シヤウトカ、私有
財産制度ヲ破壊シヤウトカ云フヤウ
ナ、現在ノ國家社會制度ノ根本ノ問題
ニ觸レタモノデハアリマセヌ、其當時
ノ狀態カラ考ヘテ見レバ危險デモアッ
タデアリマセウ、政治上或ハ社會上ニ
或ル程度ノ脅威ハ感ジタデアリマセ
ウ、ソレ故ニ恐ラク是ハ現在ノ國家ニ
對スル一種ノ秩序ヲ紊ルト云フ其當時
ノ觀念ガ、之ニ對シテ或ル拘束ヲ加ヘ
タモノデアラウト思フ、私共現在所謂
急進思想ヲ持ッテ居ル人ニ付テモ、思想
ノ展開ニ對シテ、多クノ壓迫ヲ致サウ
トハ考ヘマセヌケレドモ、其人々ノ行
動ガ現在ノ社會ノ秩序ヲ紊ル、斯ウ云
フ時分ニハ、秩序維持ノ方面カラ、相當
警察ノ拘束ヲ致シテ居リマス、併シ祕
密結社ノ日本共產黨ノ考ヘテ居リマス
モノトハ、根柢的ニ態度ヲ異ニシテ居
ル所ノ、所謂左翼ノ方々ノ思想行動ニ
對シテハ、根本カラ否認シテ掛ッテ居
リマセヌ、唯現實ニ於ケル各種ノ運動
ガ社會ノ秩序ヲ紊ル、又秩序ヲ亂ルト
云フコトノ爲ニハ、秩序維持ノ爲ニ相
當ノ働キヲスル、即チ國體ヲ變革トカ
私有財産制度ヲ根本カラ破壊シヤウト
スル者ニ對シテハ、絕對的ニ排斥シテ
居リマス、此點ヲ御了解ヲ願ッテ置キマ
ス、内務省ガ多少寛大ト申シマスカ、自
由的ト申シマスカ、多少寛大ニ見エ、司
法省ノ當局ガ非常ニ壓迫的ダト云フヤ
ウナ御話ガアリマシタ、私ハ司法當局

ノコトヲ申スノハ如何カト思ヒマスケ
レドモ、此點ニ付テハ何等ノ差異ガナ
イト思ヒマス、決シテサウ云フ思想ヲ
懷イテ居ル人ヲ、法律ヲ以テ縛ル、司法
權ノ發動ヲ縛テ行カウト云フヤウナ
考ハ持ツテ居リマセヌ、單純ニ治安維持
法ノ上カラ、所謂秘密結社、日本共產黨
ノヤツテ居ルヤウナコトヲ絕對的ニ抑
壓シタイト云フ考デアリマス、其點
ニ於テハ内務當局モ司法當局モ全然一
致ノ考ヲ持ツテ居リマス、ソレカラ今申
シマシタヤウナ狀態デ、私共ノ考デハ
最モ急進或ハ進歩ノ思想、竝ニソレノ
意見等ハ、現在ノ政治、社會ノ進歩ノ爲
ニ刺戟トナル、他山ノ石トナルモノデ
アル、世ノ中ノ進歩發達ハ、矢張サウ云
フ言論ヤ行動ニ依テ、御互ニ切磋シテ
進歩スベキモノト考ヘテ居リマスカ
ラ、之ニ對シテハ不當ナル抑壓ヲシヤ
ウト云フ考ハアリマセヌ、唯御了解ヲ
願ヒタイノハ、多クノ集會ヤ團體行動
ニナリマス、急進思想ヲ持ツテ居ラレ
ル人ノ言説ノ爲ニ、豫想モシナイヤウ
ナ結果ヲ生ジマシテ、社會各方面ノ秩
序ヲ紊ル、安寧ヲ害スルト云フコトノ
アルコトガ豫想サレマス、故ニ其場合
ニハ一時的ノ拘束ハ致シマス、其點ヲ
御了解ヲ願ヒマス、又御質問ノコトニ
合ヒマセヌカドウカ知レマセヌガ、今
ノ問題ハ非常ニ大キナ問題デアリマシ
テ、日本社會ナリ國家ノ進歩發展ニ對
スル大キナ政策問題デアリマス、決シ

テ一警察ノ力デ思想ノ展開トカ、惡イ
思想ヲ壓シ得ルモノトハ少シモ考ヘテ
居リマセヌ、一面ニ於キマシテハ勿論
教育行政ノ方面デモ、社會行政ノ方面
デモ、總テ社會ノ不安ヲ除クベキ施設
經營ヲシナケレバナラヌト思ヒマス
ガ、一面ニ於テ極端ニ日本ノ國體ニ反
スルヤウナ思想ニ對シテハ、嚴ニ法ヲ
以テ之ヲ威嚇シ、一面ニ於テハ國政全
部ニ互テモ經綸ヲ施サナケレバナラ
ヌト云フコトヲ考ヘテ居リマス、内務
大臣直接御答ニナレバマダ色々御答ガ
アルデアリマセウガ、只今ノ點ハ私カ
ラ詳シク申上ゲマス

○内ヶ崎委員 今自由黨ノ御話が出マ
シタ、自由黨ハ自由民權ノ主張ダケデ
アツテ、今日ノ共產黨ガ主張スルヤウナ
國體ノ變革ヲシヤウトカ、私有財産制
度ヲ否認スルトカ云フヤウナコトハナ
カッタト、斯ウ言ハレマシタ、併シ自由
黨ハ佛蘭西革命ノ影響ヲ受ケテ、當時
ノ佛蘭西ノ政治思想ヲ受入レタモノデ
アルト思フノデアリマス、而モ翻譯的
ニ受入レタヤウナ風デアッタ、唯自由民
權ト云フコトニ主力ヲ置イテ、國體ナ
ド、云フコトハ研究ヲシナイ、無視シ
タト云フ譯デモアリマスマイケレドモ、
サウ云フコトハ問題ニシナカッタ、併シ
自由民權ト云フモノヲ、其時ノ藩閥政
府カラ考ヘテ見ルナラバ、人民ノ權利
バカリ主張スルノハ、國體ナドニモ影
響ヲ及ボシハシマイカ、ソレデアルカ

ラ危險デアルト云フ風ニ考ヘテ、威壓
ヲ加ヘルヤウニナツタト思フ、又改進黨
ガ自由黨ニ次デ起ツタノハ、自由黨ガ佛
蘭西革命ノ影響ヲ受ケテ、餘リ突拍子
モノナイ急進思想ヲ唱ヘルカラ、モ少シ
秩序アル進歩主義ヲ唱ヘヤウ、英國流
ノ政治運動ヲ始メヤウト云フノデ、改
進黨ガ起ツタカノヤウニ吾々ハ聞イテ
居ルノデアリマス、改進黨ノ方ハ餘程
英國流ノ所ガ加味シテ居ッタヤウデア
リマス、ソコデ自由黨ノ唱ヘタ所ハ、今
ノ共產黨ノ運動トハ違フケレドモ、自
由黨ヲ取締ル其當時ノ官僚ノ心持デハ、
直接ニモ間接ニモ、何ダカ國體ニモ影
響ノアリサウダト云フ風ニ心配シテ、
サウシテ同時ニ自分等ノ地位ヲ保チ、
長ク自分等ノ勢力ヲ持續シタイト云フ
ヤウナ考カラ、自由黨ニ對シテ壓迫ヲ
加ヘタモノデハナカッタカト思フノデ
アリマス、ソレデアリマスカラ今日ノ
共產黨ト云フモノト、自由黨ト云フモ
ノトハ、無論違フノデアルケレドモ、ソ
レハ時勢ノ進歩ノ爲メデアアル、今日共
產黨ヲ唱ヘル者モ、其時代ニ在レバ自
由黨ノ唱ヘルヤウナコトヲ考ヘタデア
ラウ、當時自由黨ノ主張ヲ唱ヘル者デ
アルナラバ、今ハ或ハ共產黨位ニナツテ
居ルカモ知レナイノデアリマス、是ハ
世ノ中ガ變ツテ居ル、變ツテ居ルノデア
ルカラ、其當時ノ自由黨ハ餘程緩和サ
レタモノデアツテ、今日ノ共產黨ハ非常
ニ急激ノモノデアルト云フ風ニ見ラレ

ルカトモ思フノデアリマス、私ノ申上
ゲタイコトハ、共產黨ノ運動ト云フモ
ノハ、二十歳時代ノ者ガ中心トナツテ居
ル所ノ青年ノ運動デアアル、唯第三「イン
ターナショナル」ノ教ヲ受ケ、又露西亞
ノ勞農政府ガ直接間接ニソレヲ支持シ
テ居ルヤウデアアルカラ、無論ハ油斷
ハ出來ナイ、政府トシテハ十分ニ之ヲ
監督シナケレバナラナイ、或ル場合ニ
於テハ何等カノ方法ヲ以テ抑ヘ付ケル
ト云フコトハ必要デアルカモ知レマセ
ヌ、併ナガラ何シロ相手ハ青年ノ運動
デアルカラ、是ハ指導宜シキヲ得レバ、
又我國ノ社會的組織ヲ漸次的ニ改革ス
ルトカ、或ハ政府ガ率先シテ、例ヘバ國
防費ナドヲ幾ラカ節約シマシテ、其節
約シ得タル所ノモノデ社會政策ヲ行フ
トカ、或ハ教育ノ内容ヲ改善スルトカ
云フヤウナコトデ、柔カニ、フーワリト
シテ此運動ニ對シマスルナラバ、私ハ
必シモ法治的ノ面目ヲ保ツ爲ニ、何モ
彼モ法律攻メデバカリヤラナクトモ、
此問題ヲ解決シ得ルノデヤナイカト思
フノデアリマシテ、私ハ我國ノ國體ガ
此共產黨ニ對スル態度ヲ旨ク切り拔ケ
ルコトニ依テ、國體ノ精華ハ益々發揮ス
ルコトノ出來ルモノデアリマシテ、國
體モ亦一種ハ試練ヲ受ケル時代ニ立ッ
テ居リマシテ、此試練ニ堪ヘ得テ一層
光ヲ放ツコトガ出來ルヤウニスルノガ、
吾々日本國民ノ責任デアリ、政務當局
者トシテハ言フ迄モナク、吾々國民ノ

テ一警察ノ力デ思想ノ展開トカ、惡イ
思想ヲ壓シ得ルモノトハ少シモ考ヘテ
居リマセヌ、一面ニ於キマシテハ勿論
教育行政ノ方面デモ、社會行政ノ方面
デモ、總テ社會ノ不安ヲ除クベキ施設
經營ヲシナケレバナラヌト思ヒマス
ガ、一面ニ於テ極端ニ日本ノ國體ニ反
スルヤウナ思想ニ對シテハ、嚴ニ法ヲ
以テ之ヲ威嚇シ、一面ニ於テハ國政全
部ニ互テモ經綸ヲ施サナケレバナラ
ヌト云フコトヲ考ヘテ居リマス、内務
大臣直接御答ニナレバマダ色々御答ガ
アルデアリマセウガ、只今ノ點ハ私カ
ラ詳シク申上ゲマス

○内ヶ崎委員 今自由黨ノ御話が出マ
シタ、自由黨ハ自由民權ノ主張ダケデ
アツテ、今日ノ共產黨ガ主張スルヤウナ
國體ノ變革ヲシヤウトカ、私有財産制
度ヲ否認スルトカ云フヤウナコトハナ
カッタト、斯ウ言ハレマシタ、併シ自由
黨ハ佛蘭西革命ノ影響ヲ受ケテ、當時
ノ佛蘭西ノ政治思想ヲ受入レタモノデ
アルト思フノデアリマス、而モ翻譯的
ニ受入レタヤウナ風デアッタ、唯自由民
權ト云フコトニ主力ヲ置イテ、國體ナ
ド、云フコトハ研究ヲシナイ、無視シ
タト云フ譯デモアリマスマイケレドモ、
サウ云フコトハ問題ニシナカッタ、併シ
自由民權ト云フモノヲ、其時ノ藩閥政
府カラ考ヘテ見ルナラバ、人民ノ權利
バカリ主張スルノハ、國體ナドニモ影
響ヲ及ボシハシマイカ、ソレデアルカ

ラ危險デアルト云フ風ニ考ヘテ、威壓
ヲ加ヘルヤウニナツタト思フ、又改進黨
ガ自由黨ニ次デ起ツタノハ、自由黨ガ佛
蘭西革命ノ影響ヲ受ケテ、餘リ突拍子
モノナイ急進思想ヲ唱ヘルカラ、モ少シ
秩序アル進歩主義ヲ唱ヘヤウ、英國流
ノ政治運動ヲ始メヤウト云フノデ、改
進黨ガ起ツタカノヤウニ吾々ハ聞イテ
居ルノデアリマス、改進黨ノ方ハ餘程
英國流ノ所ガ加味シテ居ッタヤウデア
リマス、ソコデ自由黨ノ唱ヘタ所ハ、今
ノ共產黨ノ運動トハ違フケレドモ、自
由黨ヲ取締ル其當時ノ官僚ノ心持デハ、
直接ニモ間接ニモ、何ダカ國體ニモ影
響ノアリサウダト云フ風ニ心配シテ、
サウシテ同時ニ自分等ノ地位ヲ保チ、
長ク自分等ノ勢力ヲ持續シタイト云フ
ヤウナ考カラ、自由黨ニ對シテ壓迫ヲ
加ヘタモノデハナカッタカト思フノデ
アリマス、ソレデアリマスカラ今日ノ
共產黨ト云フモノト、自由黨ト云フモ
ノトハ、無論違フノデアルケレドモ、ソ
レハ時勢ノ進歩ノ爲メデアアル、今日共
產黨ヲ唱ヘル者モ、其時代ニ在レバ自
由黨ノ唱ヘルヤウナコトヲ考ヘタデア
ラウ、當時自由黨ノ主張ヲ唱ヘル者デ
アルナラバ、今ハ或ハ共產黨位ニナツテ
居ルカモ知レナイノデアリマス、是ハ
世ノ中ガ變ツテ居ル、變ツテ居ルノデア
ルカラ、其當時ノ自由黨ハ餘程緩和サ
レタモノデアツテ、今日ノ共產黨ハ非常
ニ急激ノモノデアルト云フ風ニ見ラレ

代表者トナツテ居リマス以上ハ、吾モ亦微力ヲ盡シテ、其事ヲ達成スル爲ニ力ヲ致サナケレバナラナイト思フノデアリマシテ、何レ更ニ纏ツタ意見ヲ他ノ機會ニ於テ發表スルコトガアルカトモ思フノデアリマスケレドモ、私ハサウ云フ考ヲ持ツテ居ルモノデアルト云フコトヲ、内務當局ニ於カレマシテモ御了解アラシコトヲ希望スルノデアリマス

○水谷委員 先程一寸泉ニサンニモ私のニ言ツタノデアリマスガ、治安維持法ト我國言ハレルト、直様ア、共產黨征伐ノ法律カト云フヤウナ工合ニナツテ居リマスガ、司法省ノ刑事局カラ貰ヒマシタ所ノ治安維持ニ關スル立法例ヲ色々見タノデアリマスガ、斯ウ云フ立法例ガ二三或ハ數箇國ニアルニ拘ラズ、其國ニ所謂共產黨ト云フモノガ公認サレテ、色々公ノ活動ヲシテ居ル、サウ云フ點カラ考ヘマスト、サウ云フ公認サレタ所ノ共產黨ト云フモノハ、此度我國デ檢舉サレタ日本共產黨ト云フモノト比較シテ、政策或ハ綱領、ソレ等ノ色々ナ點ニ關シテ多少違ツタ點ガナカラウカト思フ、此點モ所謂外國ニ於テ一方ニ斯ウ云フ法律ガアルニ拘ラズ、他方ニ於テ共產黨ガ公認サレテ居ルト云フヤウナコトハ、可ナリ吾ミトシテ見通スコトガ出來ナイコトデアツテ、又參考ニモナラウト思フ、隨テ斯ウ云フ治安維持ニ關スル立法ガ布カレテ

居ル所ノ國ニ於ケル所ノ共產黨ノ活動、或ハ綱領、政策、サウ云フヤウナモノガ司法省ノ刑事局ニアルカ、或ハ内務省ノ警保局ニアルカ知レマセヌガ、サウ云フヤウナモノガアレバ、此際一ツ出來得ル限リノ材料ヲ提供シテ貰ヒタイト思フノデアリマス

○泉二政府委員 只今御要求ノ書類デアリマスガ、マダ司法省デハサウ云フモノガ分ツテ居リマセヌ、恐ラク現在ノ國憲ヲ破壞スルコトヲ目的トスルト云フ、此治安維持法ニ關係アルヤウナ犯罪ニナルコトヲ目的トスル所ノ黨派ガ、公認サレテ云ルモノトハドウモ常識上考ヘラレマセヌ、併シ其名前ガ例ヘバ獨逸共產黨ト云フモノガアルコトハ確カノヤウデアリマスガ、其共產黨ニシマシテモ、此治安維持法ニ當ルヤウナ行動ヲ執ルノダッタラ、恐ラク向フデモ許サレテ居ナイノデハナイカト、斯ウ唯想像ヲ申上ゲルノデアリマス、實際ノ綱領、主義等ガドウ云フコトニナツテ居ルカト云フコトニ付キマシテハ、今ノ所デハ調査ハ行届イテ居リマセヌガ、其内ニ調査ヲシマシテ、又適當ノ機會ニ御希望ニ依テハ差上ゲテモ宜イト思ツテ居ルノデアリマス

○横山委員 過日露國ノ共產黨政府ノ治下ニ於ケル實際ノ模様ヲ、國民ニ知ラシタラドウカト云フコトヲ申上ゲタ所ガ、司法大臣ハ其趣旨ハ至極贊成ダト云フコトヲ言ハレタノデアリマス、

又政府部内ニ於テモサウ云フ說ヲ唱ヘテ居ル閣僚ガアル、斯ウ云フ御話デゴザイマシタガ、今ノ所何カサウ云フ露國ノ内容ニ關スル正確ナ材料ガ政府ニ多少デモアルノデゴザイマスカ、ソレヲ承ツテ見タイ

○横山政府委員 露國ノ正確ナル内情ヲ國民ニ知ラシムルコトハ、私等モ至極結構ナコト、思フノデアリマスガ、マダ御承知ノヤウニ露西亞ノ正確ナル政治、經濟、社會ノ狀況ヲ正確ニ報道スル程ノ材料ヲ今政府ガ實ハ持ツテ居リマセヌ、外國ニ於キマシテモ色々ナ機關デ調査ヲシテ、其調査ノ報告ナドハアリマスケレドモ、是モ甚シク信憑スルニハ足ラヌノデハナイカト云フ反對ノ批判ヲサレル材料ガ澤山アリマス、ソレデ政府トシテ露國ノ國情——各方面ノ國情ヲ先ヅ正確トシテ國民ノ前ニ提供シヤウト云フ程ノ材料ハ纏ツテ居リマセヌ、併シ出來ルダケ蒐集致シマシテ發表シテ、國民ニ知ラシムルコトハ希望シテ居リマス

○水谷委員 僕ノ今言ツタノハアリマセヌカ

○横山政府委員 只今泉二政府委員カラ御話ノ通り、其名前ハ同ジク共產黨ト申シマシテモ、諸國ノ間ニ活動シテ居ル狀況ハ餘程違ツテ居ルダラウト思ヒマスガ、勿論各國ノ法令ノ下デ禁止サレテ居ル所ノ活動ハ、恐ラクシテ居ラヌト思ヒマスガ、諸外國ノ所謂共產

黨ナルモノ、狀況——活動ノ狀況ヲ材料トシテ御報告スル材料ハ持ツテ居リマセヌ、唯私共ノ執務ノ參考トシテノ情報ハ持ツテ居リマスケレドモ、材料トシテ議會ニ出ス程ノ正確ナルモノデアラカドウカハ分リマセヌノデ、御容赦ヲ願ヒタイト思ヒマス

○齋藤委員 内務省ニモ色々御尋シタイ事モアリマスケレドモ、若シ斯ウ云フコトヲ成ベク具體的ニ御説明ヲ願フコトガ出來レバ、大變都合ガ好イノデスガ、御承知ノ通りニ歐羅巴戰爭以來非常ニ思想界ニ變動ヲ與ヘマシテ、其中ニハ善イ思想モアレバ惡イ思想モアルノデアリマス、此惡イ思想ヲバ取締ルコトニ付テ、内務省ノ方デハ餘程對策ヲ施サレマシテ、殊ニ最近ニハ思想警察トカ特別警察トカ云フヤウナモノヲ御拵ヘニナツテ居ルノデアリマスガ、大體内務省ガ思想ヲ取締ル所ノ方針、思想ヲ取締ル方針ト云フコトハ抽象的デ御答ガ不便デアルカハ知レマセヌガ、大體ドウ云フ種類ノ思想ヲ取締ラントスルノデアアルカト云フコトハ、其思想ヲ取締ルニ付テ過去現代ニ於テドウ云フ施設ヲシテ居ラレルカ、即チ思想警察特別警察ト云フヤウナモノモ其一ツノ種類デアリマセウガ、サウ云フモノガドウ云フ方法ニ依テ活動シテ居ルカト云フヤウナコト、竝ニ之ニ關聯スルコトニ付テ内務省ガ執ツテ居ラレマスル所ノ行動ニ付テ御説明ヲ聽ク

コトガ出來レバ、都合ガ好イ譯デアリマス

○横山政府委員 思想取締、是ハ言葉ノコトデアリマスガ、私共ノ用語デハ思想取締ト申シテ居リマセヌデ、特別高等警察ト申シテ居リマス、御承知ノヤウニ警察ノ取締ノ對象トナルベキ現象ガ、最近勃興シ、或ハ變化シ來ッタ社會思潮ニ向ッテ各種ノ現象、或ハ行動、團體計畫、ソレ等ヲ綜合シテ一ツノ現象ガアリマシタノデ、其現象ヲ對象トシタ警察ノ働キヲスルモノヲ特別高等警察ト考ヘテ、サウ云フ名前ノ下デ警察ノ事務ヲ致シテ居リマス、勿論是ハ今始ッタコトデハアリマセヌノデ、昔カラ特別高等警察ノ内容ト云フモノハアッタノデアリマスケレドモ、殊ニ最近各種ノ社會思潮カラ起ッタ政治上ノ、或ハ經濟上ノ社會的運動、斯ウ云フモノガ非常ニ複雑ニナッテ參リマシタノデ、特ニソレヲ事務トスル警察機關ヲ設ケタノデアリマス、從來内務省本省ニモ機關ガアリ、監視廳、大阪、兵庫、神奈川、京都、名古屋ノ六大都市並ニ其外二三縣アリマスルガ、専門ノ警察機關ヲ置キマシテ、又専門ノ警察機關デナクテモ、斯ウ云フヤウナモノハ警察機關ノ中デ當然行ハルベキモノデアリマスガ、先ヅ比較的重要ナ場所ニサウ云フ機關ヲ置キマシタノガ、昨年現下ノ狀態ニ鑑ミマシテ、全國ニ特別高等ノ警官ヲ擴充ヲ致シタノデアリマス、警察組織ノ大要ハ

内務省デハ警察局ガ取扱ッテ居リマス、警察局ニ保安課ト云フモノヲ置キマシテ、其事務ニ專從致シテ居リマス、各府縣ニハソレト、監視廳若クハ知事、警察部長以下ニ特別高等警察ノ監視、警部、警部補、巡查ト云フモノ、或數ヲ以テ、組織ヲ致シテ居リマス、ソレデ大體日本ノ所謂思想運動ニ基ク行動ノ轉回ハドウナッテ居ルカ、ドウ云フ風ナ動キガアルカ、ドウ云フ風ナ思想ガ社會ニ現レテ居ル、其社會思想ヲ有ッテ居ル人ハドウ云フ風ニ變化ヲシ、行動ヲスルカト云フコトヲ不斷ノ注意ヲ拂ッテ視察内偵ヲ致シテ居ルコトガ一番大キナ任務デアリマス、ソレカラサウ云フ個人若クハ團體ガドウ云フ風ノ行爲ヲ爲シ、實社會ニドウ云フ影響ヲ及ボシテ居ルカト云フコトヲ考ヘマシテ、其影響ノ如何ニ依テハ之ヲ阻止シ、或ハソレヲ抑制スル、是ガ第二段ノコトデアリマス、第三ニハ今問題ニナッテ居リマスヤウナ、絕對ニ否認シナケレバナラヌト云フヤウナ行動ニ出ル者ヲ内偵視察ヲシマシテ、之ヲ檢舉シ、絶滅ヲ期スルト云フヤウナコトガ第三段ト申シマス、サウ云フヤウナ働キニナッテ居リマス、是ガドウ云フ風ニ活動シテ居ルカト云フコトハ、是ハ随分複雑シタ現象ニ警察ノ視線ヲ周到ニシ、又行動ヲ密ニ致シマスコトヲ御話致シマス、随分面倒ナコト、思ヒマスガ、又私共直接警察機關ノミデ是等ノ情勢ガ分

ルモノトハ思ッテ居リマセヌシ、各種ノ方面ノ機關ヲ利用致シマシテ、應用致シマシテ、此情勢ヲ察知シ、並ニ之ニ對スル疑惑ヲ除クノニ力メテ居ルノデアリマス、其詳細ナルコトヲ一寸此席デ御話致シマスコトハ避ケタイト思ヒマス、併シ今申上、ゲマシタ抽象的ノコトデ略、警察機關ノ動イテ居ル形體ハ御承知ニ相成ラウカト思ヒマス

○齋藤委員 其方面ノコトハ分リマシタガ、モウ一ツ序ニ他ノ問題ニ付テ御尋シタイト思ヒマス、最近言論ノ取締ニ關スル質問應答ガ交換サレタノデアリマスガ、斯ウ云フコトヲ一ツ御聞キ申シテ置キタイト思ヒマス、内務省デハ或ル種類ノ言葉ハ公開ノ席上ニ於テ何人ノ口ヨリモ言ウテハイカヌ、サウ云フコトヲ言ッタナラバ中止ヲスルカ、解散ヲ命ズルト云フヤウナ命令ヲ、時々各府縣廳ニ向ッテ、御發シニナルコトガアリマスガ、是ハ例ヲ舉ゲマス、前鈴木内務大臣ノ時デアリマシタカラ、今ノ大臣ハ御存知ナイカモ知レマセヌガ、警保局長ハ矢張御存知デアラウト思フ、例ヘバ昨年ノ總選舉ニ於キマシテ陸軍ノ機密費ト云フコトヲ言フト、注意若クハ中止ヲヤル、或ハ三百萬圓ト云フコトヲ言フト直グニヤル、ソコデ新渡戸博士ノ如キハ、新潟縣ノ或ル所ヘ行ッテ其事ヲ言ハレマシテ、三百萬圓ト云フコトヲ言ハズニ、二百九十九萬圓ト云フコトヲ言ッタラ中止モ注意

モナカッタト云フコトデアリマス、斯ウ云フコトハ一筋ニ内務省カラシテ斯ウ言論ガ現ハレタ時ニハ、注意若クハ中止ヲシロト云フ命令ガ全國ニ下ルモノデアルカ、ソレカラ昨年デアリマシタカ、和歌山縣ニ於テアノ殺傷事件ガアリマシテ、之ヲ公開ノ席デ言フト直グニ中止ヲヤル、俵孫一君ガ神戸デ演説ヲ致シマシタ所ガ、其所ニ於テ直グニ中止ヲサレタ、ソコデ大分問題ガ起リマシテ、警察官ト折衝シタラ、洵ニ御氣ノ毒デアルケレドモ、此事ニ觸レル場合ニ於テハ中止シロト云フヤウナ命令ガ、高イ所カラ來テ居ルト云フヤウナ、斯ウ云フヤウナコトモアッタヤウデアリマス、斯ウ云フコトハ是迄アッタノデアリマス、ソレハ其時々ノ地方官憲ノ手心デヤルノデアリマス、中央政府ニ於テ一定ノ方針ヲ定メテ之ヲヤラル、ノデアリマス、念ノ爲ニ伺ッテ置キタイ

○横山政府委員 今ノ御引例ニナリマシタ事件ニ付テノ内務省ノ命令ナドハ、私實ハハッキリ承知致シテ居リマセヌ、私赴任ノ前デアリマス、和歌山縣ノ殺生事件ニ付テハ、是モ私就任前デアリマスガ、私地方廳ニモ參リマシタガ、ソレハ記憶ハアリマセヌ、何カノ御間違デハナイカト思ヒマス、併シ是レハ致シテ居リマスレバ、私ノ記憶ノ誤リデアリマス、ソレカラ所謂機密費事件ト云フモノニ對シテハ、或程度ノ通牒ヲ

出シテ居ルヤウデアリマス、私ハ其文
言ヲ記憶致シマセヌガ其當時ノ當局ヨ
リサウ云フ意味ノ通牒ガ出テ居ルコト
ヲ記憶シテ居リマス、併シ是ハ機密費
事件ト云フコトヲ言ヘバ、直グ中止セ
ヨ、三百萬圓ト言フト直グ解散セヨト
云フ意味ノ事ヲ出ス筈ガナイ、サウ云
フ譯デアリマセヌデ、現下ノ大キナ社
會ノ疑惑ニナツテ居ル問題ヲ、多衆ノ間
ニサウ云フ問題ヲ非常ニ微細ニ説イ
テ、サウシテ國民ノ感情ヲ——一般民
衆ノ感情ヲ激成スルト云フコトハ、其
地方ノ公共ノ安寧ノ爲ニ惡カラウ、或
ハ延イテ一國ノ總理ト云フカ、サウ云フ
人ノ嘘偽ノ宣傳ヲ流布シテ、一國ノ總理
大臣ノ信用ト云フモノヲ極端ニ傷ケル
ト云フコトハ、社會ノ秩序ヲ維持ノ爲
ニ惡カラウト云フ、斯ウ云フ趣意カラ
シテ、斯ウ云フ問題ヲ非常ニ苛烈ニ地
方民衆ノ中ニ説クコトガ、殊ニ選舉ノ
激シイ競争ニ於テ、一般公衆ノ激情ノ
中ニ於テ之ヲ取扱フコトハ注意シテ欲
シイ、勿論其情勢ニ依テハ必要ナル警
察手段ヲ取ルヤウニ、斯ウ云フ意味ノ通
牒ガアツタカト私ハ記憶シテ居リマス、
之ヲ實際ニ適用致シマス時ニハ、往々
ニシテ地方ニ於テハ酌子定規ニナリ
マシテ、或ハ極ク片言隻語ヲ以テ注意
スルトカ云フヤウナコトヲ致シタ地方
モアルデヤナイカト、私ハ推測致シテ
居リリマシテ、斯ノ如キコトハ誠ニ拙
イ事デアリマシテ、ヨク臨席ノ警察官

ニサウ云フ風デナイ、全體ノ情勢ヲ考
ヘテ、辯士ノ演説ノ與フル影響ヲ考ヘ
テ、適當ナル警察處置ヲ取ルヤウニト
云フテ注意致シテ居ル積リデアリマ
ス、私ノ了解致シマシタ範圍内デハサ
ウ云フヤウナ意味ノ通牒ガ出テ居ッ
ト思ヒマス、又是ハ其當時ノ事情カラ
シテ已ムヲ得ナイノデナカッタカト推
測ヲ致シテ居リマスガ、詳シイ文言ヲ
記憶致シマセヌ、和歌山ノ事ハ多分私
ハソレデハアルマイカト思ヒマス

即チ緊急勅令案ヲハ樞密院ニ提出セラ
レマシタ前日ノ事ト記憶シマスガ、
是ハ前日以前デナクテ、此以後ニ於テモ
斯ウ云フコトハ屢、アルノデアリマス、
其以前ニ於テモ數年來斯ウ云フコトハ
屢、アルノデアリマスカラシテ、是ダケ
ノ事ヲバ非常ニ事新シク御報告ニナリ
マシテ、是ガ緊急勅令ノ必要ナ理由デ
アルト御説明ニナル云フコトハ、ドウ
モ腑ニ落チナイヤウニ思ヒマスガ、是
ハドウ云フ關係ニナツテ居リマスカ

デアラウト思ヒマスガ……
○泉二政府委員 其以前ニ於テモ全ク
ソレガナイ云フコトハ巾上グラレマセ
ヌガ、其文章ニ依リマシテ活動ガ一層
激シクナツテ來タト云フコトガ分ッ
申上ゲタラ宜カラウト思ヒマス
○井坂委員長 斯波君文部省ノ政府委
員ガ來ラレマシタガ貴方ハドウデスカ
○斯波委員 私ハ文部當局ニ御尋致シ
タイノデアリマスガ、第一ニ御尋致シ
タイコトハ、思想善導ニ關スル施設ノ
コトデアリマス、此事ハ當委員會ニ於
テモ、豫算委員會ニ於テモ、又本會議ニ
於テモ屢々他ノ議員諸君カラ御尋ニナ
タノデゴザイマシテ、其都度政府カラ
御答辯ガアツタノデアリマス、然ルニ政
府ノ御答辯デハ極メテ有效ニソレガ行
ハレテ居ルヤウナ御話ガアツタノデア
リマス、私ノ見マスル所ニ依リマスル
ト云フト、非常ニ其實ガ違ッテ居ルヤ
ウデアリマス、昨年思想善導ノ費用ト
シテ責任支出デ御出シニナッタモノ、及
追加豫算デ御要求ニナッタモノ、竝ニ明
年度ノ豫算デ御ヤリニナル所ノ思想善
導ノ費用ト云フモノガ、ドウ云フ工合
ニ使ッテ居ルカト云フコトヲ、私共ノ聞
キマシタ所ニ依リマスル所、五萬圓カ
ノ内各官立學校ニ對シテ二百圓乃至三
百圓程度ノモノヲ分配サレマシテ、其
他ハ主事及主事補ト云フ今度新ニ設ケ
ラレマシタ所ノ俸給ニ使用セラレタモ
ノデアアルサウデアリマスガ、此學校ノ

○齋藤委員 司法省ノ政府委員ニ屢々
御尋致シマスガ、モウ一言伺ッテ、最
前ノ補充ヲ致シテ置キタイト思ヒマ
ス、此緊急勅令必要ノ理由ヲ戴キマシ
テ、之ヲ見テ私ハ益々怪訝ニ堪ヘナイ觀
念ヲ惹起シタノデアリマスガ、是カラ
十日ノ事ヲ新シイ事ノヤウニシテ、必
要ノ理由ノ中ニ加ヘラレテ居リマス
ガ、是ハ五月ヤ六月ニ初メテ斯ウ居
ヤウナ宣傳ノ如キモノガ分ッタノデナ
クテ、モウ先達受取リマシタ所ノ日本
ニ對スル國際共產黨ノ活動及第一次ノ
日本共產黨事件内容ト云フ、之ヲ見マ
スルト其中ニ皆書イテアル事デアリマ
ス、是ハ讀マナクテモ——讀ムノハ煩
瑣デアリマスカラ讀ミマセヌガ、十分
御承知ノ事ダラウト思ヒマス、故ニ此
必要ノ理由ハ五月ヤ六月ニナツテ初メ
テ出來タノデナクシテ、其以前カラ斯ウ
云フ事實ハ屢々アルノデアリマス、又最
後ハ六月何日デアリマシタカ、十一日

○泉二政府委員 其事柄ノ性質カラ申
シマスルト云フト、此緊急勅令必要ノ
理由ノ中ニ列舉シテアリマス事柄ハ、
大體共產黨ノ行動トシテ既ニ分ッテ居
ルコトデアリマスガ、其五月上旬カラ
六月ノ月上旬迄ノ間ニ愈々具體的ニ斯ウ
云フ運動ヲシテ居ル者ガアル、具體的
ニ斯ウ云フ活動ガ行ハレテ居ルト云フ
コトガ一層ソレデ明白ニナリ、其活動
ト云フモノガ一層危険ニ赴キサウナ狀
況ガソレデ分ッタカラ、緊急勅令ヲ必要
トスル、斯ウ云フ趣意デアルト思ッテ居
ルノデアリマス

○齋藤委員 モウ一ツ伺ヒマス、此事
實ハ茲ニ現ハレテ居リマス時日以前ニ
於テモ屢々斯ウ云フコトハ起ルノデア
リマスカラ、ソレハ間違ハナイノデア
リマス、此時ニナツテ初メテ起ッタノデ
ハナクテ、絶エズト云フコトハアリマ
セヌガ、斯ウ云フ宣傳ヲ或ル一種ノ連
中ガ時々ヤル、是ハモウ御承知ノコト

○泉二政府委員 其以前ニ於テモ全ク
ソレガナイ云フコトハ巾上グラレマセ
ヌガ、其文章ニ依リマシテ活動ガ一層
激シクナツテ來タト云フコトガ分ッ
申上ゲタラ宜カラウト思ヒマス
○井坂委員長 斯波君文部省ノ政府委
員ガ來ラレマシタガ貴方ハドウデスカ
○斯波委員 私ハ文部當局ニ御尋致シ
タイノデアリマスガ、第一ニ御尋致シ
タイコトハ、思想善導ニ關スル施設ノ
コトデアリマス、此事ハ當委員會ニ於
テモ、豫算委員會ニ於テモ、又本會議ニ
於テモ屢々他ノ議員諸君カラ御尋ニナ
タノデゴザイマシテ、其都度政府カラ
御答辯ガアツタノデアリマス、然ルニ政
府ノ御答辯デハ極メテ有效ニソレガ行
ハレテ居ルヤウナ御話ガアツタノデア
リマス、私ノ見マスル所ニ依リマスル
ト云フト、非常ニ其實ガ違ッテ居ルヤ
ウデアリマス、昨年思想善導ノ費用ト
シテ責任支出デ御出シニナッタモノ、及
追加豫算デ御要求ニナッタモノ、竝ニ明
年度ノ豫算デ御ヤリニナル所ノ思想善
導ノ費用ト云フモノガ、ドウ云フ工合
ニ使ッテ居ルカト云フコトヲ、私共ノ聞
キマシタ所ニ依リマスル所、五萬圓カ
ノ内各官立學校ニ對シテ二百圓乃至三
百圓程度ノモノヲ分配サレマシテ、其
他ハ主事及主事補ト云フ今度新ニ設ケ
ラレマシタ所ノ俸給ニ使用セラレタモ
ノデアアルサウデアリマスガ、此學校ノ

思想善導ノ校費トシテ使用サレマシタモノハ、ドウ云フ 風ニ使用サレタカト申シマス、私共ノ聞キマシタ所ニ依リマスルト、各學校共ニ「クラス」會ト云フヤウナモノヲ開カレ、サウシテ只今申シマシタ主事トカ、或ハ學校ノ校長デアルトカ、其他ノ教員達ガソレニ出席致シマシテ、唯親睦ヲ圖ル爲ノ懇談ヲ致シタト云フコトデアリマス、而モ費用トシテ或ハ辨當代ト云フヤウナモノヲ學校カラ支給シテ、ソレガ學校ノ思想善導ニ關スル校費ノ全部デアルサウデアリマシテ、其他其會ニ於テドウ云フ風ナコトガアッタカト申シマス、唯難談ヲシタバケノコトデアアル、難談シタバケナラバマダ宜シイノデアリマスケレドモ、或ル女子ノ學校ナドニ於キマシテハ、話ヲシテ居ッタ所ガ別ニ變テ話モナイノデ、是カラ藝ヲヤッタ宜カラウト云フノデ、女ノ生徒ノ居ル所デ以テ隱シ藝ヲヤッタト云フヤウナ事實モ承ッテ居リマス、斯様ナコトデアリマシテ、其他ノ主事及主事補ト云フモノニ付テハ、先程水谷君カラモ御質問ニナリマシタヤウナ事實ガ多々アツテ、今迄ノ舍監ガ一層嚴肅ニ生徒ヲ取締ルト云フコトノ外ニ何事モナイヤウデアリマスルガ、斯様ナモノガ政府ノ高唱シテ居ラレル所ノ思想善導ノ目的ノ總テアルト致シマスナラバ、私ハ政府ノ高唱シテ居ラレマスル所ノ思想善導ト云フモノハ、洵ニ無意義ナモノ

デアルト思フノデアリマス、果シテ文部省デハ斯様ナ方法ヲ以テ思想善導ヲ致セト云フコトヲ命令サレタノデアリマセウカ、或ハ是ハ唯各學校ニ於テ各自ニヤッテ居ルコトデアリマスルカ、第一ニソレヲ伺ヒタイノデアリマス、ソレカラ其次ニ伺ヒタイコトハ、文部省デハ思想善導ト云フコトヲ目標トシテ頻ニ御遣リニナッテ居ルト云フコトハ、是ハ洵ニ結構ナコトデアリマスルケレドモ、思想ノ善導ト云フコトハ餘程困難ナ問題デアリマシテ、私共ノ考ヘマスル所デハ、唯生徒ヲ嚴重ニ取締ルト云フヤウナコトダケガ思想善導デハ私ハナイト思フ、本來カラ申上ゲマスレバ、文部省ノ教育方針其モノガ思想ノ善導デナクテハナラナイト私共思フノデアリマス、ケレドモ各學校ナドニ於キマシテ、思想善導ナド、云フコトニ付テ考ヘテ居リマス所ハ、非常ニ區々ニナッテ居ルヤウデアリマス、殆ド思想善導ト云フコトニ對スル基準ガナイヤウニ思フノデアアル、若シ基準ガナイト致シマスナラバ、如何ニシテ生徒——學生ナドヲ善導シテ行クコトガ出來ルカ、之ヲ一ツ御尋シテ見タイト思フノデアリマス、道德ニ關係シマシテハ、明治大帝ノ降シ賜ッテ御勅語ガアリマシテ、此勅語ヲ道德ノ基準ト致シマシテ、各學校デ生徒ニ之ヲ遵奉スルヤウニ教ヘテ居ルコトハ、私共承知致シテ居ル所デアリマス、道德ノ基準ニ關シマシテ

ハ勅語ガアリマスルケレドモ、遺憾ナルコトニハ此勅語ノ御趣旨ヲ段々ニ遵奉スル者ガ少クナリマシテ、近頃益々道德ガ頹廢スルヤウニナッテ傾向ニアルコトヲ、私共遺憾トスル者デアリマスルガ、殊ニ勅語ニ副署サレタル所ノ芳川文部大臣ノ息女ガ、非常ナ道德ヲ破壊スルヤウナ行爲ヲ致シタト云フヤウナコトハ、最モ勅語ノ御趣旨ニ對シテ畏レ多イコトノヤウニ私共思ッテ居リマス、或ハ此芳川顯正伯ノ息女ガヤッタコトノミデナシニ、一體ニ此勅語ノ御趣旨ヲ守ルコトガ衰ヘテ參ッタヤウニ私共思ッテ居リマス、而モ勅語ト云フモノガアリマス以上ハ、道德ニ關シテハ之ヲ基準トシテ學校ガ教ヘルト云フコトニハ、何等差支ガナイノデアリマス、唯此思想問題ニ關係致シマスルト、ドウ云フコトヲ基準トシテ思想ヲ善導スルヤウニ文部省デハ指示シテ御出デニナルカ、例ヘバ經濟ノ問題ニ致シマシテモ、或ハ勞働主義デアルトカ、或ハ資本主義デアルトカ、若クハ勞資協調主義デアルトカ、思想ノ問題ハ非常ニ多方面ニ互テ居ルノデアリマスルカラ、學校ノ教師ナドガ思想ノ善導ヲスルト云フ場合ニ於キマシテモ、何等カノ基準ガソコニナイ場合ニハ、生徒ノ様々ナ思想ニ對シテ、之ヲ善導スルト云フコトハ私共非常ニ困難ナヤウニ考ヘマスルガ、文部省ハ果シテドウ云フコトヲ思想善導ノ基準トセラレテ居ラレル

カ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス、又モウ一ツ伺ヒタイコトハ、只今モ申シマシタ通りニ、私共ノ考デハ文部省ノ教育方針ソレ自體ガ思想ノ善導デナクテハナラヌト思フノデアリマス、今迄文部省ハ——敢テ今回ノ文部大臣ト申シマセヌガ、在來ノ文部大臣ガ智的教育バカリニ重キヲ置カレマシテ、學校ノ試験デアルトカ何トカ云フ、サウ云フ様々ナコトデ非常ニ生徒ガ苦ンデ參リマシタケレドモ、精神教育ノ作興ト云フコトハ昨今ニナッテ唱ヘラレテ居ルコトデアリマシテ、今迄ノ文部省ノ教育ニハ精神教育ト云フヤウナコトハ餘程疎カニナサッテ居ッタヤウニ私共考ヘテ居ル、其結果デアリマスルカ、或ハ學校ガ非常ニ増設サレタ爲デアリマスルカ、校長ナドノ人物ト云フモノモ、非常ニ低下シテ參ッタヤウニ私共思ッテ居ルノデアリマス、是ハ思想善導ト云フコトニ付テ非常ニ重大ナ關係ノアルコトノヤウニ思フノデアリマシテ、文部省ガ縱令幾千萬圓ノ思想善導費ヲ費サレテモ、一人ノ文部大臣ガ立派ナ人物デアルト云フ事ニハ及バナイノデアリマシテ、學校ノ校長ナドガ立派ナ人ヲ總テ用キテ擧ゲラレテ居ルト云フ事ハ、ソレダケデモ思想善導ニ非常ナ影響ガアルコトダト思フノデアリマス、今日デハ何レノ學校ト申ス譯ニモ參リマセヌケレドモ、多クノ學校長ニ於テ、校長ガ甚ダ不評判デアアル、且ッ人ノ模範、生徒

ノ模範ニナルヤウナ人ガ非常ニ少ナイ
ヤウニ思ハレルノデアリマス、先頃問
題ヲ惹起シマシタ弘前ノ高等學校長ナ
ド、云フモノモ、本日ノ新聞デアリマ
スカ、或ル新聞ニハ、其人ニアラザルモ
ノヲ、文部省ノ要路ニアル人ガ引上ゲ
タ爲ニ、アノ失態ヲ演ジタト云フヤウ
ナコトガアリマシタガ、是ハ一例デア
リマスルケレドモ、今日ノ學校長ノ中
ニハ、私共ノ聞イテ居ル所デモ非常ニ
非難ノ多イ人ガアルノデアリマス、斯
様ナ人ニ代ヘルノニモウ少シ校長ノ人
選ヲ良クシテ、立派ナ人ヲヤラレルコ
トガ思想善導ニナリハシナイカ、凡テ
今日ノ學校教育ト云フコトガ、唯詰込
主義注入主義ノ教育ニ傾キマシテ、教
育ト云フコトガ人ヲ造ルコトデアアル、
造士教育デアルト云フコトヲ餘リ注意
セラレナカッタ結果ガ、今日ノヤウナ危
險思想ヲ多ク誘致スルヤウニナッタノデ
ハナイカト考ヘラル、ノデアリマス、
此三點ニ付テ文部當局ノ御意見ヲ承ッテ
置キタイト思ヒマス

○山崎政府委員 斯波君ノ御問ニ御答
申上マゲマスガ、本年度ニ責任支出ヲ以
テ、大學高等學校其他ニ生徒主事ヲ置
キ、又文部省ニ學生課ヲ新設スルト云
フコトニ致シタノデアリマス、是ハ眞
ニ已ムヲ得ザル必要ニ出デマシタ應急
ノ施設デアリマシテ、是ガ思想善導ノ
全部デナイコトハ、申ス迄モナイ事デ
アリマス、學生ノ思想ニ對スル問題ト

シマシテハ、斯波君ノ仰セノ通り、教育
ノ方針其モノガ根本ヲ成スコトハ、是
ハ無論ノ事デアリマス、唯今同責任支
出ヲ以テア、云フ機關ヲ設ケマシタコ
トハ、甚ダ残念ナ事デアリマスルケレ
ドモ、差迫ッテアノ種ノ機關ヲ設ケナケ
レバナラヌ必要ニ迫ッタ爲ニ置イタノ
デアリマス、尙ホ斯波君ノ仰セノ中ニ、
文部省ヨリ各學校ニ若干ノ經費ヲ配當
シテ、其經費ガ如何ニモ無意義ニ使ハ
レテ居ルデハナイカト云フヤウナ御質
問デアリマス、只今モ實ハ貴族院デ松
村義一君カラ、サウ云フヤウナ御質問
ガアリマシタガ、是ハ斯波君ハ御承知
ノ通りニ、一學校二百圓均シニ確カナッ
テ居ッタカト思ヒマス、無論七百、八百
或ハ千人カラノ生徒ガアル學校ニ對シ
テ、半箇年二百圓ノ事デアリマスカラ、
是ガ濫用モ濫費モ、左様ナ餘地ノアル
モノデハナイノデアリマス、極メテ少
額ナガラ其金ヲ支出致シマシタコト
ハ、教官或ハ生徒主事ト云フヤウナ者
ガ、矢張生徒ト接觸スル事ガ必要デ
アリマスノデ、談話會ヲヤルトカ、茶話
會ヲヤルトカ云フヤウナコトモ、其間
ニ生徒ノ僞ラザル赤裸々ノ氣分ガ現ハ
レテ參リマスカラ、左様ナ事ヲヤルコ
トモ、生徒ノ狀況ヲ知ル一端デアラウ
ト云フ考ヲ以チマシテ、其二百圓バカ
リノ金ヲ配付シマシタガ、ソレハ要ス
ルニ煎餅代位ノ意味合デアリマシテ、決
シテ是ガ一部デ言ハレルヤウナ濫用デ

アルトカ、濫費デアルトカ、サウ云フ金
デハナイノデアリマス、ソレカラ斯波
君ハ文部省ノ學生ノ思想ニ對スル根本
ノ考ハ、何處ニ一體基準ヲ置イテ居ル
カト云フ御尋デアリマシタガ、學校教
育ノミナラズ、社會教育ニ於キマシテ
考ヘテ居リマスル事モ、根本ハ即チ國
體觀念ヲ鞏固ニスル、是ガ基準デア
ルデアリマス、日本ノ國體觀念ニ搖ギ
サヘ來マセヌケレバ、私共ハ多少色々
ナ間違ガ起リマシテモ、是ハ左程心配
スル事デハナイト思ヒマス、苟モ學生、
生徒ノ頭、及社會一般ニ國體觀念ニ搖
ギガ來マシタナラバ、是ハ取返シノ付
カヌ事デアリマス、即チ學生ニ對シ、社
會教育ニ於テ基準トシテ考ヘテ居リマ
スル點ハ、國體觀念ノ涵養、國體觀念ヲ
鞏固ニスル、之ガ先ヅ目標デアルト御
承知ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、
ソレカラ一般教育ノ問題ガ根本デア
ルコトハ、是ハ先程申上ゲマシタシ、又
斯波君ノ御意見ノ通りデアリマス、今
日ノ學校教育ニ於テ改善ヲセナケレバ
ナラス餘地ハ、不幸ニシテ多クアルノ
デアリマス、是モ先日ノ委員會ニ於テ
私ハ一言申上ゲタ積リデアリマスガ、
詰リ日本ガ西洋ノ文明ヲ輸入スル事ニ
急ナル餘リ、是ハ其當時ノ事情ニ於テ
ハ已ムヲ得ナカッタ事デアリ、又相當
ノ事デアッタラウト思ヒマスガ、國力ノ急
速ナル進展ヲ圖ルガ爲ニ、急イデ西洋
ノ文明ヲ輸入スルコトニ朝野力ヲ致シ

タト云フコトモ、是ハ決シテ誤ッタ政策
デハナイト思ヒマス、併ナガラ其結果
ガ今日ハ又一面ニ拭フベカラザル弊ヲ
伴ウテ來タ、教育モ亦私ハ同様デア
ルト思ヒマス、即チ明治ノ教育ト云フモ
ノガ、畏多クモ 明治大帝陛下ヨリ下
シ賜ハリマシタル教育御勅語ノ精神ニ
依テ、教育家ハ努力ヲ致シテ居リマス
ケレドモ、教育全體ノ氣分ガ動モスレ
バ知識教育ニ偏シタト云フコトハ、矢
張是レ其時代ノ一ツノ流レデアッタノ
デハナイカト思ヒマス、丁度社會全體
ガ今日ハ反省ト申シマスカ、考慮ト申
シマスカ、一ツ考ヘ直サナケレバナラ
ヌト云フ情勢ニナッタト同様ニ、教育制
度ニ於テモ一ツ考ヘテ見ナケレバナラ
ヌ點ガ、私ハアルノデハナイカト思ヒマ
ス、ソレハ斯波君モ仰セノ通り、從來ノ
教育ガ動モスレバ知識教育ニ偏シタ、
是ハ遺憾ナガラ事實デアリマスガ、之
ヲ改メマシテ、精神教育ヲ中軸トシ、又
學生生徒ノ氣分ヲ落著ケル、眞面目ニ
スル、純眞ニスルト云フコトガ、私ハ今
日ノ教育ノ全體ニ互テ必要ナ點デア
ラウト思フノデアリマス、左様ナ考カラ
致シマシテ、先日モ申上ゲマシタガ、文
部省ニ於テハ有ル教育制度ニ互リマ
シテ、其方針ヲ以テ著々改善ヲ實行致
シタイト云フ積リデアリマシテ、差當
リ最モ缺陷ノ多イト認メテ居リマスル
中學教育ヲ、其精神ニ基イテ改善ヲ致
シタイト云フ考カラ、只今現ニ文政審

議會ニ付議致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、尙ホ精神教育ノ問題ニ於テハ、教員ガ大切デアアル、就中校長ガ大切デアルト云フコトモ、斯波君ノ仰セノ通りデアリマス、動モスレバ世間ニ於テハ、教育界ノ全部ガ如何ニモ無能デアリ、如何ニモ足ラヌコトノヤウニ酷評ヲセラルル論モ往々ニシテ聞クノデアリマス、併ナガラ私共ハ是ハ聊カ世間ノ酷評デアアル、今日ノ日本ノ二十有餘萬ノ教育家ガ悉ク、無能デアリ、悉ク足ラザルモノデアルト云フガ如キコトハ、私共ハ認メテ居リマセヌ、二十有餘萬ノ教育家ノ大多數ノ人ハ、眞面目ニ眞剣ニ教育ノ爲ニ努力シ奮闘シテ居ル人、デアリマス、中ニハ固ヨリ足ラザル人ガアリマス、ソレハ私共モ之ヲ認メマス、多クノ人々ノ中ニ足ラザル人ノアル事、是モ亦遺憾ナガラ已ムヲ得ヌコトデアリマス、併ナガラ之ヲ全部ノ教育界ガ如何ニモ臍甲斐ナイモノデアルヤウナ風ニ、世間ノ一部デ御覽ニナルコトハ、私ハ教育ニ關係シテ居ル者トシテ、責任上此事ニ付テハ一言ノ辯明ヲ申上ゲテ置カケレバナラヌト思フノデアリマス、文部省ニ於テ教員ノ養成ト云フ事ニハ相當ノ注意ヲ拂ッテ居リマス、是ハ私共ノミデアリマセヌ、歴代ノ政府ガ之ニハ相當ノ苦心ヲ拂ッテ居ルノデアリマス、尙ホ昨今ニ於キマシテハ一層其必要ノ切ナル事ヲ認メマシテ、先般皆様ノ御協賛ヲ仰ギマ

シタ昭和四年度豫算ニ於テモ、之ニ關スル或ル種ノ施設ヲ計上致シテ居ルヤウナ事デアリマス、唯人間ノ教育ニ關スル事ト云フモノハ、外部デ考ヘマサルヤウニ、サウ簡單ニ參ルモノデアリマセヌ、如何ニモ效果ヲ奏スル事ト云フモノガ、急激ニ行キニクイモノデアリマシテ、ソコニ私共トシテモ甚ダ苦ミヲ感ズル點デアリマスガ、當局トシテハ出來得ル限リノ努力ハ拂ッテ居ル積リデアリマス、尙ホ弘前ノ高等學校長云々ノ事、文部要路ノ者ガ云々ト云フ御言葉ガアリマシタガ、或ハ是ハドウ云フ意味合カハ承知致シマセヌガ、弘前ノ高等學校長ハ——事ノ内容ハ今日マダ發表ヲ致ス時機ニ達シマセヌケレドモ、是ハ何レ公ニ發表スル時機ガアラウト思ヒマス、其時ニナレバ皆様ニ、成程サウ云フ事デアッタカト云フヤウナ御感ジモ起ルコト、思ヒマシタガ、是ハ決シテ文部省ニ於テ偏頗ナ考ヲ以テ——兎角近頃ドウモ一部デ批評ヲスル方ガ、餘リ色眼鏡ガ附キ過ギルコトヲ私共遺憾ト致シマス、弘前ノ校長ヲ選任スルコトノ如キハ、相當ノ機關ニ於テ相當ノ審査ヲセラレマシテ、サウシテ決定ヲ致シタ事デアリマス、不幸ニシテ今回問題ヲ起シマシタ事ハ、當局トシテモ洵ニ遺憾ヲ感ジテ居リマスケレドモ、何等特殊ノ事情ガアッテ弘前ノ鈴木君ヲ任用シタト云フヤウナ、左様ナ事ハ毛頭アリマセヌカラ、ソコ

ハドウゾ御諒解ヲ御願シテ置キタイト思ヒマス
○斯波委員 只今御答辯ノ中ニ思想善導ハ國體觀念ヲ鞏固ニスルコトヲ基準トシテ居ルト云フ話デアリマス、是ハ勿論何人モ守ラナケレバナラヌコトデアアル、此事ガ思想ノ基準ニナルコトハ勿論ノコトデアリマスガ、併シ思想ノ問題ト云フモノハ頗ル廣イモノデアリマシテ、今日ノ所謂思想惡化ト云フモノハ唯國體ニ關スルコト許リデハナイノデアリマス、先程申シマシタ通りニ、經濟主義ニ至リマシテモ、非常ニ多岐多樣ニ分レテ居ルノデアリマスカラ、是等ノ思想ヲ善導スルト云フ時ニモ其意味ガ一般ノ學校ノ教師ヤ何カニ取ツテハ非常ニムツカシイコトデアラウト思ヒマス、國體觀念ヲ善導スル以外ニ思想善導ノ方針ハ無クテモ宜イモノデアリマスカ、或ハ其他ニ矢張サウ云フ思想善導ノ御方針ガ有ルノデアリマスカ、ソレヲ一寸承リタイ
○山崎政府委員 其點ニ付キマシテハ、例ヘバ經濟學說ニ於テドウ云フ學說ヲ以テ生徒ヲ率ヒルトカ云フヤウナコトヲ文部省デ決メテ掛ルト云フ譯ニモ參リ惡イコトモアリマスガ、只今執テ居ルノハ斯ウ云フコトヲヤッテ居ルノデアリマス、例ヘバ一時流行リマシタ「マルクス」主義トカ云フヤウナコトガアリマスガ、ア、云フモノニ付テハ直轄學校アタリノ教官ヲ集メマシテ、

又其外ニモ文部省デ適當ナ著書等モ編纂致シマシテ、健全ナル一ツノ批判力ヲ養フテ、之ニ對シテ日本ノ國體又日本ノ社會ノ秩序ト云フモノヲ守ル意味合カラ致シマシテ、ア、云フ過激ナル學說或ハ思想ニ對スル批判、判斷ノ力ヲ養フト云フコトガ必要デアラウト云フ意味カラ、先般來學校ノ教官等モ集メマシテ、サウ云フコトニ付テ、各種類ノ方面ノ學者ノ說等モ傳ヘマスルシ、又先刻申シマシタヤウナ文部省ニ於テ只今調査進行中デアリマスルガ、相當ノ「パンフレット」等モ拵ヘマシタリ致シマシテ、サウシテサウ云フヤウナコトニ依テ生徒ニ色々這入ッテ來ル新シイ危險ナル思想ニ對スル判斷ノ力ヲ養ハシテ行カウト云フヤウナコトヲヤッテ居ルヤウナ次第デアリマス
○横山委員 只今文部次官カラ學生思想ノ善導ノ基準ヲ國體觀念ヲ鞏固ニスルコト、國體ノ觀念ヲ涵養スルコト等ガ必要デアルト云フ意味ノ御言葉ガアリマシタ、固ヨリ結構ナコトデアリマスカ、ソレハ只今斯波君カラモ御話ノ通り寧ロ當然ナコトデアッテ、吾々ノ聽カントスル所ハ其國體觀念ヲ鞏固ニシ、ソレカラ國體觀念ノ涵養ヲスル其方針ハ何處ニ在ルカト云フコトヲ聽クコトガ出來レバ結構ダト思ヒマス、唯國體觀念ニ反スル外來ノ思想ガ來タ時分ニハ、政府ハソレニ對シテ學生ノ批判力ヲ養ハシムルト、斯様ニ仰セラ

レマスルガ、其事モ一ツデアリマセウ
ガ、ソレヨリ以前ニ我ガ國民ノ持ッテ居
ル、又持ッテ居ラナケレバナラヌ國體觀
念ト云フモノヲ涵養シ、國體觀念ト云
フモノヲ鞏固ニスルト云フ方針ハ何處
ニ在ルカト云フコトニ付テ御伺シタイ
ト思フノデアリマス

○山崎政府委員 國體觀念ヲ鞏固ニシ
國體觀念ヲ涵養スルト云フコトハ教
育ノ全系統ヲ通ジテ教育ノ中心目的ト
ナッテ居ル點デアリマス、只今横山君ノ
御問ハ恐ラク高等學校其他ニ於テ思想
善導ト云フ施設ヲスル上ニ國體觀念ヲ
鞏固ニスルト云フ眼目ハ分ッタガ、具體
的方法トシテハ、一體ドウ云フヤウナ
コトヲヤルカト云フ御趣意ノ御質問デ
ハナイカト拜察致シマシタガ、之ニ付キ
マシテハ積極的ノ意味ニ於テハ生徒ニ
對シテ國體觀念ノ涵養ニ關シ、ソレヲ
中心トシタル訓育ヲ十分ニスルト云フ
コトガ積極的ノ方面デアリマス、消極的
ノ方面トシマシテハ、考ノ誤ッタ途ニ踏
込ンデ居ルモノ或ハ踏込マントスル危
險ノアルモノヲ防止スルト云フ點ガ消
極的ノ手段ニナルノデアリマス、デ先
程カラ問題ニナッテ居リマシタ生徒主
事ナドノ任務モ、サウ云フヤウナ危險
ナ所ニ陷ッタモノヲ取戻シ、或ハ陷ラン
トスル虞アルモノヲ防止スルト云フヤ
ウナコトガ、實ハ職務ノ主ナルモノニ
相成ッテ居ルヤウナコトデアリマス、要
スルニ思想善導ト云フコトハ言換ヘレ

バ訓育デアリマシテ、訓育ノ施設ト云
フコトハ、色々ノ方面カラ積極消極各
種ノ方面カラ注意ヲシ、之ニ力ヲ盡シ
テ行カナケレバナラヌト考ヘテ居ルノ
デアリマス

○横山委員 御話ガ何トナク隔靴搔痒
ノ感ガアリマスルガ、御話ハ甚ダ美文
的デアッテ結構ナヤウニ考ヘマス、之ヲ
具體的ニ言ヘバ、古ヨリ申シテ居リマ
スル通り、又勅語ニモ現レテ居リマス
ル通り、所謂君ニ忠ニ又ハ國ヲ愛シ又
ハ孝悌ノ道ヲ守ルト云フコトガ我國ノ
國民道德ノ基本デアリ、之ガ國體ノ精
華デアル、斯様ニ吾々ハ拜察致シ、又左
様ニ考ヘテ居リマスガ、恐ラク文部次
官ノ言ハレタ思想善導ノ基本ヲ、國體
觀念ノ涵養、國體觀念ヲ鞏固ニスルト
言ハレル意味ハ、忠孝ノ道ヲ顯揚シテ
千古ヲ貫ク我國ノ國體ノ精華ヲ中外ニ
發揮セシムルト云フヤウナ意味ヲモ含
ンデ居ルノデアリマスカドウカ、形容
或ハ美文的ノ言葉ヲ避ケテ率直ニ申シ
マスルナラバ、左様ナ意味ヲ申サレル
ノデアリマスカドウカ、私ハ衷心ヨリ
ソレガ一番ノ思想善導ノ基本デアリ、
又之ガ外來思想ヲ排斥スル最モ必要ナ
ル方法デアルト考ヘテ居ルノデアリマ
スガ、具體的ニ文部次官ノ御高説ヲ伺
ヒマス

○山崎政府委員 横山君ノ御話ハ極メ
テ御鄭重ナル又飾ラレタル御言葉デア
リマシテ、恐ラク私ガ先刻來斯波君ノ

御質問ニ對シテ御答申上ゲタコト、意
味ニ於テハ同様デアラウト考ヘマス
○横山委員 所謂忠孝ノ道ヲ遵奉シ、
忠孝ノ道ヲ顯揚スルコトガ、是ガ所謂
思想ノ善導、外來思想ノ排斥ニ最モ必
要デアルト云フ事柄ヲ言明サレタコト
ニ對シテハ、私敬意ヲ表スルノデアリ
マスガ、然ラバ其道ヲ盡スニ付テ政府
ハ果シテ從來ドウ云フ態度ヲ執ッテ居
ルカ、又現在ドウ云フ態度ヲ執ッテ居
ルカ、又將來ドウ云フ態度ヲ執ラントス
ルカニ付テ承リタイノデアリマスガ、
其一端ハ斯波君ノ質問ニ對スル答辯ニ
依テモ分ッテ居リマスガ、ソコデ吾々ガ
考ヘマスノニ、以前ノ事ハ暫ク別ノ問
題ト致シマシテ、少クトモ明治維新以
來ノ御詔勅ノ中デ、所謂國民ノ思想ニ
觸レル幾多ノ有難キ御詔勅ノ中ニハ此
道ヲ國民ニ向ッテ教ヘラレテ居ルモノ
ガ澤山アリマス、故ニ此國體ノ精華ヲ
發揚シ、國民道德ノ根源ヲ涵養セシメ
ントスルナラバ、勅語ノ普及ト云フコ
トガ是ガ最モ必要ナ事柄デアルトコト
ハ、文部省ト雖モ、吾々國民ト雖モ、毫
モ異存ノナイコトデアアル、此事柄ニ付
テハ或ル程度迄之ヲ教科書ニ載セ、或
ハ修養ノ講話等ニ於テ、學校當局ガ其
手段ヲ執ッテ居ルト云フコトモ、是モ諒
承シテ居リマスガ、併シハ從來ハ其
位ノ程度デ宜カッタカモ存ジマセヌガ、
今日既ニ秘密結社ヲ生ジ、日本共產黨
ナルモノガ出來、國體ニ向ッテ脅威ヲ加

ヘントスルガ如キ兇暴ナル思想ヲ懷ク
者ガアッテ、ソレガ少クトモ實行ノ程度
ニ迄及バンツシテ居ルト云フコトハ、
是レ所謂思想上ノ一大國難デアッテ、日
露戰爭ヨリモ亦日清戰爭ヨリモ、或ル
意味ニ於テハ吾々ハヨリ以上ノ脅威ヲ
感ズル者デアリマス、隨テ外來ノ思想
ヲ排斥スルコトニ付テ大ニ努力セラレ
ルコトニ付テハ、敬意ヲ表シマスガ、先
ヅ根本的ニ勅語ノ普及ト云フコトニ付
テ、從來爲シ來リシ方法以外ニ、此場合
特ニ積極的ニ政府ハ如何ナル方法ヲ講
ゼントシテ居ルカ、ソレトモ既往及現
在ノ方法ニ依テ政府ハ満足シテ居ルト
云フコトデアリマスガ、私ハ其勅語ノ
御精神ノ在ル所、又其文章ノ意味等ニ
關シテ、少クトモ中等教育以上ノ學力、
知識ヲ持ッテ居ル者ハ之ヲ理解スルコ
トガ出來ルデアラウト思ヒマスガ、ソ
レ以下ノ學識及知識ノ程度ノ者カラ申
シマス、決シテ御勅語ノ意味ヲ批判
スルノデモナシ、此文章ニ向ッテ非難ヲ
加ヘル意味デモアリマセヌガ、兎角了
解ニ苦シムモノガ多クハナイカト云フ
コトヲ憂慮スルノデアリマス、三大節
ノ日ニ小學校ノ生徒ノ前デ如何ニ學校
ノ先生ガ嚴肅ニシテ、且ツ敬虔ノ態度
ヲ以テ勅語ヲ朗讀致シマシテモ、其意
味ヲ了解スルニ非ズンバ之ヲ奈何トモ
スルコトガ出來ナイ、又小學校ノ教員
ナリ、其他ノ學校ノ教員諸氏ガ身ヲ以
テ生徒ヲ率ユル所ノ範ヲ示スニ非ズン

テ生徒ヲ率ユル所ノ範ヲ示スニ非ズン

テ生徒ヲ率ユル所ノ範ヲ示スニ非ズン

テ生徒ヲ率ユル所ノ範ヲ示スニ非ズン

バ、勅語ノ意味ト云フモノハ到底國民ノ頭腦ニ深キ印象ヲ與ヘルコトハ困難デアルト吾々ハ考ヘテ居ル者デアリマス、御覽ノ通りニ中等學校ニ行キ、ソレヲ經テ更ニ高等ノ學校ニ進シテ參リマスモノハ、國民全體カラ申シマスレバ、少數デアリマス、最大多數ノ階級ノ者ハ其處迄行クコトガ出來ナイデ居ルト云フコトハ、洵ニ遺憾ナ狀態デアリマス、其階級ニ若シ勅語ノ精神ガ徹底ヲ缺クト云フコトデアリマスナラバ、寧ろ外來思想ノ危險ト云フモノヨリモ、内部ニ於テ國體ノ何物タルカラ理解セズ、國民道德ノ何物タルカラ意識スルコトノ出來ナイ者ガ多數アルト云フコトニナツテ、是ハ洵ニ憂慮ニ堪ヘナイノデアリマス、寧ろ敵國外患ニ依テ脅威ヲ蒙ムルト云フヨリモ、一家ノ内ニ、一國ノ内ニ國體ヲ理解スル者ガナクシテ、内カラ國體ノ弱點ヲ現ハスト云フヤウナコトガアリハセヌカト考ヘマス、故ニ私ハ從來ト雖モ其必要ハアツタノデアリマスケレドモ、少クトモ今日以後ニ於テ議會閉會ノ場合ニ、非常命令ニ依テ國民ノ自由權利ヲ奪フガ如キ重大ナル緊急勅令ヲ出シテ迄モ此國難ヲ救ハネバナラヌト云フ態度ヲ執ラレタ以上ハ、此勅語ノ普及ニ關シテモ、政府ハ大ニ又積極的ニ相當ナル御考ガナクテハナラヌト斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、之ニ對シテドウゾ親切ナル御説明ヲ仰ギマス

○山崎政府委員 横山君ノ御説ハ洵ニ御尤ナ御説デアリマシテ、私共トシテモ全然御同感デアアルノデアリマス、教育ニ關スル勅語ノ御趣旨ヲ國民全體ニ普及シ徹底セシメルコトガ最も大切デアルトハ、横山君ノ仰セノ通りデアリマス、如何ニシテ其目的ニ副フカ、教育ノ施設ニ於テドウ云フコトヲ考ヘテ居ルカト云フ趣意ノ御疑念デアッタヤウデアリマスガ、是ハ要スルニ國民大多數ニ關スル教育ノ施設ヲ進メルト云フ方法ニ歸著致スト私ハ思フノデアリマス、横山君モ御承知ノ通り中等教育或ハ高等教育ニ進ム者ハ極ク少數デアリマス、大多數ノ國民ハ小學教育ヲ終ルダケニ相成ツテ居ルヤウデアリマス、大多數ノ國民ニ對スル教養ヲ高メルト云フコトガ、同時ニ横山君ノ御趣旨ヲ達成スル所以ニ相成ルノデアリマス、此點ニ付キマシテハ、政府ト致シマシテモ最モ力ヲ注ガントスル點デアリマス、即チ一面ニ於テハ社會教育ノ振興ヲ圖リ、一面ニ於テハ青少年ノ教育ノ振興ヲ圖リ、更ニ之ヲ細カク申上ゲレバ、補習教育ノ振興、或ハ青年訓練ノ振興、是ガ實ハ國民ノ大多數ニ直接ノ關係アル施設デアリマシテ、此施設ヲ進メテ參ルト云フコトガ私共ハ今日ニ於テ最モ肝腎ナコトデアルト云フ意見ヲ持ツテ居リマシテ、幸ヒ先般御協賛ヲ仰ギマシタ豫算ノ中ニ、來年度ニ於テ青少年教育ノ爲ニ特ニ二百五十萬圓ノ經

費ノ増加ヲ願フタウナ次第デアリマス、是ハ固ヨリ満足ナ金額デアリマセヌ、今少シク多カラントラ當局トシテハ希望シテ居リマスケレドモ、兎ニ角此經費ヲ支出致シマシテ、青少年教育ノ振興ヲ圖ルト云フコトガ、是ガ一般國民ノ智徳ノ水準ヲ高メル上ニ、最も適切ナル施設デアラウト考ヘテ居リマシテ、政府ハ地方トモ協力シ、又地方ヲ督勵致シマシテ此施設ノ向上進展ヲ圖リタイト云フ考ヲ持ツテ居リマス、更ニ又青少年以外ニ付テ考慮致サネバナラヌコトハ、社會教育ノ振興デアアル是モ青少年教育ト相並ンデ今日最モ急ヲ要スルコト、思ヒマシテ、來年度豫算ニ於テハ、社會教育ノ爲ニ文部省ニ一局ヲ新設致シマシテ社會教育ニ關スル行政機關ヲ整備ヲ圖リ、又社會教育ノ施設ト致シマシテ、或ハ國民道德ニ關スル先哲ノ名著等ヲ社會ニ紹介スル、或ハ國民道德ニ裨益アリト認メラレル出版物ヲ世ノ中ニ紹介スル、或ハ又活動寫眞ニ依リマシテ社會ニ對スル一種ノ訓育ノ方法ヲ試ミル、或ハ民間ニ在リマス各種教化團體ノ機能ヲ借りマシテ、教化團體ニ對スル助成金ヲ出シマシテ、是等ノ活躍ヲ促シマシテ、社會教育ノ振興ヲ圖ルト云フヤウナ工合デ甚ダ不十分デアアルガ財政ノ許ス範圍ニ於テ相當ノ計畫ヲ立テタ考デアリマス

○横山委員 略々具體的ノ答辯ヲ得マシテ満足致シマスガ、今ノ御話ノ中デ、社會教育、青少年教育ト云フヤウナコトモ必要デアアル、又其内容トシテ、民間ノ教化團體ニ對スル關係ヲ保ツト云フ具體的ノ方法ノ御答辯デアリマシタガ、是ハ固ヨリ結構ナコトデアアルニ相違アリマセヌ、唯吾々民間ニ居ル者ガ常ニ感ジマスコトハ、我が國ニ於キマシテハ、何ト申シテモ四方拜、或ハ元始祭、或ハ天長節、或ハ紀元節ト云フガ如キ少數ノ所謂大祭日ト云フモノガ、是ガ最モ國體ノ觀念ヲ發揚スル上ニ於テ、吾々國民トシテ最モ敬虔ノ態度ヲ以テ行カネバナラヌコトデアアル、然ルニ其現狀ヲ見マスルト、此頃民間ノ有志ニ依テ建國祭ナルモノガ發起サレマシテ、大衆ヲ導カントシテ居ル運動ガ起ツテ居リマス、私モ目下ノ時弊ノ肯綮ニ當ッタモノト思料致シテ喜ンデ居リマスガ、之ニ關聯シテ考ヘマスニ、大祭日ノ時分ニ成程多クノ民家ノ玄關先、或ハ門或ハ軒頭ニ形バカリノ國旗ヲ掲ゲテ居リマス、又小學校其他ノ學校ニ於キマシテハ、生徒ヲ集メテ相當ナル訓話或ハ講演等モ致サレテ居ルヤウデアアル、又勅語ノ奉讀モアルヤウデアアル、所ガソレハ唯小學校ノ生徒ナドガ學校ニ行ッテ行フ儀式デアアル、一度家ニ歸ッテ見レバ、軒頭ナリ門先ニ國旗ガ掲ゲテアルト云フダケデアツテ、學校トノ聯絡ハ寸毫モナイノデアアル、學校デハ僅カ二十分カ三十分間ノ儀式ヲヤッテ子供ハ

家庭ニ歸テ來マス、家庭ニ於テハ一日四六時中父兄ノ進退行動ヲ見習フ居ルノデアリマス、其家庭ニ於テハ大祭日ニ對スル國民トシテノ態度ガ缺ケテ居ルト申シテハ甚ダ過言デアルカハ存ジマセヌガ、尠クトモ遺憾ノ點ガアルト云フコトヲ、私ハ常ニ多クノ民間ノ人々ノ家庭ニ接シテ遺憾ト存ジテ居ルノデアリマス、ソコデ社會教育或ハ民間ノ教化團體ニ依リ、或ハ青少年ノ教育ヲスルト云フコトハ、洵ニ結構ナコトデアリマスルガ、更ニ進ンデ斯ノ如キ少數ノ團體ニ、少數ノ儀式ニ依賴セズシテ、否斯ノ如キ少數ノ團體ニノミ依賴スルコトヲ止メテ、國民全體ヲ對象トシテ家庭全部ヲ舉ゲテ大祭日ノ趣旨ヲ遵奉シテ、サウシテ眞ノ國民の大祭日タルノ思想ヲ發揮シ、其形ヲ現ハスト云フコトガ、私ハ必要デアルト思フ、此點ハ文部當局ハドウ御考ニナルカ分リマセヌガ、全ク其様ニ行ッテ居リマセヌ、固ヨリ官吏會社員デアルト云フガ如キ、俸給生活ニ依賴シテ居ラル、人ハ日曜アリ、休日アリ、其日ニハ終始家庭ニ在ッテ其子弟ヲ訓育シテ行クコトモ出來マセウケレドモ、他ノ多クノ家庭ニナリマストソレハ全然ナイ、是ニ於テ旗日ハ學校ノ旗日デアッテ國民ノ旗日デハナイ、私ノ言ハントスル趣旨ハ、學校ノ旗日ヲ更ニ移シテ家庭ノ旗日ニシタイ、國家ノ旗日ニシタイ、國民ノ旗日ニシタイ、斯ウ考ヘ

ル、此頃デモ田舎ニ御出デニナッテ見マサルト能ク分リマスガ、或ル地方デハ正月ハ一箇月遅レル、二月一日ニ正月ヲ迎ヘル、依然トシテ太陽曆ノ外ニ太陽曆ヲ使ッテ居ル、サウシテ極ク邊陲ノ地ニ參リマスト、學校ニハ旗ガ立ッテ教員ガ生徒ヲ集メテ居ルノニ、其附近ノ住民ハ悉ク大祭日タル觀念モ無シ、又サウ云フ儀式ニ服シテ居ラヌ、一箇月遅レノ二月一日ヲ正月トスル者アリ、三十日遅レヲ正月トスル者アリ、國民道徳ノ基準トナルベキ大祭日若クハ四方拜ト云フガ如キモノニ關シテモ、區々ノ現象ガ現ハレテ居ル、此點ニ於テモ國民ノ思想ト云フモノガ——國民ノ行動ト云フモノガ全然一致ヲ缺イテ居ル、甚シキニ至ッテハ、吾々ハ三遍位正月ヲスルコトガアリマス、太陽曆ニ依ル正月、ソレカラ地方ヘ行ッテ太陽曆ノ正月、一箇月遅レノ正月モ出來マス、是ハ文部次官モ屢々御經驗デアラウ、若シ御經驗ガナケレバ田舎ヲ少シ御歩キニナレバ直ニ御經驗ニナル、是等ハ私ハ太陽曆ガ善イカ、太陽曆ガ惡イカト云フコトハ、専門ノ智識ヲ持ッテ居リマセヌカラ存ジマセヌガ、依然トシテ太陽曆ノ外ニ、因襲ノ久シキ國家ガ正當ニ承認シテ居ラヌ太陽曆ガ行ハレテ居ルト云フヤウナコトモ、是ハ農民ニ取リマシテハ季節ノ關係上、又農業ノ關係上已ムヲ得ヌコトモアルノデアリマスカラ、一概ニ私ハ之ヲ非難スルノデハ

アリマセヌケレドモ、前段申上ゲマスナル通り旗日ガ會社ト學校ト官廳ノ旗日ニナッテ、國民ハドウモ之ニ多クノ關係ヲ持ッテ居ラヌト云フヤウナコトガ、是ガ國家思想ヲ涵養シ、國家觀念ヲ鞏固ニスルト云フ意味カラ言ヘバ是ハ大缺點デアリマス、私ハ君民一致、一君萬民、共ニ皇室ノ旗日デアルト云フナラバソレニ服シ、國家ノ旗日デアルト云フナラバソレニ服シ、茲ニ國ヲ舉ゲテ紀元節ヲ祝シ、國ヲ舉ゲテ天長節ヲ御祝ヒシタイト斯ウ云フノデアリマス、ソレガ毫モ行ッテ居リマセヌ、是ハ私ハ現政府ノミニ彼此レ言フノデアリマセヌ、歷代ノ政府ヲ通ジテ此點ニ對スル用意ガ甚ダ缺ケテ居ルト思ヒマス、事ハ祭日ノコトデ形式デアルト云フ御考ガアルカモ知レマセヌケレドモ、私ハサウハ考ヘテ居リマセヌ、是等ニ對シテ從來ノ缺點若ハ遺憾ナリト信ズル點ヲ御承認爲サルカドウカ、若シサウデナケレバ政府ハドウ云フ御考ヲ持ッテ居ルカ、之ニ付テモ御考ノ有ル所ヲ御話ヲ願ヒタイト思ヒマス

○山崎政府委員 横山君ノ國民全體ノ國旗掲揚ニ關スル御意見ハ寔ニ御尤デゴザイマス、從來横山君ノ仰セノ通り、動モスレバ社會一般ガ怠リ勝チニナッテ居ルト云フ事實ハ、私モ遺憾ナガラ之ヲ認メルノデアリマス、此狀態ガ改善セラレマシテ、横山君ノ仰セノ通り、國ヲ舉ゲテ、國民的國家的ノ御祝ノ意ヲ表スルト云フコトニ進ムコトハ、當局モ非常ニ希望致ス點デアリマス、此點ニ付テハ横山君ノ同様ノ御趣旨カラデアラウト思ヒマスガ、或ハ横山君モ御關係デアルカモ知レマセヌガ、近來ニナリマシテ國旗掲揚ニ關スル一ツノ國民的運動ヲ起サウト云フヤウナ企テモ有識者ノ間ニ持上リツ、アルヤウナ狀態デアリマス、斯様ナ運動ガ社會ノ方面ニ於テ起リマスルコトハ洵ニ結構ノ事デアルト考ヘテ居リマス、尙ホ文部省ノ力ヲ致シマシテ直ニ社會全體ヲドウスルト云フコトハ、是ハ文部省ノ力ヲ超エタコトニナリマスルケレドモ、併ナガラ學校教育ノ機關ヲ利用シ、或ハ社會教育ノ機關ヲ利用致シマシテ、其事ニ努力ヲ致シマシタナラバ、相當ノ效果ヲ舉ゲ得ルコトデアラウト期待ヲ致シテ居リマス、今後ニ於キマシテハ、民間ノ運動ト相俟チマシテ、社會教育、學校教育ニ於テ、横山君ノ御趣旨ト同様ノ結果ヲ見マシヤウニ、政府ト致シマシテモ出來得ル限り努力ヲ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○横山委員 教化團體ノ問題ニ付テ私御意見ヲ承リタイト思フコトガアリマスガ、是ハ決シテ全體ガ惡イト云フ意味デハアリマセヌガ、吾々ノ知レル範圍ニ於テ、教化團體ナルモノガ其主腦者、其支配者ノ生活ノ爲ニヤッテ居ルモノガ澤山アルヤウデス、表面教化團體ト云フ美名ヲ持ッテ居ルモノデアリマ

スルカラ、ソレヲ正面カラ攻撃スルコトハ好ミマセヌケレドモ、實際ニ於テ社會公共ノ爲ニ盡スト云フコトノ美名ノ下ニ隠レテ、サウシテ年々歳々御下賜金ヲ頂戴致シテ居ルト云フモノガ、其數トカ程度ハ別ト致シマシテアルノデアリマス、是ハ一段ノ監督ヲ私ハ希望スルノデアリマスガ、ドウモ此事情ガ前年幾何ノ金額ヲ下ゲタカラ今年モ何ボ前ニ例ガアルカラ今年モ斯ウト云フコトダケデアツテ、此點私ハ甚ダ遺憾ニ存ズルモノガアリマスガ、全國ニ互ル幾百ノ教化團體ノコトデアリマスカラ、御手モ及バヌデアラウト思ヒマスガ、是ハ單ニ地方長官其他ノ者ノ間接ノ報告ニ依テ、政府ガ唯先例ヲ逐フテ、習慣ニ依テ御遣リニナルト云フガ如キ監督ノ方法デハ、吾々ハ満足スルコトハ出來ナイカラ、更ニ御考慮ヲ願ヒタイ、ソレカラ是ハ教化團體ニ這入ルカドウカ知リマセヌガ、先日モ一寸申上ゲタ恩賜財團濟生會ノ内容及歴史現狀、之ニ對シドウ云フ方法デ政府ハ監督ヲセラレテ居ルカ存ジマセヌガ、實ニ是ハ遺憾千萬ナ話デアリマス、恐ラク濟生會ハ大抵滿員デアリマセウガ、其收容シ之ニ療養ヲ與ヘルト云フ方針ガ私ニハ分ラナイ、或ハ名譽職デアルトカ或ハ地方ノ有力者デアルトカ云フ者ノ運動紹介ニ依ルニアラズンバ、到底今日ハ此恩賜財團ノ惠澤ニ浴スルコトハ出來ヌコトニナツテ居ル、更ニ具體的ニ

其弊害ヲ申上ゲルト、相當ノ家庭ヲ持ッテ居ル者ハ無論濟生會ノ御厄介ニハナラヌデアリマス、濟生會ノ御厄介ニナルヤウナ者ハ自由労働者デアルトカ又一軒ノ家ヲ持ッテ居ッテモ適當ナ醫者ニ療養ヲ依頼スルコトガ出來ナイ、ソレカラ賣藥ヲ買フコトガ出來ヌト云フ悲惨ナ生活ヲ爲シテ居ル者デアルトハ勿論デアリマス、而シテサウ云フ家庭ノ者、サウ云フ人ハ、ガ手續ヲ存ジマセヌカラ役場ヘ參ルト、役場ハ午後四時以後ハ受付ケナイ、馳セテ交番ヘ行ケバ、ソレハ管轄ガ違フト云フガ如クニシテ、自動車ニ乗ルコトモ出來ズ俾ニ乗ルコトモ出來ヌカラ、數時間彼方ヘ行ッテハ手續ヲ聞キ、此方ヘ行ッテハ管轄ヲ聞イテ居ル中ニ病人ハ死ンデシマウ、手續ト管轄ガ分ッテ恩賜財團濟生會ノ溫キ手ニ收メラレタ時分ニハ、其病氣ノ本人ハ冷クナツテ居ル、此頃甚シイ風評ヲ聞キマセヌガ、斯ウ云フ事柄ハ絶滅ニナツタ譯デハナイ、其處デ口ノ惡イ者ハ貧乏人ヲ御救濟ニナルノダケレドモ、生キテ居ル内ニハ御厄介ニナルコトハ出來ナイ、斯ウ云フヤウナ怨言ヲ發スルニ至ツタト云フコトハ、實ニ御聖旨ノ在所、大御心ノ在所ニ照シテ見テモ、洵ニ遺憾千萬デアツテ、皇室ノ御手許金迄下ッテ居リ、天下ノ大富豪ガ寄附ヲ爲シテ造ッテ居ル此一種ノ最モ溫イ機關ガ反對ニ國民ノ怨府トナリ反對ニ土地ノ有力者、名譽職等ニ緣故

アルニアラザレバ、此惠澤ニ浴スルコトガ出來ヌト云フヤウナ現狀ニ置カレテアルコトハ、私洵ニ残念ニ思ヒマス、全國ノ教化團體ナルモノ、又救濟團體ナルモノガ總テ斯ノ如キモノデアルトハ申シマセヌガ、何トシテモ此恩賜財團濟生會ト云フモノハ代表的ノモノデアアル、殊ニ是ガ歴史ハ幸徳秋水一派ノ大逆事件ナルモノガ起ッテ、之ニ對スル一ツノ政策トシテ時ノ政府ガ考慮シタ問題デアリマシテ、洵ニ形式ニ於テモ其精神ノ在所、吾々恩賜團體濟生會ナルモノ、出現ニ對シテハ多數國民ト共ニ非常ナ喜ヲ以テ迎ヘタ者デアリマスケレドモ、豫期ノ如キ成果ヲ舉ゲルコトガ出來ナイデ、寧ロ或ル程度ノ國民ノ恨ヲ買ッテ居ルト云フガ如キ現象ヲ呈シタコトハ、私洵ニ遺憾ニ存ジマスガ、是等ニ付キマシテモ御意見ガアレバ承リタイシ、又御調査ノ上デ相當監督ヲシテ貫ヒタイト云フコトノ希望ヲ持ッテ居リマス

○山崎政府委員 教化團ノ事ニ對シマシテハ、横山君ノ仰セノ通りデアリマス、十ガ十悉ク健全ナ立派ナモノバカリト申スコトハ困難デゴザイマセウ、此點ニ付テハ、來年度ニ於テ助成ヲ致シマス場合ニハ、相當慎重ナ且又嚴密ナル調査ヲ試ミル考デアリマス

○井坂委員長 御諮リヲ致シマス、只今衛生局長ノ山田君ガ來ラレマシタガ、便宜政府委員トシテ御答辯ヲ願ッテ

モ宜シウゴザイマスカ

〔結構デス〕ト呼フ者アリ

○山田内務省衛生局長 只今濟生會ノコトニ付テ御質問ガオアリニナツタサウデアリマスガ、御質問ヲ伺ッテ居リマセヌド、若シ御答致スコトガ御質問ニ合ハヌコトガアリマシタラ、ドウゾ御間返シヲ願ヒマス、只今濟生會ノ診療手續ガ甚ダ面倒デアツテ、折角救療ヲシテ居ルニ拘ラズ效果ガ舉ラヌト云フ虞ガアリハセヌカト云フ御質問デアツタト承リマシタ、其點ニ付テ御質問申上ゲテ置キマス、或ハ御質問ノヤウナ事ガアリハセヌカト實ハ心配ハ致シテ居ルノデアリマス、ソレハドウ云フ譯デアルカト申シマスレバ、濟生會ハ原則トシテ無料デ診療致シテ居リマス、一部分安ク中産階級ノ人ヲ診ルト云フコトモ致シテ居リマスガ、多クハ無料デ致シテ居リマス、或ハ普通ノ藥價ナリ診察料ナリヲ拂フ能力ノ無イ者ノ爲ニ安ク致シテ居ルノデアリマス、ソレニ付キマシテハ資格ヲ決メテ一定ノ收入以下ノ人ニ對シテハ無料、又ソレ以上ノ人ニハ安ク診ルト云フ風ニ致シマシテ、治療券ヲ警察ナリ區役所ナリ方面委員ナリカラ貰ッテ來タ人ニ對シテ診療スル、斯ウ云フ風ニシテ居ルノデアリマス、但シ急グ場合トカ、或ハサウ云フ手續ヲ知ラヌデ診療券ナシデ來タ人ニハ、診療券ヲ貰ッテ來ナケレバ診テヤラヌト云フコトデハ氣ノ毒デスカ

ラ、サウ云フ人ニ對シテハ一回限ハ大體診テヤルガ、今度來ル時ニハ正當ノ手續ヲシテ來ナイト診テ上ゲラレナイト云フヤウナコトニ手續ガナツテ居ルノデアリマス、誰デモ來サヘスレバ診ルト云フコトニ付テハ、着物トカ身装デ凡ソ判斷ラシ、又施療病院ニハサウ金ノ有ル人ハ行クマイト云フコトデ手續ヲヤカマシク言ハナイデ扱ッテ居ル病院モアリマスガ、濟生會デハ今申シマシヤウナコトニナツテ居リマス、場合ニ依レバ二度目ニハ治療券ヲ持ッテ來ナケレバ診ナイト云フコトガ起ッテ苦情ガ起ラヌトモ限ラヌト心配シテ居リマスガ、併シ今ノヤウナ遣方ハ一方カラ申シマス、醫師ノ側カラヤカマシク希望シテ居ルノデアリマス、安ク診ルト云フコトハ、普通ノ藥價診察料ガ拂ヘナイ人ニ對シテハ洵ニ結構デアルケレドモ、普通ノ藥價診察料ノ拂ヘル人ニ對シテ安ク診ル、所謂輕費診療トカ、實費診療トカ云フコトヲサレテハ醫者ガ困ル、殊ニ附近ノ醫者ハ立行カヌカラ、安ク診ルトカ無代診療ノハ、相當考ヘテ、其處デナケレバ診テ貰ヘヌ人ニ限ッテ貰ヒタイト云フ希望ガ痛切ニアルノデアリマス、是ハ一方カラ考ヘレバ、尤ナコトデモアリマスシ、誰デモ來サヘスレバ診ルト云フコトモ、此救療事業ノ健全ナル發達ヲ圖リ、又其救療事業ニ直接當ッテ居ル醫師ト餘リ酷イ衝突ナドモシナイデ工合好ク

行クト云フ上カラハ多少考ヘナケレバナラヌ事柄デアルト思ヒマス、私共ト致シマシテハ濟生會ノコトハ唯監督ノ立場ニ在ルダケデアリマシテ、御存知ノ通り經營者ハ濟生會自身デアリマシテ、監督ニ付テハ成タケ便宜ヲ圖ルヤウニ、併シ何デモ構ハズ診ルト云フコトニ付テハ、是ハ醫者ノ希望ニ對シテモ多少考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、サウ云フ譯デ多少手續ノ問題モアリマスガ、モウ一ツニハ、何分ニモ收容人員ガ少イノデ、入院患者ナドハ殆ド常ニ滿員デアリマス、他ノ病院デモ同様デアリマセウガ、病院ヘ這入ッテ治療ヲ受ケルニハ餘程金ガ掛ルカラ、施療病院ニ這入リタイト云フ希望ガ多イノデゴザイマスガ、其希望ニ對シテ設備ガ不十分デアリマシテ、常ニ滿員デ空クノヲ待タナケレバナラヌ、容易ニ這入ラレヌト云フヤウナ事情モアツテ、是ガ一般ノ人ノ満足ヲ買フコトノ出來ナイ原因ノ一ツニナツテ居ルト考ヘマス、御質問ニ付キマシテ私ノ存ジテ居リマスコトハソソナコトデアリマス、御質問ニ答ガ當ッテ居リマスカ居リマセヌカ、先程モ申上ゲマシヤウニ御質問ヲ伺ッテ居ラナカッタノデアリマスカラ、若シ當ッテ居リマセナシタラバ、ドウゾ更ニ御質問ヲ願ヒマス、○横山委員 大體サウ云フ答辯ダラウト思ッテ居ッタノデスガ、此恩賜財團濟生會ノ設立趣旨ニ照シテモ、是ハ東京ト

カ大阪等ニ最モ大ナル設備ヲシナケレバナラヌコトハ勿論デアリマスガ、是ハ各府縣ニ其費用ヲ割當テ、相當救濟事業ヲヤルコトニナツテ居リマスガ、ソレハ凡ソ今日デハ六大都市ヲ除イタ以外ノ各縣ニ於テハドウ云フ程度ニ、如何ナルコトヲヤッテ居ラレマスカ、○山田内務省衛生局長 御答申上ゲマスガ、是ハ多クノ府縣デハ治療券ナルモノヲ發行シマシテ、之ヲ警察トカ役場トカ方面委員トカ云フ所ニ預ケテ置キマシテ、濟生會ノ診療ヲ受ケタイト云フ人ハ、サウ云フ所ニ行ッテソレヲ貰ッテ參リマシテ、ソレヲ持ッテ何處デモ宜イノデアリマスガ、開業醫ノ所ニ行ッテ診テ貰ヒ、サウシテ其治療券ヲ置イテ來ル、サウスルト其治療券ニ對シテ濟生會カラ治療券一枚ニ付テ幾ラ——是ハ普通ノ藥價ヨリモ安イモノヲ豫メ醫師ト協定致シマシテ、治療券一枚ニ付テ幾ラカラ支拂ヒマス、サウ云フ治療券ヲ發行スルノガ一番多ウゴザイマス、濟生會直營ノ診療所ヲ持ッテ居ル所ガ矢張段々アルヤウデアリマス、北海道ノ函館、九州ノ福岡、其他二三ノ都會ニハ濟生會直營ノ診療所ガアリマシテ、其處デ診察治療ヲスルト云フコトニナツテ居ルノモアリマス、ソレハ併シ濟生會ノ資金ノ中デモ一部分、ホンノ僅シカ使ハレナイコトニナツテ居リマス、多數ノ人ヲ相手ニスル遣方デアリマスカラ、今ノ治療券ヲ持ッテ其治

療券ニ依テ便宜ノ醫者ニ就テ診テ貰フト云フノガ今日ノ所デハ一番多イヤウニ思ヒマス、○横山委員 其點ハソレデ宜シウゴザイマス、尙ホ文部次官ニ此場合承ッテ置キマスガ、此小學校教員ノ生活ニ關スル問題、是ハ色ミノコトヲ申上ゲレバ長クナリマスカラ簡單ニ申上ゲマスガ、全國ノ事ヲ私ハ存ジマセヌデスカラ、手近イ東京市ニ於ケル小學校教員ノ現狀カラ申シマスルト、文部次官ハ能ク御承知デゴザイマセウガ、今小學校ノ教員ガ日本橋區方面ノ小學校教員タルコトハ非常ナ競争デ希望者ガ多イノデアリマス、其由テ來タル原因ハ私ハ申シマセヌ、吾々ハ全部ノ小學校教員ニ對シテ相當ノ尊敬ヲ拂ヒタイモノデアリマスカラ、其事ノ具體的ノ事實ハ申シマセヌガ、之ガ總テノ小學校教員ノ生活問題ノ現狀ヲ物語ッテ居ルト思ヒマス、其俸給ノ如キモノモ一般ノ俸給生活者ニ比シテ相當ノ閱歷ト學問ヲ持ッテ居ル人デアッテモ、相當ノ人格ヲ持ッテ居ル人デアッテモ、何トナク少額ニ失シテ居リマス、俸給額ハ決シテ裕カデハアリマセヌ、殊ニ東京市ニ於テハ小學校教員ノ一番困ッテ居ル問題ハ住宅問題デアリマス、吾々ノ知レル範圍ニ於テ三ツヤ四ツノ例デハ全般ヲ律スル譯ニハ參リマセヌカラ、是ハ必シモ全部サウデアルト申スノデハアリマセヌガ、大概俸給ノ二分ノ一迄行カヌ迄モ、

二分ノ一ニ近イ家賃ヲ拂ハナケレバ殆
ド人間ノ住ムヤウナ家ハナイノデアリ
マス、ソコデ此問題ニ關シテハ非常ニ
小學校教員ハ苦シデ居ル、是ハ單リ小
學校教員ノミデハナク、總テノ俸給生
活者ガ一律一體ニ苦シデ居ル點デア
ル、殊ニ今日ハ思想問題ニ關シ教育問
題ニ關スル所カラ、小學校教員ノ生活
問題ヲ聞カントスル爲ニ私ハ言フノデ
アリマスガ、之ニ對シテドウ云フ考ヲ
持ッテ居ラレカ、此頃デハ東京市ニ於
テハ震災前後四十萬五十萬六十萬圓ト
云フ豫算ヲ以テ東京市ガ殆ド全額ノ補
助ヲシテ小學校ノ校舍ノ建築ヲシテ來
テ居ル、ソレガ多クハ——多クハデナ
イ殆ド全部鐵筋混凝土ノ極メテ廣壯ナ
モノデス、輪奐ノ美ヲ盡シテ居ルト云
ヘバ餘リ誇大ニ失スルカモ知リマセヌ
ガ、可ナリ立派ナモノデアリマス、望遠
鏡モ備ッテ居レバ暖房裝置モ備ッテ居ル、
蓄音機モアレバ樂器モアル、實ニ立派
ナ學校ガ出來テ居ル、マア此先ノ輻輳
小學校ノ如キニ行ッテ御覽ニナルト分
リマスガ、殆ド是ハ貴族ノ人ノ住ムト
云ッタヤウナ立派ナ學校デアリマス、是
ハ國民教育向上發展ノ上ニ於テ決シテ
惡イトハ申シマセヌ、而シテ其學校ニ
於テ生徒ヲ支配シ、生徒ニ對シ教授ノ
任ニ當ッテ居ル所ノ先生ノ衣服並ニ生
活問題ハドウカト云フト、是ハ洵ニ氣
ノ毒ナ次第デアリマス、デアルカラシテ
小學校ノ生徒ガ小學校ノ先生ノ住居ヲ

知ッテ居リマス、自然此處ニ彼ノ純真
ナル兒童ノ頭ニマア輕蔑ト云フ程度ニ
至ラヌ迄モ何トナク面白カラヌ感情ガ
出テ來ルコトハ勿論デアリマス、ソコ
デ爭ウテ日本橋區ニ轉職ヲ致シタイト
云フノハ、益暮ノ或ル問題ダケデモ裕
ニ生活ヲ維持シテ行クコトガ出來ル、
其他ノ處デハサウ云フ譯ニ行カナイト
云フコトデ、マア全國ノ事ハ私ハ存ジ
マセヌガ、少クトモ東京市並ニ隣接郡
村ニ於ケル小學校教員ノ生活狀態ト云
フモノハ洵ニ氣ノ毒ナ狀態デ、殊ニ其
家屋ナドガ洵ニ氣ノ毒ナ狀態デアリマ
ス、デ四十萬、五十萬圓ノ鐵筋混凝土ノ
學校ヲ建テサウシテ、人格アリ學識ア
ル小學校ノ教員ヲ御賴シテアリマスケ
レドモ、小學校ノ生徒ガ一度其生活ノ
現狀ヲ見ルト少クトモ小學校ノ先生諸
子ニ對シテ多クノ尊敬ヲ拂フ意思ガ
多少動搖シハセヌカト思ヒマス、シタ
ト言ヒタイガ、其處迄ハ私ハ申シマセ
ヌ、之ニ關シテハ俸給以外ニ相當ナル
援助ノ方法ヲ講ゼネバナラヌ事柄ハ、
是ハ苟モ小學校ニ一人二人三人ノ子
供ヲヤッテ居ル父兄ハ皆頭ニ之ヲ持ッテ
居ルノデアリマス、是ハ固ヨリ國家問
題トシテモ重大ナ問題デアリマスル
カラ、如何トモスルコトガ出來ヌ狀
態ニナッテ居リマスガ、此問題ニ付テ
今日迄ハ仕方ガナイトシテモ、今日以
後國家トシテ相當ナ施設ガ要ルト思フ
ノデス、其點ハドウデアリマスカ、ソレ

カラ尙ホ此小學校ノ先生ノ地位ノ不安
固ニ關スル問題、法律ノ上カラ申シマ
スルト、小學校ハ府縣知事ノ管轄ニ屬
シ、小學校教員ノ任免黜陟ハ恐ラク東
京府知事ガヤルコトニナッテ居ルト思
ヒマスガ、實際ハ區長ガ之ヲ市長ニ上
申シ、市長ガ之ヲ府知事ニ上申シ、ソコ
デ決定ヲスル形式ヲ執ッテ居ル、所ガ其
實際ハ此小學校教員ノ任免ト云フモノ
ハ、各區ニ於ケル勢力者有志者、モット
露骨ニ言ヘバ政黨政派ノ力ヲ背景ニ持ッ
テ居ル名譽職ナル者ノ一顰一笑ニ依テ
其地位ガ動搖致シテ居ルコトハ、大抵
ハ御聞ニナッテ居ルト思ヒマス、餘計ハ
御聞ニナラヌカ知ラヌケレドモ、アル
コトハ事實デアリマス、ソコデ必ズ小
學校教員ノ背後ニハ、アノ人ハドノ名
譽職ヲ知ッテ居ル、アノ人ハドノ政黨ニ
緣故ガアリ、アノ人ハ何處ノ富豪ト密
接ノ關係ガ有ル云トフヤウナコトノ、其
關係ニ依テ初メテ僅ニ其地位ヲ得テ居
ル——其地位ヲ守ッテ居ル、全部デハナ
イニ致シマシテモ、少クトモ校長デア
ルトカ次席訓導トカハ、其處迄行カナ
ケレバ二年三年四年ト云フ長イ時間其
位置ヲ維持スルコトガ出來ナイ、ソコ
デ學校内ニ於ケル暗闘ガ始終アリマス
ガ、學校ノ教員ガ常ニ此名譽職トカ政
黨政派ト云フヤウナモノ、背景ニ依テ
進退ヲ致シテ居ルト云フヤウナコトデ
ハ、私ハ教員ガ教員トシテノ完全ノ目
的ヲ達スルコトガ出來ナイト思フ、勢

力アル者ノ家庭ノ兒童モ來ルシ、全然
勢力ノナイ所ノ家庭ノ兒童モ來ル、富
豪ノ兒童ガ來ルト同時ニ、所謂貧民階
級ノ家庭ノ兒童モ來ルト云フ場合ニ、
洵ニ吾トシテ憂慮ニ堪ヘザル事柄ガ
行ハレルヤウナ疑ガ起ッテ來ルト云フ
コトハ已ムヲ得ヌコトデアリマス、此
小學校ノ教員ノ地位ヲ安固ニスルコト
ニ付テ、文部當局ハドウ御考ニナッテ居
リマスカ、此間モ小石川ノ師範學校ニ
於ケル女生徒ノ同盟罷業、吾々ノ如キ
者ガ之ニ關係スルコトハ好ミマセヌカ
ラ、私ハ父兄デハアリマスケレドモ、之
ニ關與スルコトヲ避ケテ居リマシタガ、
色々各方面カラ言ハレルノデ、一遍ダ
ケハ行ッテ見マシタ、所ガ文部次官ノ方、
或ハ文部大臣ノ方ニハ、ドウ云フ報告
ガ行ッテ居ルカ知リマセヌガ、實ニ醜體
ヲ極メタモノデアル、決シテ校長ガ惡
イトカ、善イトカ、父兄ガ惡イトカ、善
イトカ云フヤウナコトヲ言フノデハナ
イガ、宣傳費ノ一部ハ校長ガ出シテ居
ルト云フ風評ガアル、又反對ヲシテ居
ル學校ノ先生ハ何處ニ運動ニ行ッタト
云フ風デ、行ッテ見マスト宛然政黨政派
ノ爭見タヤウナコトヲヤッテ居ル、政友
會ノ諸君モ行カレ、バ、民政黨ノ者モ
行ッテ居ル、又無產政黨ノ人モ行ッテ居
レバ、社會主義ノ人モ來テ居ル、私ハ
行ッテ見テ驚イタ、斯ウ云フ學校ニ自分
ノ娘ヲ託シテ置ケバ余程立派ナ教育ヲ
シテ呉レルモノト思ウテ居リマシタ所

ガ、演説ヲ聴イテ見マス、社會主義ヲ
持ッテ奥サンガ堂々ト子供ノ進退ニ關
スル事柄ニ對シテ議論ヲ述ベテ居ル、
子供ノ行動ヲ是認シテ居ル、オ前ハ信
念ヲ以テ休ムカ、信念ヲ以テヤルカ、ソ
レデ退校ヲ命ゼラレテモヤルカト言ッ
タラ、ソレデモヤルト申シマシタカラ、
私ハ子供ヲ信ズルノ厚キ子供ノ行動ヲ
是認シテ居リマス、斯ウ云フ演説ヲシ
テ居リマスカラ、聞イテ見タ所ガ、モウ
立派ナ社會主義者デアル、私ハ慄然ト
シテ膚ニ粟ヲ生ズルコトヲ禁ジ得ナカッ
タ、一日モ速ニアンナ學校カラ退校サ
セヤウト思ヒマシタガ、直グヤル譯ニ
モ行カヌカラ、明日カラ行ケト叱付ケ
テヤッテハ居リマスガ、其原因ヲ尋ネテ
見マス、矢張學校ノ教員ニ、ドノ人ノ
背後ニハ誰ガ居ルト云フコトハ私ハ知
ラヌカラ申シマセヌガ、校長側ニハ校長
側トシテ、ソレカラ又反對教員ノ側ニハ
反對教員ノ側トシテモ相當ノ者ガ、クッ付
イテ居ルノデアリマス、ソコデ勢力爭ヲ
シテ居ル、文部次官ノ所ニ彈劾文ヲ持ッ
テ行クト云フコトデアルカラ、私ハ留
メタ、ソナコトヲシナクテモ文部當
局ノ考慮ヲ煩スト云フ位ニシタラドウ
カト云フコトヲ申シテ漸クソレデ濟ン
ダヤウデアリマスガ、ドウモア、云フ
所デ政治運動ヲヤッテ見セラレテ、ソレ
ヲ直接學校ノ先生達が見テ居ッテ、陰ニ
陽ニ之ニ關係シテ居ルト云フヤウナコ
トデハ、ドウモ男ノ子ナラマダ宜シウ

ゴザイマスガ、嫁ニヤラナケレバナラ
ナイ娘ニ、ア、云フコトヲ教ヘラレテ
ハ甚ダ吾々ハ迷惑千萬ニ考ヘテ居ル、
ソレデ御承知ノヤウニ天長節デアリマ
シタカ、祭日デアリマシタカ、學校ニ
集ッテ先生ノ訓話ヲ聽クトカ、講演ヲ聽
クコトニナッテ居リマシタガ、一部ノ生
徒ハ同盟シテ學校ヘ行カナイデ、二重
橋前ヘ集ッテ、彼處デ萬歳ヲ唱ヘテ歸ッ
タ、ドウモ甚ダ慚愧ノ至デアルガ、私共
ノ娘モ其處ヘ行ッタノデハナイカト思
フ、サウ云フヤウナコトノ出來テ來ル
原因ヲ探ッテ見ルト、學校ノ先生ニ獨立
ノ地位ガナイ、背後ニ色々ナ者ガ在ッテ、
ソコデ或程度ノ勢力爭ガ學校ニ現レテ
來ル、ソコデ爆發スル、斯ウ云フコトヲ
私ハ認メテ歸ッテ、ソレキリ參リマセヌ
ガ、是等モ餘程御考ヲ願ッテ、小學校ノ
教員ト云フモノハサウ云フコトヲシナ
クテモ、俸給ハ尠クテモ安心シテ小學
校ノ教員タルノ職責ニ殉ズルコトガ出
來ルヤウニ、私ハ地位ノ安固ヲ與ヘナ
ケレバナラヌト云フコトヲ如實ニ感じ
タ者デアリマス、既往ニ於テサウ云フ
コトハ理窟ノ上デハ考ヘテ居リマシタ
ケレドモ、經驗シタコトガアリマセヌ、
此頃サウ云フ事例ヲ澤山眼ノ前ニ突付
ケラレテ甚ダ遺憾ニ思ウテ居ル者デアリ
マスガ、是等モ結局勅語ノ普及トカ、國
體觀念ノ涵養トカ云フコトニ私ハ影響
シテ來ルト考ヘル、即チ小學校ノ教員
ノ生活問題ト、其地位ノ保障ニ關シテ

如何ナル御考ヲ持ッテ居ラレルカト云
フコトヲ承リタイ
○山崎政府委員 小學校教員ノ待遇問
題カラ御答ヲ申上ゲマスガ、或時代ニ
比較致シマスレバ、今日ノ小學校教員
ノ待遇ハ餘程改善サレタモノト考ヘテ
居リマス、無論地方ニ依リマシテハ甚
ダ不十分ナ所モアリ、又理想カラ申シ
マスレバ今少シク待遇ノ向上ト云フコ
トヲ希望致シマスガ、併ナガラ是ハ矢
張一般社會ノ狀勢トモ順應シテ考ヘナ
ケレバナリマセヌコトデアリマシテ、
文部省ノ力ヲ以テ直ニ教員ノ待遇ヲ非
常ニ向上シテヤルト云フヤウナコトモ
實行ハ甚ダ困難ナコトデアリマス、併シ
之ヲ具體的ニ申上ゲテ見マス云フト、
今日私共ノ見マス所デハ師範學校卒業
生ノ初任給ハ十分デアラウト思ヒマス、
唯困ルコトニハ年數ヲ經ルニ隨テ段々
ト俸給ヲ増シテ行クト云フ餘地ガ非
常ニ尠ナイ、是ガモウ少シ其昇給ガ割
合ニ早ク、又高イ所迄昇給ガ出來ルヤ
ウニ是非一ツ導キタイト云フ希望ヲ
持ッテ居リマス、ソレカラ横山君ノ御話
ノ通り住宅ノ問題ハ、是ハ大都會ニ於
テハ全ク横山君ノ仰セノ通りデアリマ
ス、目下ノ施設トシマシテハ御承知ノ
通り年功加俸資金トシテ政府カラ二
百萬圓出シマシテ、是ト同額ヲ府縣
デ支出ヲ致ス義務ヲ負フテ居リマス、
其府縣カラ支出スル二百萬圓ノ内ノ一
部分ヲ割キマシテ、教員ノ住宅ノ建設、

或ハ住宅料ノ支給ト云フ途モ採ッテ居
リマスガ、是ガ實ハ今日十分デアリマ
セヌ、此方ハ財政ノ事情ガ許シマスレ
バ成ベク國庫ノ支出額ノ増加ヲ致シタ
イ、府縣ノ支出額モ從ッテ増加スルヤウ
ニ致シタイト云フコトヲ希望致シテ居
リマス、併ナガラ恐ラク東京、大阪ト云
フヤウナ大都會ニ於テハ必要ニ應ズル
程度ニ國庫ノ支出金ヲ増スコトハ、中々
是ハ容易ナコトデナカラウト思ヒマ
スカラ、斯様ナコトニ付テハ成ルベク
地方自治體ニ於テ、十分ノ御奮發ヲ
私共ハ願ヒタイノデアリマス、ソレ
カラ第二ノ教員ノ地位ノ保障ノ問題デ
アリマスガ、此點ニ付キマシテハ横山
君ノ仰セノヤウナ弊ガ、其處、此處ニア
リマスコトハ私共モ知ラザルコトデハ
アリマセヌ、此點ニ於テハ文部省トシ
マシテモ絶エズ注意ヲ拂ヒ、又地方長
官ヲ督勵ヲ致シテ居ル點デアリマス
ガ、奈何セン大都會ニ於テハ色々地方
ノ有力ナ方々ガ學校ノ世話ヲスルト云
フ好意カラ出テ居ルコトハ、ハ思ヒマス
ガ、横山君仰セノヤウナ情弊モ無キニ
シモ非ラズト思フノデアリマス、是ハ
政府或ハ官署ニ於テモ注意シナケレバ
ナリマセヌガ、社會ニ於テモモウ少シ
此點ニ付テハ御反省ヲ希望致スノデア
リマス、横山君ナドハ幸ニ東京市ノコト
ニハ非常ニ御關係ガアルノデアリマス
カラ、ドウカ夫等ノ點ニ付キマシテハ
個人トシテ、又社會ノ公人トシテ御助

力ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、ソレカラ竹早町ノ女子師範學校ニ付テ御話ガアリマシタガ、之ニ付テ横山君ハ極メテ公正ナ御態度ヲ御執リ下サッタコトハ、私モ間接ニ承知ヲ致シテ居リマス、學校デ色々ナ騒ガ起リマスコトハ誠ニ困ッタコトデアリマス、是ニハ色々ナ原因カラ起ルノデアリマシテ、一概ニハ申シ惡イノデアリマスガ、此騒ガ起リマシタ場合ニ、父兄側ニ於テモ成ルベク一ツ冷靜ニ願ヒタイ、是ハドウカシマスト學校ノ色々ノ騒ギヲ益々紛糾セシメル禍因トナルコトガ、女子師範ノ問題デハアリマセヌガ、全國ノ學校騒動ノ場合ニハ其例少カラズデアリマス、是モ父兄ノ身ニナリマスルト、子供ノ言フコトヲ直チニ御信ジニナルノモ、是ハ親トシテハ無理カラヌコトデアリマスガ、ソレガ遂ニ父兄ノ感情ヲ激セシメ、感情ノ激スル所、形勢ヲ益々混亂セシメルト云フコトガ、往々ニシテアルコトデアリマス、此點ハ學校當局モ注意シナケレバナリマセヌシ、又生徒ノ父兄ノ側ニ於テモ、ア、云フ場合ニ於テハ成ベク冷靜ニ御判斷ヲ願フコトヲ、私共ハ切ニ心カラ希望ヲシテ居ル點デアリマス

○横山委員 時間ガアリマセヌカラ簡單ニモウ一、二御伺致シマス、ソレハ學校ノ校舍ノ問題ニ付テ政府ニ承リタイコトガアリマス、先刻申上ゲタヤウニ、東京市ニ於ケル小學校ハ、是迄ハ

歩合ニ依テ補給ヲ致シテ居ッタノデスガ、此頃ハ殆ド全額補給ニナツテ居リマス、四十萬、五十萬、六十萬ト云フ多額ノ費用ヲ要スル學校ガ、モウ各區ニ易々ト出來ルコトニナツテ居リマス、到處實ニ堂々タル校舍ガ出來テ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、之ニ關シテ吾々實際上經驗シタコトガアリマス、四十萬、五十萬ト云フ新式ノ學校ガ出來テ、マア有ユル文明的ノ設備ガシテアル、冬ハ冬ニ對スル設備、夏ハ夏ニ對スル設備、實ニ至レリ盡セリ、是ハ國民教育ノ上カラ見テ決シテ惡イトハ申シマセヌ、唯此反面ニ起ツタ弊害ハ、殊ニ大正十二年ノ震災ニ掛ッタ方面ニ於テ其甚シキヲ見ル、震災ニ掛ラヌ方面デモ其傾向ガアラウト思ヒマスガ、震災ニ依テ殆ド原始時代ノ國民ト雖モ斯ノ如キ生活ハスマイト云フ程ニ穢イ「バラック」ヲ建テ、住ンデ居ッタ、今ハ少シ綺麗ニナリマシタ、サウスルト何ニモ知ラヌ子供ガ、朝學校ニ行ツタ家ニ歸ツテ見ルト云フト、家ハ殆ド人間トシテ住ムニ堪ヘヌ程度ノ陋屋デアアル、四六時中茅屋ニ住ンデ居ツテ、一旦學校ヘ行ツテ見ルト云フト、有ユル文明的ノ設備ガ出來テ居ル、夏ハ涼シクテ冬ハ暖カイ、デアアルカラ吾々ノ家ノ子供ハ「バラック」ノ時代ニ、朝ノ授業ノ始マル二時間位前カラ學校ヘ飛出シテ行ツテ、學校デ遊ンデ居ツテ歸ツテ來ナイ、是ハ吾々ノ家ノ家庭ノ子供ダケデアリマ

セヌ、皆サウデアアル、斯ノ加キ現象ガ起ツテ來ル原因ヲ尋テ見ルト、家ガ穢クテ學校ガ立派ダカラ學校ニ居ル、是ハ洵ニ結構デスケレドモ、其反面ニ於テ家庭忌避ノ思想ガ起リ、父兄ニ對スル輕侮ノ念ガ起ツテ來ル、是ハドウモ如何トモスベカラザル反面ノ弊害デアルト思フ、デアリマスカラ、立派ナ學校ガ出來ルト云フコトハ洵ニ結構デアリマスガ、私ハ今ノ如キ學校ハ、今日ノ民度ニ照シテ餘リニ設備ガ龐大ニ過ギハセヌカ、餘リニ多額ノ費用ヲ費シハセヌカ、今日地方費ノ膨脹ニ苦シンデ居ル場合、之ニ對シテ私ハ相當ナル制限ヲ加ヘルノ必要ガアルノデハナイカ、如何ニ國民教育ガ進ンデモ、其生徒ニ家庭ヲ忌避シ、父兄ヲ侮蔑スルガ如キ思想ガ起ルト云フコトハ、洵ニ遺憾デアルト思フ、之ニ對スルコトヲ承ツテ置キタイ、尙ホ進ンデ之ニ關聯シテ承リタイノハ、此間モ此方面ニ起ツテ、吾々情意ヲ盡シテ意見ヲ申シ出タノデスガ、此四十萬、五十萬ヲ費シタ學校ニ幼稚園ヲ作ルノデス、幼稚園ノ生徒ハ月謝ハドノ位カト云フト、恐ラク三圓、五圓ト云フ、普通ノ小學校ノ子供ハ二十錢、三十錢ノ月謝モ拂ヘヌ、又或ル家デハ辨當ヲ持ツテ來ルノニ困ルト云フ子供モ居ル、而シテ此立派ナ新設ノ學校ノ内ニ造ラヌ迄モ、其學校ノ附近ニ三圓、五圓、六圓、七圓ト云フガ如キ、多額ノ月謝ヲ取ル幼稚園ナルモノガ出來テ來

ル、此坊チヤン嬢チヤンニハ相當ナ人が御供ヲシテ行ツテ居ル、而シテ其附近ノ貧乏人ノ子供ガソレヲ見テ居ル、公共ノ費用ヲ以テ造ラレタ學校ニ於テサウ云フ事ガアレバ尙ホ更、少クトモ茲ニ階級意識ガ起ツテ來ルコトハ已ムヲ得ナイ、幼稚園ト云フ制度ガ小學教育トノ關係ニ於テ、果シテ適當ノモノデアルカドウカト云フ事ニ付テモ、私ハ專門家デアリマセヌカラ存ジマセヌガ、之ニ付テモ多少弊害ガアルコトヲ聞イテ居リマスガ、ソレハ微々タルモノデアリマス、半年カ一年ノ中ニ小學校ノ先生ノ努力ニ依テ之ヲ矯正スルコトガ出來ル、ドウモ彼處ノ嬢サン坊チヤンハ月ニ三圓、五圓要ル幼稚園ニ行ツテ、朝カラ晩迄御供ガ附イテ行ツテ遊ンデ居ル、家ノ子供ハドウデアアルカ、是ニ於テ是ハ教育制度トマデハ行キマセヌガ、國家ガ之ヲ獎勵シテ居ルノデアリマセヌカラ、國策ノ方カラ見ル問題デハアリマセヌガ、併シ國家ガ或程度迄之ヲ承認シテ、認メテ居ルコトハ事實デアリマス、ソレニ依テ茲ニ子供ノ時分カラ富豪ト非富豪トノ階級意識ト云フモノガ、深ク頭ノ中ニ刻込マレルト云フコトハ、是ハ私ハ國民教育上甚ダ危險デアルト思ヒマス、少クトモ子供ノ時代ニハ、貧乏人ノ子供モ金持ノ子供モ一緒ニ遊ブコトニシタイト思ヒマス、ソレガ四歲ヤ五歲ノ時分カラ、金持ノ子弟ト貧乏人ノ子弟トノ區別ヲ付

持ノ子弟ト貧乏人ノ子弟トノ區別ヲ付

ケル、ソレヲ文部省ハ知ラヌ顔シテ指ヲ脚ヘテ見テ居ルト云フコトハ、是ハ甚ダ穩カデナイ、私立デヤツテ居ルカラ、ソレハソレデ宜イト云フ答辯デモ濟ムカモ知レマセヌガ、ソコハ文部省ノ努力ニ依テ、官憲ノ努力ニ依テ、ドノヤウニモ出來ルト思フノデアリマス、斯ノ如キ階級意識ヲ唆ルガ如キ施設ヲ、單ニ民間ノ事デアルカラトシテ、何時迄モ抛テ置ク積リデアルカ、若シ之ヲ造ラレルナラバ、三圓、五圓ト云フ高イ月謝ヲ拂ハナイデ、庶民階級ノ者ノ子供モ其處ヘ行ケルヤウナ方法ニ爲サレタナラバドウデアルカ、斯ウ思フノデアリマス、斯ウナリマスルト、小學教育ノ延長デアルカ、小學教育ノ豫備制度デアルカ、是ハ法律ノ改正ニ俟タナケレバナラヌガ、是等ハ矢張文部當局トシテ看過スルコトガ出來ナイ點ダト思ヒマスガ、之ニ對スル御考ハドウデアリマスカ

○山崎政府委員 横山君ノ第一ノ御問

ノ、小學校ノ建築ガ少シ贅澤デヤナカト云フ點ハ、露骨ニ申上ゲマス、私共モサウ云フ感ジヲ持ッテ居リマス、殊ニ東京ノ昨今出來ル學校ハ、中ヲ見マセヌカラ、責任ヲ持ッタコトハ申サレマセヌガ、外ヲ通リマシテ見マスルト云フト、如何ニモドウモ立派過ギルヤウナ感ジヲ致スノデアリマス、斯様ナ事ハ餘リ極端ニナリマスレバ、無論政府ニ於テモ相當ノ監督ヲシナケレバナリ

マセヌガ、成ベクナラバーツ自治體ニ於テ十分サウ云フ事ハ御考ヲ願ヒタイノデアリマス、無論文部省ガ全國ヲ監督致シテ居リマスカラ、責任ヲ追レルト云フ意味デハアリマセヌケレドモ、サリトテ餘リ自治體ノ事ニ何等カ立入ルト云フコトモ、是モ亦自治權尊重ト云フ點カラ言ヘバ避ケナケレバナラヌノデアリマス、餘リ甚シクナリマセヌヤウニ、出來得ベクンバーツ自治體ノ御關係ノ方ニ於テ、御考慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、最モ極端ナモノガアリマスレバ、文部省ニ於テ相當ナ監督ハ無論辭スル所デハアリマセヌ、ソレカラ幼稚園ニ付テモ、成程御話ノヤウナ事モアリ得ル事デアルト思ヒマス、是等モ先年幼稚園令ヲ制定致シマシテ、實ハ國ノ教育制度ノ上カラ申シマスルト、現在ノヤウナ特殊ノ金持ノ幼兒ヲ收容スルヤウナ幼稚園ヨリモ、或ハ勞働ニ從事スルト云フヤウナ、寧ロ富ニ惠マレザル家庭ノ子供ヲ預カル託兒所ミタヤウナ意味合ニ於ケル幼稚園ノ發達ヲ實ハ政府ハ希望致シテ居リマス、併シ是モ中々急激ニハ參リマセヌノデ、漸ヲ逐ウテ文部省デハサウ云フヤウナ種類ノ幼稚園ノ發達センコトヲ希望シ奨勵ヲシツ、アル譯デアリマ

○横山委員

モウ少シデアリマスガ、尙ホ此場合託兒制度ノ事ニ付テ御話ガアリマシタカラ、無論御承知ニナッ

テ居ルコト、思ヒマスケレドモ、之ニ付テ尙ホ一言質問シテ置キタイト思フ、是ハ特殊學校ト離スベカラザル關係ニ在ルト思フ、特殊學校ノ現狀ハ無論文部當局ハ御承知ニナッテ居リマセウガ、吾々ガ色々聞ク所ニ依テ事實ヲ申上ゲテ質問シタイト思ヒマスガ、此下町ノ比較的財産ノアル家庭ノ子供ガ行ク學校ノ生徒達ト、ソレカラ特殊學校ノ生徒トハ初一年二年三年位迄ハ御承知ノ通りニ成績ハ違ハナイノデ、ソレガ四年五年トナリ愈々尋常小學校ヲ卒業スルト云フヤウナ程度ニナッテ來ルト、特殊學校ノ生徒ハ成績ガズト惡クナッテ來ル、ソレハ御承知ノ通りニモウ九歳トカ十歳ニナリマス、之ヲ一廉ノ經濟人トシテ父兄ガ之ヲ使役スルト云フ傾向ガアル、納豆賣ニ遣ルトカ或ハ雇ハレテ工場ニ遣ルトカ云フガ如ク、純真ナル身體ノ虛弱ナル發達時代ニ在ル子供ヲ、父兄ガ兎角學事ニ疎マシメテ、之ヲ經濟人トシテ使用スル傾向ガアルガ爲ニ自然サウナッテ來ル、一ツニハ環境ノ教育、環境ノ關係ヨリ良イ事ハ一ツモ見ナイデ惡イ事バカリ見テ居ルカラ、惡イ方ノ知識ハズン、進ンデ來ルケレドモ、學校ノ教育ニ關スル知識ハ衰ヘテ來ル、ソレカラ體力ノ問題カラ申シマス、斯ウ云フ現象ガ現レテ來ル、普通ノ小學校ノ生徒ハ日曜祭日ニ學校ノ先生ガ運動會ニ連レテ行ク、田舎ノ公園デアルトカ、景色ノ好イ

所ニ運動ニ行ッテ、暫クノ間運動ヲスル、十二時ガ來テ辨當ヲヤツテモ、辨當ヲ願ミナイデ尙且ツ走リ廻ッテ嘻々トシテ運動競技ニ戯レテ居ル、之ニ反シテ特殊學校ノ子供ハ辨當ヲ支給スル迄ハ普通ニ遊ンデ居ルケレドモ、モウ十一時カ十二時ニナッテ菓子ヲ貰ヒ辨當ヲ貰ッテ食ウテシマツテ、ソレキリ運動ノ競技モ何モ止メテ疲レテシマウ、斯ウ云フ現象ガ現ニ生ジテ居ルコトヲ、私ハ特殊學校ノ先生邊リカラ聞イテ存ジテ居リマス、此現象ヲ文部當局ハドウ御扱ニナラントスルノデアルカ、單ニ特殊學校ト云フ特殊ノ學校ヲ作ッテ、無産階級ノ者ヲ教育スルト云フコトダケノ形ヲ拵ヘテ置イテ、ソレデ満足ヲ爲サレテ居ッテモ、所謂特殊學校ノ目的ナルモノハ一ツモ達シテ居ナイ、十歳カ十一歳ニシテ刑法犯ニ觸ル、ガ如キ舉動ヲ爲ス者ガアル、又背德ノ舉動ヲ爲ス者ガアリ、小學校ノ教育ノ目的ハ全然達セラレテ居ラヌト云フ現狀デアリマスガ、此特殊學校ニ對スル設備監督ノ方法ハ、現狀ノ儘ニ置イテソレデ御満足ニナルノデアリマスカドウカ、簡單ニ承ッテ置キタイト思ヒマス、尙ホ最後ニモウ一ツ御尋シテ置キタイト思フ、是ハ或ル機會ニ御答ニナッテ居ルカモ知レマセヌガ、御答ニナッテ居ル事項デアリマシタナラバ、何處デ答ヘタト仰シヤッテ戴キマスレバ、其速記録ヲ見テ満足ヲ致シマスガ、ソレハ知識階級ノ失

業者デアリマス、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ高等ノ遊民デアリマス、年々歳々大學ノ教育ヲ終リ、高等專門學校ノ教育ヲ終リ、サウシテ正當ナル職業ヲ發見スルコト能ハズ、又正當ナル職業ガアツテモ、以テ一家數名ノ者ノ口ヲ糊スルコトノ出來ナイト云フ現狀ニ在ル人ハ、全國ヲ通ジテ何萬アルカ其數字ハ私正確ニハ存ジマセヌガ、是ハ可ナリ大キナ數デアル、殊ニ大都市ニ於テ然ルノデアル、此知識ノ無イ者ガ職ヲ失ッテ居ルト云フコトモ、國家社會ニ非常ナル脅威デアリマスガ、高等專門ノ教育ヲ受ケタル者ニシテ所謂高等遊民タル者ガ、大都市ニ於テ所在ニ群居シテ居ルト云フコトハ、是ハ國家教育ノ本來ノ目的ニ間フテ見テ甚ダ不祥事デアルト共ニ、是ハ無知識階級ノ者ガ國家社會ノ脅威デアルヨリモソレ以上ノ脅威デアルト謂ハネバナラス、或ハ是ガ爲ニ思想上ニモ或ル程度ノ影響ヲ與ヘルコトハ否ムベカラザル事實デアリマス、此全國ヲ通ジテ總テノ階級ノ者ノ失業者ハ數十萬或ハ百萬ニ達スル數字デアルカモ知レマセヌガ、是等一般的事ハ他ノ機會ニ於テ私ハ承リタイと思ッテ居リマス、此思想問題ニ關スル教育制度ニ對スル問題ニ付テハ、折角國家ガ非常ナル費用ヲ使ヒ、非常ニ努力ヲシマシテ、國家的ノ設備ニ依テ、高等專門ノ教育ヲ授ケタ、授ケタガ爲ニ、却テ高等遊民トナッテ國家ノ用モ爲サナケ

レバ社會ノ用モ爲サナイ、或ハ誤ッテ逆ニ國家社會ノ爲ニナラヌヤウナ行動ヲスルカモ知レヌト云フ虞ノアル階級ヲ、國家ガ之ヲ看過シテ置クト云フコトハ、私ハ是ハ甚ダ不當デアルト思ヒマス、之ニ關シテハ無論國家全般ニ關スル重大問題デアリマスカラ、片言隻句ヲ以テ盡スコトハ出來マセヌガ、大體今日ノ如キ所謂思想國難ニ遭遇致シテ居ル場合ニ、特ニ私ハ此感ヲ深クスル者デアリマスガ、之ニ付テ御意見ヲ伺ヒタイ

○山崎政府委員 特殊ノ兒童ヲ收容スル學校ヲ特設スルコトノ可否ニ付テハ、兩様ノ論ガ成立チ得ルト思ヒマス、尤モ日本デ特殊兒童ノミヲ收容シテ居ル小學校ヲ持ッテ居ルノハ、先ヅ東京デアリマスガ、東京見タヤウナ大都市デ特別ノ事情ノアル所ニ於テハ、ア、云フヤウナ特別ノ學校ヲ設ケルト云フコトモ、是モ全ク惡イコト、ハ考ヘマセヌ、之ニハ無論御話ノヤウナ一長一短アルコト、思ヒマスガ、横山君ハ私ヨリモ却テ詳シク御分リデアリマスガ、東京ノアノ種類ノ學校ハ隨分長イ沿革ヲ持ッテ居ルノデアリマス、何デモ一兩年前カラ東京市ノ教育局ニ於テハ、色々ナ議論ガアルト云フコトモ、私ハ間接ニ聞イテ居リマス、弊ハ成ベク矯メルト云フコトハ宜シイノデアリマスケレドモ、サリトテア、云フ機關ハ設ケナイ方ガ宜シイト云フ斷定ヲ下スコトモ

レバ社會ノ用モ爲サナイ、或ハ誤ッテ逆ニ國家社會ノ爲ニナラヌヤウナ行動ヲスルカモ知レヌト云フ虞ノアル階級ヲ、國家ガ之ヲ看過シテ置クト云フコトハ、私ハ是ハ甚ダ不當デアルト思ヒマス、之ニ關シテハ無論國家全般ニ關スル重大問題デアリマスカラ、片言隻句ヲ以テ盡スコトハ出來マセヌガ、大體今日ノ如キ所謂思想國難ニ遭遇致シテ居ル場合ニ、特ニ私ハ此感ヲ深クスル者デアリマスガ、之ニ付テ御意見ヲ伺ヒタイ

○山崎政府委員 特殊ノ兒童ヲ收容スル學校ヲ特設スルコトノ可否ニ付テハ、兩様ノ論ガ成立チ得ルト思ヒマス、尤モ日本デ特殊兒童ノミヲ收容シテ居ル小學校ヲ持ッテ居ルノハ、先ヅ東京デアリマスガ、東京見タヤウナ大都市デ特別ノ事情ノアル所ニ於テハ、ア、云フヤウナ特別ノ學校ヲ設ケルト云フコトモ、是モ全ク惡イコト、ハ考ヘマセヌ、之ニハ無論御話ノヤウナ一長一短アルコト、思ヒマスガ、横山君ハ私ヨリモ却テ詳シク御分リデアリマスガ、東京ノアノ種類ノ學校ハ隨分長イ沿革ヲ持ッテ居ルノデアリマス、何デモ一兩年前カラ東京市ノ教育局ニ於テハ、色々ナ議論ガアルト云フコトモ、私ハ間接ニ聞イテ居リマス、弊ハ成ベク矯メルト云フコトハ宜シイノデアリマスケレドモ、サリトテア、云フ機關ハ設ケナイ方ガ宜シイト云フ斷定ヲ下スコトモ

少シ早過ギハシナイカ、是ハ宜シク其土地々々ノ事情ニ依テ斟酌スルヨリ外ハナカラウト思フノデアリマス、ソレカラ後段ノ御問ノ高等教育ヲ受ケテ居ル者ノ就職難ノ問題ハ、是ハ横山君ノ仰セ迄モナク、洵ニ重大ナ且又極メテ困難ナ問題デアリマス、之ニ對スル對策ヲ考ヘルト云フコトハ、思想上ノ問題カラ考ヘマシテモ、亦教育ト云フ立場カラ考ヘマシテモ、洵ニ大切ナ事デアリマス、併ナガラ之ニ對シマシテ簡單ニ申上ゲマス、二ツノ見方ヲシナケレバナラスと思ヒマス、一ツハ教育ノ力ノ及ブ範圍ヲ超越シタ問題デアル、即チ此社會ノ經濟力ノ問題、又社會ノ所謂景氣、不景氣ノ問題、是ガ實ハ大部分ヲ左右致スノデアリマス、御承知ノ通り大正七八年ノアノ時代ニ於キマシテハ、各種類ノ專門學校以上ノ卒業生ガ、殆ド引張り風ニナリマシテ、在學中カラ手付ヲ打ッテ銀行、會社等ガ競争シテ其卒業生ヲ取ルト云フヤウナ狀態デアリマシタ、其後經濟界ノ不況ニ伴ヒマシテ、段々ト就職率ガ困難ナル現狀ヲ呈スルコトニナリマシテ、是ハ洵ニ憂フベキコトデアリマスガ、一面ニ於テハ矢張經濟力ノ回復ト云フモノニ多クノ支配ヲセラレル譯デアリマス、尙ホ教育ノ範圍ニ於テ又考ヘナケレバナラヌ問題モ一ツハアルノデアリマス、決シテ經濟力ダケニ打委シテ、教育ノ方デハ見テ居ルト云フ問題デアリマ

タヤウナ、サウ云フ信念ガ、實ハ甚ダ缺ケテ居ル、卒業ヲスレバ當然直グ高等官ニナル、ヤレ銀行會社ノ課長ニナルト云ッタヤウナ好イ地位ガ直グニ轉ガツテ來ルヤウニ思ッテ居ル、是ハ教育ノ内容問題トシテ大ニ精察シナケレバナラヌ問題デアリマシテ、此意味ニ於テノ教育改善ト云フコトモ、今日極メテ緊要ナ問題デアルト考ヘテ居リマシテ、著々ソレニ對シテ應分ノ力ヲ盡シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○井坂委員長 一寸横山サンニ申シマスガ、本會議ヲ採決スルトカ云フコトデアリマスカラ、簡單ニ願ヒマス

○横山委員 是デ終リマス、先刻來御答辯ガアリマシテ、兎ニ角此程度デ私ハ解決ヲ付ケタイト思ヒマス、要スルニ先刻來御親切ニ御答辯ヲ得マシタガ、文部當局トシテ國民思想ノ涵養、國體觀念ヲ鞏固ニスルト云フガ如キ、大所高所カラ見テノ所謂思想善導ト云フコトニ付テハ相當著目セラレ、相當努力セラレテ居ルコトハ大概分リマス、果シテ其所見ノ如ク其效果ガ現ハレテ來ルカドウカト云フコトハ、暫ク是ハ將來ノ問題ニ致シテ置キタイト思フ、唯實問應答ノ結果、サウ云フ點ニ付テ満足ノ意ヲ表シマスルト同時ニ、又遺憾ニ思ヒマスル點ハ、先刻來具體的ノ問題ヲ以テ私ハ申上ゲタ、例ヘテ見レバ幼稚園制度ノ如キ、卒然トシテ之ヲ考ヘレバ何デモナイ、小サナ問題ノヤ

ウデアリマスケレドモ、併ナガラ之ヲ抛擲シテ置クト云フコトハ、小學校ニ行クコトノ出來ナイ程度ノ幼年時代ニ於テ、既ニ富裕ナ者ト富裕ニアラザル者トノ間ニ所謂階級意識ト云フモノヲ刻ミ付ケル制度ナノデアアル、特殊學校ノ問題ノ如キ濟生會ノ態度ノ如キ、今山崎局長ハ色々陳辯サレテ居リマシタガ、ソレハ統計カラ紙ノ上ニ現ハレタ答辯デ事實ハ決シテ斯様ナモノデハナイ、大所高所カラ積極的ニ思想問題ヲ解決セントスル誠意ヲ持ッテ居ラレルコトハ諒ト致シマスガ、所ガ其脚下ニ於テ問題ノ範圍モ狹シ、問題ハ小サイカモ知レスケレドモ、少クトモ、大都市ニ於テ幼稚園制度ノアルヤウナ所ニ於テハ、モウ小學校ニ行ク前カラ貧乏人ト金持トノ階級意識ヲ刻ミ付ケテ居ルト云フ制度ヲ眼下ニ置クト云フコトハ、是ハ一面ニ於テ甚ダ努力セラレテ居リマスケレドモ、一面ニ於テ努力ガ足ラナイ、抜ケテ居ル、是ハ積極的ニ大所高所カラ御ヤリニナルコトモ必要デアリマスガ、サウ云フ點ニ相當仔細ニ點檢セラレテ、應急ノ施設ヲセラレルコトガ私ハ必要デアルト思フ、詰リ一ツノ善事ヲ爲スヨリモ一ツノ惡事ヲ去ルコトヲ、先ヅ國家トシテモ御考慮ニナリタイト思フ、何ボ大所高所カラ國民思想ノ涵養國家觀念ヲ鞏固ニスルト仰シヤツテモ、其足ノ下カラ打壞サレルヤウナ事柄デハ、到底其目的ヲ達スル

コトハ出來ナイノデアリマス、デ私ノ問ハントスル趣旨ノアル所ヲ大體御了解ヲ賜ハリマシタシ、又御答辯ニナリマシタコトモ大抵ハ諒承致シマシタ、併シマダ政權ヲ得ラレテ二年デスカラ、モウ三年デモ五年デモオヤリ下サツテモウ少シ問題ヲ深刻ニ研究ヲセラレテ、餘リ上ノ方バカリ考ヘナイデ、足下モ一ツ踏固メテ、文部當局ガ國家思想問題ノ爲ニ努力セラレンコトヲ切ニ希望スル次第デアリマス、是ニ於テ私ハ文部當局ニ對スル質問ヲ止メマスガ、尙ホ總理大臣及內務大臣ニ御尋シタイコトガアリマスカラ、委員長ノ努力ニ依リマシテ、其事ガ一日モ速ニ實現スルヤウニ御願致シマス

○井坂委員長 明後日十時ニ內務大臣ガ出ラレマス、其際御質問ヲ願ヒマス、本日ハ之ヲ以テ散會致シマス

午後五時四十一分散會

昭和四年二月二十七日印刷

昭和四年二月二十八日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社